

会長のページ	年頭所感	河野 雅行	3
年頭所感	日本医師会長	中川 俊男	4
年頭所感	宮崎県医師会顧問	秦 喜八郎, 稲倉 正孝	6
年頭所感	各郡市医師会長		7
年頭所感	各専門分科医会長		12
年頭のご挨拶	宮崎県知事	河野 俊嗣	19
年頭のご挨拶	宮崎大学長	鮫島 浩	20
年頭のご挨拶	宮崎県選出国會議員, 日医推選国會議員		21
新春随想 (その1)			26
	谷口 二郎, 大西 雄二, 田畑 直人, 宝珠山 弘, 増田 好治, 坂田 師隣, 細見 潤, 池田 俊郎, 小原 健一, 山口 和正, 春山 幸洋, 上山征史郎, 堀之内和代, 七島 篤志, 川井田 望		
就任挨拶	宮崎大学医学部附属病院教授就任挨拶	細川 歩	36
エコー・リレー (557)		川畑 紀彦, 楠元 恭子	38
身近なお困りごと相談室			39
ニューメンバー		楠元 恭子	70
診療メモ	AIを活用した振分機能導入による審査について	川村 誉美	90
宮大医学部学生のページ	宮崎大学学園祭 第17回清花祭～破天荒解～ 開催報告	井上 聡士, 平井 昂也	92

あなたできますか? (令和2年度医師国家試験問題より)	37
表彰・祝賀	41
令和3年1月～12月までの叙勲及び表彰・祝賀受賞会員	42
宮崎県感染症発生動向	44
各種委員会 (介護保険委員会)	46
各種委員会 (医学賞選考委員会)	47
九州医師会連合会第394回常任委員会	48
九州医師会連合会第395回常任委員会	50
人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会	51
九州医師会連合会令和3年度第1回各種協議会	52
日医インターネットニュースから	64
医師協同組合だより	66
医師国保組合だより	68
ベストセラー	70
会員の異動・変更報告	71
理事会日誌	72
県医の動き	76
ドクターバンク情報	77
行事予定	83
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	85
あとがき	98

お知らせ	日本医師会員向けキャッシュレスサービス	40
	女性医師の皆様へ (マタニティ白衣無料貸出)	47
	医師年金ご加入のおすすめ	49
	カット・イラストの募集	51
	宮崎県医師会メーリングリストのご案内	74
	医療勤務環境改善支援センター	75
	日州医事へのご意見・ご感想	81
	郡市医師会への送付文書	94
	医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!	97

## 医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：書〕

### 水

思いを込め自分流に書いた遊書です。ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。で始まる方丈記。まさに人生も流れゆく水のように時とともに過ぎていきます。いつまでも同じものはない人の世の儚さ。先行き不透明で不安の多い現代、「自分がどうありたいのか」「どう生きていきたいのか」を見つめる時なのかもしれません。

宮崎市 おお さこ ふみ こ  
大 迫 文 子

# 年 頭 所 感

宮 崎 県 医 師 会

会 長 <sup>かわ</sup>河 <sup>の</sup>野 <sup>まさ</sup>雅 <sup>ゆき</sup>行



あけましておめでとうございます。皆様にはご健勝で新年を迎えられたものとお喜び申し上げます。

昨年は文字どおりコロナに明けてコロナに暮れた1年で、社会全体にコロナの影が覆っていました。第5波が到来して8月下旬には県内でも感染者が100名を越える日もあり、入院・重症者の対応で医療体制は深刻な事態となりました。その後、正確な理由は不明ですが急速に減少して現在はゼロが続いています。しかし、新たな感染力の強い変異株が発生しており、今までとは比べられないほどの第6波になると懸念されています。対応は今までと変わらず、まず県内に持ち込まない対策と、公衆のみではなく個人の予防が基本です。当然ワクチン接種は追加を含めて推進しなければなりません。今後はインフルエンザ同様、毎年希望接種になるかもしれません。検査体制の充実と充分な入院・収容施設の整備も重要です。長引く規制や経済の影響から一部では厭世的な発言や行動もみられますが、社会の在り方が根本的に見直されつつあります。人類の歴史は感染症との闘いです。繰り返し到来することは予測されても間隔が空き過ぎて対応が後手に回ってしまいました。「天災は忘れたころにやってくる」などの格言どおりです。

関係者は大成功であったと自画自賛している莫大な費用を要した2回目の東京オリンピック、パラリンピックが開催されました。コロナの蔓延により1年延期となり、しかも無観客でと異例づくめでしたが、日本選手の活躍はTVでそれなりに堪能し感動しました。

8年ごとの九医連を令和2年7月から宮崎県の担当で開催し、昨年6月末で無事終えることができました。担当した1年間を振り返りますと、佐賀県より受け継ぎ例年どおりの予定を組みましたが、準備は万全ながらもコロナの影響によりさまざまな変更を余儀なくされました。最大の変更は多人数の集会ができなかったことです。各県会長による常任委員会は第1回のみ宮崎での現地開催で、後はWeb会議で開催しました。総会はシーガイアに来賓の方々と県内会員のみ参加をお願いし、日医と九州各県医師会とはTVをつないで開催しました。予定した11分科医学会のうち4医学会を中止、残りは現地開催とTVを利用して開会しました。記念行事は残念ながら7個全部中止となりました。それでも、どうか予定された行事を消化して沖縄県に申し継ぎました。

その他の医師会活動はさまざまな制限の元、工夫して事業計画に沿うよう努力しております。会員をはじめ関係の皆様方のご協力に感謝します。

本年も平穏無事を願いつつ皆様のご多幸を祈念いたします。よろしく願いいたします。

# 年 頭 所 感



日 本 医 師 会

会 長 なか がわ とし お 中 川 俊 男

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

年頭のご挨拶に先立ち、この年末年始も新型コロナウイルス感染症の診断や治療、ワクチン接種はもとより、救急診療や休日診療など、医療現場でご尽力いただいているすべての医療従事者の皆様に、心からの敬意と感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症への対応に終始した一年でした。1月8日には、関東一都三県に緊急事態宣言が発令され、その後の一年を暗示するような年明けとなりました。やがて、ワクチンの接種がはじまり、治療薬の治験が進み始めると、医療者として、このウイルスと闘うための有力な手段が得られることへの期待が高まってきました。そして、夏を迎えワクチン接種が本格化すると、全国の医師会員の先生方にその底力を見事に発揮いただき、ほどなくして政府が示す「1日100万回接種」の目標をはるかに超え、最大167万回の接種を達成することができました。これは全国の医師会の偉業だと思いました。

しかし、昨年の夏には全国で爆発的な感染拡大が起きました。とくに大都市では、医療提供体制が逼迫し、私が死守すべきと考えていた新型コロナ医療とコロナ以外の通常診療の両立が危うくなりました。どちらの医療も命の重さに変わりはありませんが、通常医療を制限してでもコロナ医療を、そしてコロナ病床を確保せよという論調も社会に拡がり始めました。

世界一、平等で公平な日本の公的医療保険制度は風前の灯火かのような状態でした。私は、17万3千人の会員の先生方に直接手紙を差し上げました。すでに、他職種の医療従事者の皆様と限界までコロナと闘っているのは承知の上でしたが、どうか、もうひと踏ん張りのご協力をお願いしたいとの切実な思いからでした。

手紙に対してさまざまな反応がありましたが、多くの先生方と危機感を共有し、絶対に負けない、諦めないという連帯感を強く感じることができました。

この間にも、先生方にはコロナ医療、ワクチン接種、通常医療に献身的に取り組んでいただきました。そして11月に入り猛威を振るった新型コロナの感染者数が減少に転じ、12月には「収束」と言える状況になりました。

全国の医師会の先生方と世界的に見ても高い公衆衛生意識をもっている日本のすべての人々の勝利だと確信しました。

しかし、「終息」したわけではありません。敵はしたたかです。年末には新たな変異株も発見されました。まだまだ、闘いは続きます。がんばりましょう。

昨年10月には岸田内閣が発足しました。日本医師会は医療界を代表する専門家集団として、これまで以上に現政権とともに今後の医療政策のあり方について胸襟を開いて議論しあえる関係を築いていこうと思っています。

日本医師会の主張に応え、都道府県医療計画の「5疾病・5事業」に新興感染症などへの対策が加えられ、6番目の事業になりました。次の医療計画は2024年からですが、これを前倒しして進め

ていくことが重要です。すなわち、新型コロナウイルス感染症の再拡大だけでなく、新たな感染症の脅威にさらされた場合においても、人々の生命と健康を確実に守ることができる体制を平時から盤石にしておくことが急務です。

感染症に対する医療の備えを十分に整えたうえで、人々の暮らしを取り戻し、社会全体の経済を回復していくことが、今後一貫して目指すべき重要な課題です。日本医師会は、この課題の克服に向けて、会員の先生方のお力をお借りして、国とともに全力で取り組み、かけがえのない地域医療を守り支えていきます。

さて、私ども執行部は、国民皆保険を守るため、新型コロナウイルス感染症下であろうとも、安心・安全な医療の維持、確保に努めています。

私は平時の医療提供体制の余力こそが有事の際の対応力に直結すると訴え続けてきました。平時の地域医療を支えるためには、財源の確保は絶対です。ましてや今は、新型コロナウイルス感染症に立ち向かっています。医療従事者の働き方や医療機関経営を犠牲にしても、感染リスクや風評にも耐え闘ってきました。必ず迎えるポストコロナの医療提供体制への道筋を見つけなければなりません。

医師をはじめとする医療従事者の働き方改革、医師偏在対策、病床機能の自主的な収れん、外来医療機能の分化・連携、医療のデジタル化など、多くの重要課題が山積しています。日本の医療を将来につなぎ、更に向上させるため、これらの課題を一つひとつ着実に、そして前向きに乗り越えます。

今、私たちは、新型コロナウイルス感染症との闘いという長いトンネルの中にあります。しかし、新たな変異ウイルスや感染再拡大に対する備えを緩めることなく、トンネルを駆け抜け、まさに希望あふれる記念すべき年となることを願っています。

新しい年が会員の先生お一人おひとりにとって充実した佳き年となりますことを祈念申し上げ、年頭にあたってのご挨拶といたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

宮 崎 県 医 師 会	理 事	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	常 任 理 事	副 会 長	会 長
	川 峰 高 瀬 石 金 池 荒 小 吉 山 濱 田 政 雄	佐 野 啓 一 郎	岩 村 威 志	米 澤 悦 男	帖 佐 悦 男	川 野 啓 一 郎	峰 松 俊 夫	高 木 純 一	瀬 ノ 口 洋 史	石 川 智 信	金 丸 吉 昌	池 井 義 彦	荒 木 早 苗	小 牧 建 世
	監 事	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”
	事 務 職 員 一 同	宮 田 純 一	小 牧 文 雄	中 村 周 治	上 山 貴 子	玉 置 昇	大 塚 康 二 朗	赤 須 郁 太 郎	園 田 定 彦	嶋 本 富 博				

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

## 年 頭 所 感



宮崎県医師会顧問

秦 喜八郎

明けましておめでとうございます。

年末11月には新型コロナウイルス新規感染者数がゼロの日が30日以上も続き、一安心していました。ひとえに河野俊嗣県知事、戸敷正宮崎市長を始めとする市町村首長さん方のリーダーシップと県民一人ひとりのご協力の成果だと感謝しています。

ところが、11月26日(金)にWHOが「懸念される感染症」として「オミクロン株」の発生を公表するや12月4日(土)には12の国からの報告があり、第6波の襲来かと注目しています。

第6波への備えとしては、PCR検査の拡充、ワクチン接種、隔離病床数の確保、抗体製剤の開発・内服治療薬の投与などの態勢が着々と進んでいます。

ただコロナと過ごした1年6か月の経験から判明したことは、医療現場での圧倒的人手不足です。医師・看護師・臨床検査技師・レントゲン技師・臨床工学技士・保健師・医療周辺業務等々。現状では、宮崎市周辺での育成・派遣も想定せざるを得ません。

平成28年度からの医師国保への定率補助金大幅削減が令和2年度で終了しました。この間の全医連での論議で4つの課題が浮かび上がって来ました。すなわち①組合員数の減少②国庫補助金の削減③高齢者医療費などへの補助金の抛出④超高額医療費の問題です。日医にも「医師国保に関する諸問題を検討する」委員会が発足しました。第一線の医療関係者の福利厚生事業、国民皆保険制度のささえ手としての医師国保への議論の高まりを期待しています。



宮崎県医師会顧問

稲 倉 正 孝

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスパンデミックは政治・経済・国民生活に甚大な被害を与えました。米ジョンズ・ホプキンス大のデータによると、11月9日現在、世界における感染者数は約2億5千万人（前日比約48万5千人増）、死者数約500万人（前日比約6千7百人増）とのことです。

幸いなことに、わが国では8月半ば以降、感染者が急減しています。理由ははっきりしませんが、感染者の減少のスピードは多くの専門家の想定をはるかに超えるものです。1日2万5千人以上の新規感染者が報告された8月とは状況が一変しています。ワクチン接種が先行した英国、イスラエルなどではワクチン効果が低下した時期に感染力の強いデルタ型が流行し、ワクチン2回接種済みの人にも感染する「ブレークスルー感染」が増加した可能性があります。

新型コロナワクチンの効果は6～8か月くらい持続するとされており、先行接種した医療関係者、高齢者への追加接種が近く予定されています。わが国では、7月ごろよりワクチン接種が急速に進み、ワクチン効果の強い数千万人の集団が形成されていた可能性が高い。東邦大館田教授によると、新型コロナウイルスのワクチン効果は2回目接種から2週間後に最も高くなるとのことです。わが国で8月半ば以降に感染者が急減したのは一時的に集団免疫効果が強く表れた結果ではないかと述べられています。コロナウイルスの最大の弱点は生きた細胞内ではないと増殖・長期生存できないことです。コロナ患者を早期に診断し、隔離することは、コロナウイルスの増殖、拡散を防ぐ効果があります。

コロナとの戦いは長期戦が予想されます。治療薬の開発も進んでいます。ワクチン接種のタイミング・スピード・接種間隔・対象範囲・ワクチンの種類など、集団免疫効果を考慮したワクチン接種が求められます。同時に基本的な感染対策を厳守することが必須です。

## 年 頭 所 感



宮崎市郡医師会長  
川 名 隆 司

明けましておめでとうございます。旧年中は多大なご支援を賜り厚く御礼申し

上げます。

昨年はコロナ第3波・4波・5波に見舞われ、その都度、本県独自の緊急事態宣言が発令されました。県央圏域では、多くの会員医療機関がコロナ疑い患者に対し、PCR検査や抗原検査を実施し確定診断に尽力しました。また、9病院が重症度や合併疾患を勘案しながら要入院患者を受け入れてきました。周囲の2次医療圏から搬送される場合もありましたが、逆に当圏域で対応しきれなかったケースは、圏外の重点医療機関に受け入れていただきました。このように全県レベルで協力体制を敷き、診療所から基幹病院まで、更に行政、保健所とも連携し一定の成果を挙げられたと思います。

また、ワクチン接種についても、本圏域では約250の医療機関が個別接種を実施し、集団接種にはA会員だけでなく勤務医や自宅会員の先生にもご協力いただき、接種対象人口の約85%の方が接種を済ませました。現在（令和3年11月末時点）の沈静化は、コロナに係る医療従事者の使命感と感染対策を理解し的確に実践する国民のヘルスリテラシーの高さ故ではないかと考えます。

重症や回復期等の病床確保、オミクロン株と第6波への懸念、ワクチンの3回目及び年少者への接種、自宅待機者へのフォロー体制等々、課題は山積しておりますが、今後も、関係者が情報を共有し、地域の実情に即した現実的な対策を迅速に講じていくことが肝要だと思います。

未だ「with コロナ」の状況ではありますが、本年が明るく希望に満ちた年になるよう祈念し新春のご挨拶とさせていただきます。



都城市北諸県郡医師会長  
田 口 利 文

新年あけましておめでとうございます。旧年中は当医師会に多くのご支援を賜

りまして、本当にありがとうございました。

昨年は感染力の強い新型コロナウイルスデルタ株の出現により、これまでにない感染拡大「第5波」が発生しました。都城市郡医師会病院では数多の感染患者を受け入れました。重症患者を最大5人受け入れたため、一般の患者さんをICUで受け入れできなくなりましたが、職員の努力でなんとか危機を乗り越えることができました。感染患者さんの発生がなくなり、平穏な日常を祈りたいところですが、南アフリカのオミクロンとか呼ばれる変異株が世界に拡大するとの予測があります。正確な情報を会員間で共有し、今後も地域の先生方と連携して、新型コロナウイルス感染患者に対応していきたいと考えています。また、地域医療構想にある不足している高度急性期病床を増やす取組みを進めていきます。脳卒中・循環器病対策基本法に基づき、血管内治療など迅速な治療により、脳卒中後遺症を最小化するために、SCU（脳卒中集中治療室）を整備する予定です。更に心臓血管疾患へも幅広く対応できる体制を構築し、会員の先生方の日常診療の手助けにしたいと考えています。本年8月には中四九地区医師会看護学校協議会が都城市で開催されます。生徒数の減少や経営悪化などさまざまな課題はありますが、先生方の参加をお待ちしています。

本年も当医師会に対するご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。新しい年が皆様にとりまして、更によい年となりますよう心より祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



延岡市医師会長  
佐藤 信博

明けましておめでとうございます。

昨年は、コロナ禍の中を駆け抜けた、まさに激動の一年でした。

しかし、第5波の後の急激な沈静化は、次の波への不気味なプロローグのような気がしてなりません。

100年前、1918年から1920年にかけて大流行したスペイン風邪は世界の人口の3分の1が感染し、5,000万人以上の人々が死亡したとされています。今回の新型コロナ感染症にともなう死者は12月1日現在で、520万人とのデータがあります。原因ウイルスの研究、ワクチンの開発、抗体療法、経口薬の開発などが進み、初期に比べれば少しは安心して対処できるようになりました。しかし、オミクロンなど新たな変異株も発生しておりまだまだ気が抜けません。

さて、延岡市では、医師会と県立延岡病院、市役所が連携しコロナ対策が大変スムーズに行えたと自負しております。最もありがたかったのは、コーディネータを引き受けていただいた、佐藤圭創先生の存在でした。更に、いち早く県立延岡病院、延岡共立病院と延岡市医師会病院が感染患者を受け入れてくださいました。また、延岡市医師会会員の先生方には、民間宿泊施設やPCR検査外来での当番、発熱外来やワクチン接種などで、多大なる協力をしていただきました。心から感謝申し上げます。

私は昨年12月に70歳になりました。世間では「古希」と言われますが、私の場合、引き続き「こき使われる身」です。今年も「頑張るぞ!」と気合をいれて、コロナ終息を願い、医療の明るい未来を信じて頑張りたいと思います。

今年もよろしくお願いいたします。



日向市東白杵郡医師会長  
千代反田 晋

明けましておめでとうございます。

令和3年の丑年は干支に似合わず忙しく過ぎてしまいました。

次々と変異するCOVID-19にあらためてウイルスの恐ろしさを感じました。

われわれ医療機関は行動の変容を徹底することはもちろんのこと、発熱外来やコロナワクチンの個別接種、大規模接種などかなりの労力を要しました。一方、一般診療や健康診断などは大きく制限を受けました。更に感染者への誹謗中傷などもクローズアップされました。特に医療や介護に携わる多くの職員たちは神経質にならざるを得ず、かなりストレスフルな生活を余儀なくされました。

当院は車で10分も走れば日向岬から日豊海岸の美しい景色が眼下に広がります。コロナ禍にあっても日常生活とは別世界の素晴らしい景観に心癒やされます。やっぱり田舎はよいとつくづく思う一瞬ですがあまりの美しさに寂寥感すら感じられます。遠くの水平線に目をやると青年のころに見た景色が重なり、牧水の歌「白鳥は哀しからずや空の青海のあをにも染まらずただよふ」が思い出されます。切なさや哀しさを感じながらも水平線の向こうにあくがれた青春時代。グローバル化した現在、ウイルスや細菌も飛行機なら1日もしないうちに地球の裏側まで到達します。

水平線の向こうにロマンも抱けない世の中です。南アフリカを起源とされるオミクロン株は第6波として、デルタ株を凌駕する猛威を振るうのでしょうか？正月早々戦々恐々としていきます。いよいよとなればPPEをまとい、虎の威を借りて頑張るしかないと自分に言い聞かせています。本年もご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



児湯医師会長  
永友和之

明けましておめでとうございます。

「へえ～ わしより若いんけ～」と私の年齢を聞いて81歳のおじいさんがびっくり仰天していました。こちらの方こそもっとショックで、がっくりときました。ということで今年はアンチエイジングで見違えるように若返りたいと思っています。

児湯医師会活動は、大谷翔平サーンと同様に、フルシーズン絶好調をキープいたしました。どこからも誰からもMVPの賞品はまだ届いていませんけど。

#### ①新型コロナウイルス感染症

一昨年苦い経験を踏まえ、昨年は多くの医療機関が発熱外来を設け、幼児～90歳代までの年齢層から感染者を特定して、大規模なクラスターを未然に防止することができました。

コロナワクチン接種は、新富町は個別接種のみで（これはすばらしいこと！）、他の4町は個別＋集団接種で、大きな混乱もなく昨年11月末までに接種希望者のほとんどが完了いたしました。重大事故の報告もゼロでした。

第5波の真ただ中、天下の東京で350人の枠にワクチン接種を求めて8,000人以上の若者の行列ができていました。大都会では行政と医療者の連携がむずかしいのだろうと同情しました。

#### ②その他

学術講演会は、すべてオンラインでしたが月に1～2回のペースで行いました。69名の会員は常に勉強を怠りません。（これはすばらしいこと！）

児湯准看護学校は生徒数の減少と財政赤字が重荷となって危機的状況に陥っています（これは悲しいこと！）。

以上です。

今年もよろしくお願い申し上げます。



西都市西児湯医師会長  
松本英裕

明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスも、オミクロン株が国内2例目の報告された日にこの年頭所感を作成しています。皆さんの手元に渡ったとき、年末年始を過ぎて第6波が訪れているのでしょうか。できれば大きな波が訪れていないことを祈念します。ワクチン接種も3回目が始動され、未知の世界と闘いながら、多職種協働で乗り切りましょう。

さて、西都児湯医療センター問題では多くの会員の皆様にご心配おかけしております。当医師会としては現体制が維持され、大学にも協力を仰ぎながら、更に発展、充実し、新病院建設に向けて前進されるよう協力していく所存であります。

今年は「寅年」その中でも「壬寅（みずのえとら）」。恐い印象のあるトラですが、「壬寅」の特徴は乳虎、母虎ともいわれ、優しいトラを表すようです。家族を大切に他人にも心を開くとよい年になりそうだと。仕事の面において、私たちにとっては家族＝市町村民の方々です。今までと変わらず西都市民、西米良村民をはじめ、周囲の市町村民に安心安全な医療を届けられるよう頑張っていきたいと思えます。また「壬」は「妊に通じ、陽気を下に妊（はら）む」、 「寅」は「蟻（みみず）に通じ、春の草木が生ずる」という意味があるようで、そのため「壬寅」は厳しい冬を超えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージです。今年も夢叶えたいと思えます。

最後になりましたが、今年も当医師会に更なるご指導、ご鞭撻をお願いします。



南那珂医師会長  
中村 彰 伸

新年あけましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、全国・全県どこもかしこもコロナウイルス対応に追われた年であったのではないのでしょうか。

南那珂地域も感染の波は低かったもののコロナウイルス感染拡大の波を被りました。医師会事業として予定していた在宅ケア研究会、三師会、県立日南病院との親睦会などが中止となり学術講演会はWeb利用ハイブリッド開催で対応することとなり各方面の方々にご迷惑をおかけしました。

幸い南那珂における新規陽性患者さんの発生は最も多かったとき1日10名でしたので県立日南病院に対応していただける範囲内でことなきを得ております。県立日南病院以外コロナ患者受入れ可能な医療機関がない当地域においては、受入れ可能人数以上の陽性患者が発生した場合、他圏域へ受入れ依頼する以外対応手段がなく心苦しい限りです。

発熱外来、PCR検査は会員の先生方に積極的に取り組んでいただき、またワクチン接種に関しましても行政からの早期完了要請があったときに会員の先生方がすぐ対応して、予定どおり期限内に終了することができました。

何が奏功したか判然としませんが第5波は鎮静化しています。しかし、11月末に新たな変異株「オミクロン」が南アフリカで出現したと報じられ、第6波の感染拡大が懸念されます。ワクチン3回目の接種が予定されていますが、ワクチンの改良、有効な内服薬の開発が望まれるところです。

今までどおりマスク着用・手洗いの励行・3密の回避などを心がける新しい生活様式と、検温・消毒の励行に取り組む新しい診療様式を継続することで今回の変異株にも対処できると信じています。

コロナウイルス撲滅とまではいなくてもコロナ感染症そのものがインフルエンザと同等レベルの生活の一部となる日がくるでしょう。それまで県医師会や各郡市医師会の先生方、会員の先生方、行政関係諸氏と協力して日常をとり戻すべく会の運営にあたっていきたいと考えます。よろしく願います。

末尾ながら皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。よき年であらんことを!!



西諸医師会長  
内村 大 介

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年を

迎えられたことと、心よりお喜び申し上げます。旧年中は当医師会への格別なご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

昨年は57年ぶりに東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。日本はもとより世界中で新型コロナウイルスとの戦いが続いている中での開催には否定的な意見も多くありましたが、オリンピック・パラリンピックの奮闘は私たちに大きな感動と希望を与えてくれました。

医療界においては昨年2月に医療従事者への新型コロナウイルスワクチン接種がスタートし、その後高齢者、基礎疾患を有する方、一般の方へと接種が進みすでに全国民の80%近くが接種を完了いたしました。当西諸地域においては、個別接種と県が行った集団接種により11月末現在で約87%の方が2回目のワクチン接種を完了させました。これは県内でもトップの接種率で、ひとえに会員の先生方の多大かつ貴重なご理解とご協力の賜物であり大変感謝いたしております。昨年12月から開始された3回目の接種も順調に進むことを願っております。

そして、4月には本会立の小林准看護学校の最後の入学生を迎え入れました。開校から63年が経過する中で、多くの方々のご協力を得まして当西諸地域へ多くの准看護師を輩出いたしました。残り1年あまりではございますが、最後までしっかりと教育を行い立派な准看護師を送り出す所存でございます。

最後になりますが、本年も当医師会に対しまして、これまで以上のご支援を賜りますよう、どうぞよろしく願い申し上げます。あわせて本年が皆様にとって実り多い素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



西白杵郡医師会長  
植松 昌 俊

明けましておめでとうございます。皆様におかれま

しては、新年をお健やかに迎えになられたこととお慶び申し上げます。

2020年はじめから世界中へ広がった新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの生活を瞬く間に一変させました。ライフスタイルにおいても行動が制限されるようになり、これまで当たり前だったことが当たり前でなくなり、あらゆるものに変化を与え続けています。

中でも、これまで日本国のパスポートは「世界最強のパスポート」とも呼ばれ、世界中ほどこにでも行くことができていました。しかし、2021年11月9日に更新された外務省のHPによりますと、日本からの渡航者や日本人に対して入国制限措置をとっている国・地域は現在67か国に及んでいます。2020年3月に海外渡航の自粛要請が出されてから、2年近くが経過しましたが、いまだに新型コロナウイルスを撲滅させた国は、世界中見渡してもどこにもありません。一日も早く、人類が新型コロナウイルス感染症を克服し、また自由な往来・制限のない生活が再開することを願うばかりです。今後のことが見通せない状況がいまだに続いています。まずは感染防止のために、身近なところから少しでもできることを、周囲と固くスクラムを組んで着実にやっていくしかないと考えています。どうか2022年が新型コロナウイルス撲滅の記念すべき年となりますように。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。



宮崎大学医学部医師会長  
帖 佐 悦 男

明けましておめでとうございます。皆様におかれま

しては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は大変お世話になりました。当会会員一同心よりお礼申し上げます。

昨年もコロナウイルスパンデミックによって世界中がこれまでの生活様式や働き方が激変した1年でした。人々の3密の回避やマスクの着用、手洗いの励行に加えワクチン接種が進む中、今日本は海外と比べ感染者数が大きく減少し、新たな波の出現も抑制されていると思われます。また、現在は重症化予防に対する治療として抗体カクテル療法の普及や新たな治療薬の使用が可能になりつつあることから、今後の医療体制の逼迫が生じないことを期待します。

さて、宮崎大学は令和3年10月より鮫島新学長体制となり、医学部ならびに附属病院も心を新たに、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ県民の命と健康を守るためにスタッフが一丸となって教育、診療、研究にあたっています。引き続き、大学病院の使命である地域活性化、医療における地域貢献、地域で活躍する医療人の育成などに取り組んでまいります。

あらためまして、新型コロナウイルス感染症対策は当然のことながら、日常診療においても医師会との連携をより一層緊密にすることで、大学病院も県民の皆様の期待に応え、信頼に沿うべく努力を続けていく所存ですので、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

## 年 頭 所 感



内科医会長  
比 嘉 利 信

明けましておめでとうございます。健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し

上げます。

昨年も新型コロナ感染パンデミックの大波に飲み込まれ、世界中の社会経済活動は完全に麻痺してしまいました。1年延期となった東京オリンピック・パラリンピックも初めて無観客の開催となりました。

さて4月の日本内科学会、日本臨床内科医会（日臨内）をはじめ、予定されていたほとんどの学会、会議、講演会などはWeb開催となりました。5月の宮崎県内科医会の総会・学術講演会は、会場の県医師会館と各会員をWebでつなぐハイブリッド方式で行われ、講演会では会員発表に続き、消化器領域の保険診療の注意点、更にコロナ感染症に関する特別講演が行われ、大変充実した内容でした。

10月には、宮崎県が担当で日臨内九州ブロック会議・九州各県内科医会連絡協議会（九内協）・同審査委員懇話会（九内懇）が開催されました。1年延期としましたが現地開催はできず、オンライン会議で行いました。東京から日臨内会長も参加されました。臨床内科医として医療制度や診療報酬の問題などについて、あらかじめ各県から提案事項を募り、それぞれに回答するもので、集約された意見は更に上部へ進言されていきます。Web会議では顔は見えても物足りなさは禁じ得ず、来年沖縄でのFace to Faceの集会を期待して終わりました。せっかくの地元開催でしたが、会員の先生方に会議の雰囲気味わっていただくことができず大変残念でした。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。



小児科医会長  
高 村 一 志

明けましておめでとうございます。

昨年の新型コロナウイルス

感染症第5波では家庭内感染により小児に感染が広がりました。幸い小児の重症化は少なく、入院施設もなんとか第5波を乗り切ることができました。新型コロナウイルスワクチン接種は12歳から18歳も対象となり、夏以降は小児の医療機関も個別接種を始めたため、小児の定期接種を継続しながら更に秋からはインフルエンザワクチン接種が加わるという慌ただしい半年でした。今年は5歳まで接種可能な年齢が引き下げられる可能性があり、更に厳しい医療環境になると思われませんが、粛々と接種を継続しなければならないと考えています。

九州小児科医会は「共生プラス1」というスローガンを各県で掲げ実行するよう促しています。宮崎県小児科医会は「在宅小児医療の充実」を掲げ、昨年11月に宮崎県と宮崎県医師会、宮崎大学小児科の協働により小児在宅医療実技講習会を開催しました。これを機に小児在宅医療が広がりをみせることを期待したいと思います。

今年は10月9日(日)に宮崎観光ホテルで日本小児科医会生涯研修セミナーを宮崎県小児科医会と共催で開催します。3年前は台風と新型コロナウイルス感染症のため中止となり、一昨年、昨年とWebのみの開催となっていたセミナーですが、今年はなんとか現地開催ができればと願っています。秋までに新型コロナウイルス感染症が終息し、全国の小児科医と宮崎で懇談ができることを夢見ながら。今年もどうぞよろしく申し上げます。



外科医学会長  
白尾一定

2022年（令和4年）元旦、皆様、明けましておめでとうございます。今年は、寅年です。寅年は春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態だとされています。

2020年は、新型コロナウイルスの影響で、講演会を開催できませんでしたが、2021年度は、Web開催ができました。執行部は2期目に入り、副会長は、宮本耕次先生、百瀬文教先生の体制です。今年より、宮崎大学外科学講座心臓血管外科 古川貢之教授に顧問をお願いしました。

2月26日の冬季講演会一般演題は、9題の発表があり、「若手奨励賞」には、「嚢胞内容液中の腫瘍マーカーが高値を示した後腹膜原発粘液性嚢胞腺腫の1例」を発表された、宮崎大学医学部外科学講座 猪俣麻佑先生が受賞されました。「熟練外科医から若手外科医」は、長年外科医学会会長を務められた増田好治先生が、外科医として56年間の経験と私たち外科医へのエールを話していただきました。

8月6日に夏季講演会を開催しました。会員発表は11題で「若手奨励賞」は、「集学的治療により救命できた大動脈食道瘻の1例」を発表された、宮崎大学医学部附属病院心臓血管外科 黒木将英先生が受賞されました。「熟練外科医から若手外科医へ」は老人保健施設むつみ苑の下園孝司先生に、「先輩の独り言／若き外科医への申し送り」の演題でご講演いただきました。小児外科として歩まれた中で、貴重な症例の紹介と若手への温かい激励の言葉を話していただきました。

10月22日に秋期講演会「特別講演会」を開催しました。講師の鹿児島大学消化器・乳腺甲状腺外科の大塚隆生教授より「地域に根差した外科医の育成」について講演していただきました。

今年も新型コロナウイルス感染症対策は必要ですので、Web開催を継続します。宮崎県外科医学会HPに、講演会の内容等情報発信しています。少しでも外科医の魅力を発信していきたいと思っています。皆様のご多幸をお祈りいたします。



整形外科医学会長  
松本宏一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年一昨年に続き新型コロナウイルス感染症の影響を、数々の場面で受け続けることになりました。

令和3年5月に開催されました日本整形外科学会学術総会は令和2年に続いてWeb会議となりました。その他の整形外科の講演会でもほぼすべてWeb講習となりました。整形外科医学会会員の皆様は専門医更新のために必要な講習単位（50単位）は取得できましたでしょうか。宮崎に住んでいますと、通常開催の講習会よりはWeb開催のほうが専門医の単位を取得しやすいという利点はあると思いました。

宮崎県整形外科医学会総会は令和3年7月に開催されましたが、令和2年に続き理事会、総会ともに書面決裁となりました。会員の先生方に整形外科医学会の行事内容がよく伝わりましたでしょうか。

このようにWeb講演会の多い中ですが、健やかな心と体を育む健康教育事業では整形外科の先生方に直接学校へ出向いて講演をしていただいています。令和3年は4校の中学、高校から依頼があり、飯田博幸先生（飯田整形外科クリニック、都城）、大平卓先生（大平整形外科内科医院、日向）、公文崇詞先生（くもん整形外科スポーツ骨関節クリニック、延岡）、染矢晋佑先生（大崎整形外科、延岡）の4名の先生方に出張していただきました。

令和3年11月に行われました宮崎県整形外科医学会研修会は通常開催となりました。国保審査委員からは税所幸一郎先生が、社保審査委員からは船元太郎先生が宮崎県における保険審査基準を説明されました。各医療機関からの保険審査への疑義に対しまして、審査側からの説明につきましてはその理路を解説するのはもちろんのことその心情もふまえて、情理ともに丁寧な説明を行うのがよいかと感じています。

コロナパンデミックの中、自院を受診する患者数も減少し、これは不要不急の外出を控えた結果なのですね、と自問しながら日々診療を行っています。今年も新しい状況に対応しながら日常を暮らしてゆくことになりそうです。

県医師会会員の皆様には恙なき新年を迎えることができますようお祈り申し上げます。



皮膚科医学会長  
田 尻 明 彦

新年明けましておめでと  
うございます。謹んで新春

のお慶びを申し上げます。

コロナウイルス感染症はようやく落ち着いて  
きましたが、オミクロン株による第6波が発生  
する可能性があり、予断を許せない状況が続い  
ています。

昨年は一般市民向けの講演会は中止し、広報  
誌の制作も中止にしました。今年はできるだけ  
今までどおりの方針で行事を進めたいと考  
えていますが、まだコロナは終息しておらず、油断  
はできません。そういう意味では、昨年はいろ  
いろなイベントを躊躇なく中止にできました  
が、逆に今年はイベント開催の判断に迷うこと  
が多いのではないかと考えています。

昨年10月に宮崎大学主催の日本皮膚科学会  
西部支部総会が宮崎市で開催されましたが、無  
事、感染者を出すことはありませんでした。ハイ  
ブリッド形式でしたが、Web形式では会場  
から遠方の先生方が参加しやすいため、例年よ  
りも参加者が多かったようです。

多くの講演会や学会はほとんどリモートで開  
催されましたが、パソコンで講演を聴講する  
と思っただけ以上に集中することができました。会  
員の参加しやすさを考えると、コロナ終息後モ  
リモート開催を考えてもよいのではないかと  
思っています。講師を呼んでの交流ができない  
のが欠点ですが、何事にも長所と欠点はある  
と思います。いずれにしても、コロナ前と同  
じような医会の運営ではなく、変えるべき  
ところは変えていかなければならないと考  
えています。



産婦人科医学会長  
肥 後 貴 史

新年あけましておめでと  
うございます。謹んで新年

のお慶びを申し上げます。

令和3年は、新型コロナウイルス感染症に振  
り回された年でした。全妊婦感染者数は44例  
(2021年12月8日現在)で、特に7月～9月  
の第5波では、妊婦さんの感染者も多く(24例:  
54.5%)入院加療を必要とし病床も満床の状  
態でした。そのため自宅療養や施設療養、産婦  
人科のない病院での療養などがありました。現  
在宮崎県産婦人科医学会では、産婦人科に  
入院できない患者様の産科的異常の有無を  
チェックするために遠隔観察の方法を整えて  
いる状況です。今はオミクロン株が新冠  
ウイルス感染症の終焉を示唆するものであ  
ってほしいと考えています。

令和3年11月に、棚上げされていたHPVワ  
クチンの積極的推奨が決定しました。推奨の  
差し控えにより接種機会を逃した人への「  
キャッチアップ接種」の検討も行われていま  
す。子宮頸がんに関して、世界に取り残さ  
れていた日本の状況が改善していくものと  
期待しています。

その他、産婦人科医療機関と子育て世代  
包括支援センターと要保護児童対策協議会  
と協力しながら、妊産婦のメンタルヘル  
スケアの充実とゼロ歳児からの虐待防止  
に取り組んでいきます。更に小学校高学  
年からの正しい性教育を行い、性行為感  
染症だけでなく性の素晴らしさ、生命  
誕生の素晴らしさを伝えていきます。

今年も関係機関と密に連携していきたい  
と考えています。よろしくお願いいたします。



泌尿器科医会長  
蓑田 國 廣

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、昨年令和3年を振り返りますと、何と云っても新型コロナウイルスCOVID-19に振り回された1年でした。県内発生が40数日間は全く認めず、「なんとか終焉に向かいそうだが、年末には第6波が間違いなく来るだろう！」と言われていたところに「やはり新しい変異株オミクロン」が南アフリカから世界中に広まっていったことに尽きた1年ではなかったかと思えます。

幸いにもこのオミクロン株は再感染率はデルタ株に比べ3倍認められるも肺炎併発率が低くて死者数が少ないようなのですが、衛生管理と従来どおり「3密を避ける」生活を続けていくことで、徐々に以前の日常生活に戻るのではないかと希望的観測を持っています。

そして、宮崎県泌尿器科医会の活動に関しては、昨年度は何と云っても11月4日から7日まで宮崎観光ホテルにて第73回西日本泌尿器科学会総会が開催されたことに尽きます。会長の賀本宮崎大学泌尿器科教授の下にWeb参加を含め、約1,200人の泌尿器科医が参集しました。この会のテーマは「そもそもとまどうを考える」なので、招請講演や特別講演以外に、シンポジウムも「前立腺癌、排尿障害、男性学・女性泌尿器科、尿路上皮癌、尿路結石、腎癌、小児泌尿器科」の7項目で熱心な討議が行われました。

また当会の現状につきましてご報告しますと、この1年間では大きな動きはなく、宮崎大学泌尿器科にて若手泌尿器科医の育成が着実に進行していますが、まだまだ泌尿器科医が不足しているのも事実です。

最後になりましたが、本年も会員皆様にとりましてよい年になりますよう祈念しまして、新春のご挨拶といたします。



眼科医会長  
中 村 彰 伸

新年明けましておめでとうございます。

昨年は眼科医会のメイン事業である宮崎県眼科医会講習会をハイブリッド形式で予定どおり5回開催しましたが、目の愛護デーの記念行事として企画していた「目の健康講座」は2年連続で中止としました。今年こそは市民への啓発事業としてぜひ開催したいと考えます。

昨年末厚労省は令和4年度予算概算要求において「母子保健対策強化事業」の1つとして「各種健診に必要な備品（屈折検査機器等）の整備」を盛り込みました。これにより市町村が屈折検査機器を購入する際、国が2分の1を補助する予算が確保されました。これは日本眼科医会が3歳児健診における屈折検査の重要性（屈折異常による弱視の早期発見に大きく寄与）を国に強く説得してきた成果だと考えます。

宮崎県眼科医会は3歳児健診に屈折検査をまだ導入していない市町村（都城市、日南市、串間市など）に導入を働きかけ、年内には県内すべての市町村の3歳児健診で精度の高い屈折検査が実施されるよう提言していきます。

県医師会園医部会において宮崎大学眼科学講座准教授中馬先生が幼児にも使用可能な屈折検査機器スポットビジョンスクリーナーについて紹介され、弱視の早期発見の重要性について講演されました。3歳児健診を担当される小児科の先生方に屈折検査の重要性についてご理解いただける内容だったと感じております。

昨年同様新型コロナウイルス感染の脅威が払拭しきれない1年になると思いますが、眼科医协会会员の先生方、理事の先生方、大学眼科医局の先生方、他科の先生方のご協力をいただき感染防止対策を万全にして事務局とともに会の運営に務めてまいりますのでご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。最後ではありますが皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げます。



耳鼻咽喉科医会長  
井 手 稔

新年あけましておめでと  
うございます。謹んで初春

のお慶びを申し上げます。

令和3年5月に「日本耳鼻咽喉科学会」は「日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会」に改称されました。頭頸部腫瘍の手術は大学附属病院などの病院で行われていますが、その発見は診療所の耳鼻咽喉科医が担わなければなりません。そのためにも耳鼻咽喉科医が頭頸部の腫瘍を診療していることを一般患者や他科の医師に知らしめるために学会名を変更したと思われます。宮崎大学においても平成18年に感覚医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野に改名しています。日本専門医機構認定耳鼻咽喉科専門医はそのままです。しかし、当初から日本専門医機構の専門研修プログラムには耳鼻咽喉科領域専門医の使命として「耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師として人格の滋養につとめ…」とあります。ところで、日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医は昭和62年に始まり、平成28年から日本専門医機構認定耳鼻咽喉科専門医の制度になりました。制度が変わったところは更新のための単位をとにかく取ろうとして、領域講習や共通講習のある会場は並んで入らなければならず満席でした。最近では県内の講演会を含め多くの学会で単位が取れ、更にコロナ禍のためWebで学会参加できるためもあり、多くの単位が取れます。また、取得単位数もネット上で確認できます。最近の学会は意外と参加者が少ないのか事前参加登録期間が度々延長されています。

最後に、宮崎県医師会の先生方には、本年もよろしくご支援、ご指導お願いいたします。そして、皆で新型コロナウイルス感染症を克服しましょう。



精神科医会長  
吉 田 建 世

明けましておめでとうご  
ざいます。謹んで新春のお

慶びを申し上げます。

この2年間は、コロナ禍により日本経済全体にとって大変な年でした。もちろん医療機関におきましても多難で厳しい年でした。新型コロナウイルス感染症の治療現場の最前線に立たれてご苦労されている医療機関、医療従事者の皆様に感謝申し上げます。

デルタ株による第5波は全国で猛威を振るいましたが、9月末にはようやく落ち着きました。今後、国は第6波に向けて、方針を変更し、新規感染者数から医療病床の逼迫状況を指標に変えました。それに基づき、医療提供体制の強化、ワクチン接種の促進、治療薬の確保を対策の柱としました。精神科においても、昨年より、感染拡大防止対策が講じにくい精神科患者様を受け入れるため、いくつかの病院が協力病院として参加して、病床確保に協力しております。

昨年11月末より、新しくオミクロン株が出現して、全世界的に警戒態勢にあります。日本は早々と全世界からの外国人の入国を禁止いたしました。臨床現場で経口治療薬が使えるようになるまで、なんとか感染拡大を食い止めたいと思います。

精神科にとって、患者様とコミュニケーションを取るには、顔を見ながらの対面診療が最も大切な治療方法でありますので、新型コロナウイルス感染症のできるだけ早い終息を願っているところです。

最後に、今年も宮崎県医師会の会員の先生方が、新型コロナウイルス感染症に負けずに、ご健勝であられることをご祈念いたしまして、年頭のご挨拶にさせていただきます。



放射線科医学会長  
杜 若 陽 祐

新年、あけましておめでとうございます。

COVID-19の発生より約2年が経過しました。昨年からのワクチン接種の開始により、少し希望が見えてきましたが、第5波の大きな波は回避できず、現在はよく分からないまま感染が落ち着いています。このまま感染者数が増えないでほしいものですが、欧州での感染者数の再増加や南アフリカからのオミクロン株の広がりを見ていると、これからも注意を怠ることはできません。

私はこの2年間は県外に出ることはなく、学会もWebで参加しています。Webでの学会は地方に住んでいる者にとってはいろいろなメリットがあります。特にオンデマンドで講演を視聴できるため、私などはリアル学会よりも勉強になっています。これはコロナ禍をきっかけに可能になった学会の新しい形式ではないかと思えますので、コロナ禍が落ち着いても続けてほしいものです。

一方で、このまま感染が続くと一般診療にもWebを使った医療が広がっていきそうです。放射線科では遠隔画像診断がすでに定着しているため、Webでの医療はそれほど抵抗感がありませんが、最近話題になった人工知能(AI)に続き、コロナにも未来の医療システムへの移行を急かされているようで、アナログ世代の身としてはなかなか大変です。

従来の生活や職場環境に戻るまでにはもう少し時間がかかりそうです。個人的には3密回避やマスク、手洗い・消毒などを基本に、このコロナ禍を乗り切りたいと考えています。

本年もよろしく願い申し上げます。



東洋医学会長  
川 越 宏 文

明けましておめでとうございます。宮崎県東洋医学会

より新年の挨拶を申し上げます。

いつも東洋医学会をご支援いただきありがとうございます。また、会の運営に対して各委員会委員への参加や、保険審査などの労務をお願いしている先生には更に大変感謝しております。

さて、昨年も新型コロナ対応に終わった1年であり、それ以前とは違い、通常診療でも新型コロナ感染防止への細心の注意を求められマスク・手袋での診察が求められたり、ワクチン接種業務への協力、新型コロナ感染疑いの患者の治療なども、患者導線の分離や別棟の診察スペースの増築、更に新型コロナ補助金などの申請のための煩雑な事務手続などに難渋する1年でした。

本会においてもそれまでは講演会・講習会の場で各会員が直接お会いして情報交換や治療の相談なども可能でしたが、最近ではさまざまな学会でオンラインでの講演会が増加しています。宮崎県東洋医学会もそのはじめとして昨年3月の総会はオンラインと会場のハイブリッド方式で行いました。また、メーカー共催での宮崎発の漢方ネット講演会も構想中です。今年も同じ会場で開催予定です。ぜひご参加ください。



透析医会長  
藤元 昭一

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は

会員の先生方にはいろいろとお世話になり、厚くお礼申し上げます。

2021年も、コロナ問題が当医会の医療現場でも緊張を持って臨むべき課題となりました。一般のコロナ感染者数と同様に、全国の透析患者においても第1波～第3波のピークがみられていたのですが、幸いなことに本年度春過ぎからの第4波～第5波は見られず、感染者数は低い状態で経過しています。これには、各医療機関のコロナ対策が進められてきたこととともに、優先接種として施行された透析患者へのワクチン接種が効果を現したのではないかと考えられています。近々に抗体価が落ちてくる時期が迫っていますので、国・県・市町村・医師会の第3回目のワクチン接種政策/施行に期待し

たいと考えています。

コロナ禍のため、2020年7月開催予定だった宮崎県人工透析研究会総会は7か月遅れの2021年2月に完全Webでの開催でした。本年度の同研究会総会は9月にハイブリッド開催（一部現地開催+Web開催）、更に11月に宮崎で開催された第53回九州人工透析研究会総会では現地開催+一部Web開催と、少しずつWithコロナ時代（日常生活への緩徐な回復）に来ていると思っています。オンライン形式では得られないFace to Faceのオンサイト開催形式が望まれていることは確かだと思います。そのためにも、医療現場での皆様のご尽力と医師会や行政の方々のコロナ対策推進の継続をお願いしたいと思っています。

本年も皆様の当医会へのご指導とご協力のほど、どうぞよろしくご協力申し上げます。

謹んで年頭の

ご挨拶を申し上げます

- |    |     |      |    |    |     |    |    |    |    |
|----|-----|------|----|----|-----|----|----|----|----|
| 理事 | 副理事 | 専務理事 | 理事 | 理事 | 理事  | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 |
| 河野 | 山村  | 吉田   | 小牧 | 石川 | 瀬ノ口 | 中  | 玉  | 桑  | 宮  |
| 雅行 | 善教  | 建世   | 智斎 | 信  | 洋史  | 健  | 昇  | 正  | 純一 |

事務職員一同

宮崎県医師協同組合



## 年 頭 の ご 挨拶



宮崎大学長  
鮫島 浩

宮崎県医師会の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかで穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2021年10月に宮崎大学長を拝命いたしました。これまでの40年余りは医療に従事してきましたので、総合大学全般にわたる仕事は初めてのことです。加えて、その重責を思うとき、身の引き締まる思いであります。

3階の学長室から外を眺めると、正門から南北に伸びる真っ直ぐなレンガ道が見えます。左には附属図書館、330記念交流会館、地域デザイン棟があり、その奥に教育学部、地域資源創成学部の真っ白な建物があります。右には学生食堂や国際連携センターが入る福利施設棟の煉瓦色の建物があります。この中央のレンガ道

に、昨年10月以降、多くの学生が戻ってきました。窓から賑やかな会話、楽しい笑い声、どよめき、演劇や合唱の練習などが聞こえてきます。学生が戻り、若いエネルギーに溢れている状況を見ますと、ようやく平時の大学に戻りつつあることを実感します。

大学の重要な使命の一つは、学生を教育し、若手専門家を育成し、地元に着目してもらうことです。それは、この若いエネルギーを大学の外にも広げ、それぞれの分野で思う存分に活躍してもらうことであろうと考えます。

医療においても同様に、本県の医学医療の更なる充実と活性化を目指し、若手医師の育成を更に推進していきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

謹んで年頭の

ご挨拶を申し上げます

理事長 獅子目 賢一郎

理事長代理兼理事 飯田 正幸

理事 相澤 潔

監事 中村 啓子

” 竹内 茂

常務理事 杉田 恵美子

事務職員一同

宮崎県病院企業年金基金



衆議院議員（1区）

渡 辺 創

日向灘から昇る初日が今年も宮崎の大地を照らし、新しい一年が幕を開けました。新型コロナウイルス感染症による社会の混迷と向き合う日々も3年目を迎えます。そろそろ希望の光を見出し、国民生活に安寧を取り戻したいと心から願うところです。

貴会の皆様には、医療界のリーダーとして新型コロナとの闘いの最前線に立ち、県民の命と健康を守るためにご奮闘いただいております。いま国民は、新型コロナの状況に安堵と焦燥を繰り返す中で、十分な医療の提供が「当たり前」ではなく、いかに多くの献身的な努力によって支えられているかを実感しています。皆様に心から敬意を表すとともに深謝申し上げます。

今後、3回目のワクチン接種や治療法の進展等により更なる負担を社会として要請せざるを得ない状況も予測されますが、無理をお願いする以上は社会全体でのバックアップを担保するのが政治の責任と考えています。

皆様の取組みは、感染症との闘いにとどまりません。働き方改革や地域医療を取り巻く環境の変化など各種の社会課題と向き合いながら、県民の安心を醸成するために不断の努力を続けておられることに敬服するばかりです。どうぞ引き続きのご貢献を心からお願いいたします。

私事ながら、昨秋の衆院選において宮崎1区で大変大きな役割をいただきました。ただひたすら「国民の生活」のために全力を注ぐ所存です。どうぞ今後ともご指導賜れば幸いです。

貴会のますますのご繁栄と、会員の皆様のご多幸を心からお祈りし、新春のご挨拶といたします。



衆議院議員（2区）

江 藤 拓

謹んで新春のお慶びを申し上げます。宮崎県医師会の先生方におかれましては、健やかによき新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日ごろより温かいご支援・ご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で一年となり、とりわけ第5波では感染者が大幅に増加し、地域の医療提供体制等に大きな影響を及ぼしました。そのような厳しい状況下にあっても、献身的に必要な医療をご提供くださる先生方に深く敬意を表します。3回目のワクチン接種や経口治療薬の開発などにより新型コロナウイルス感染症との闘い方も大きく変わってくるものと思われませんが、一刻も早く、元の日常を取り戻せるよう、引き続き新型コロナの対策に全力で取り組んでいく所存であります。

コロナ禍においては、医療提供体制に係る各種の課題が浮き彫りになりましたが、新たな感染症が今後も発生し得ることを想定した地域医療の在り方を考えていかなければなりません。今後とも地域の住民が安心できる医療提供体制を確保していけるようにするためには、医療機関が安定的に経営していくことができるよう対策を行っていく必要があると考えます。宮崎県の医療をよりよくしていくため、私といたしましても尽力してまいりますので、引き続き先生方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに、宮崎県医師会の今後の更なるご発展、先生方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



衆議院議員（3区）

古川 禎久

新年明けましておめでと  
うございます。宮崎県医師

会の先生方におかれましては、健やかに新年を  
迎えられたことと心からお慶び申し上げます。  
また、日ごろより県民の健康増進に献身的にご  
尽力いただいておりますことに衷心より敬意と  
謝意を表します。

一昨年来続く、新型コロナウイルス感染症の  
感染拡大への対応におきましては、ワクチン接  
種へのご協力や、必要な検査の実施、患者に対  
する適切な医療の提供など、先生方はじめ医療  
関係の皆様方には、県民の命と健康を守るた  
め、多大なご貢献をいただいておりますことに  
心より感謝申し上げますとともに、元の平穏な  
日常を取り戻すため、引き続き先生方のお力添  
えを賜りますようお願い申し上げます。

また、コロナ禍により地域医療を巡るさまざ  
まな課題が明らかになっております。昨年の通  
常国会において、新興感染症等の感染拡大時  
における医療提供体制の確保のため、医療法が改  
正されました。県民の皆様が住み慣れた地域  
で、必要な医療を必要なときに、安心して受け  
続けることができる医療体制を構築していかな  
ければなりません。今後とも、先生方のご指導  
ご鞭撻を賜りながら、宮崎県の医療環境の充実  
を図り、医療体制をしっかりと支えるため、全力  
で取り組んでまいります。

終わりに、宮崎県医師会の更なるご発展と、  
先生方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、  
新年のご挨拶といたします。



衆議院議員（比例）

武井 俊輔

新年、あけましておめで  
とございます。宮崎県医

師会の皆様方には、平素よりあたたかいご支援  
とご鞭撻を賜り、心からお礼申し上げます。ま  
た、新型コロナウイルス感染防止対策におい  
て、長期にわたって県民の命と健康を守るた  
め、献身的に取り組んでいただきましたこと  
に、あらためて敬意と感謝の念を深くしており  
ます。

人生100年時代から2025年には「団塊の世  
代」が後期高齢者に達します。日本社会を支え  
た階層が、一気に支えられる側にシフトするこ  
とによるさまざまな社会的影響が指摘されてい  
ます。いわゆる「2025年問題」です。

医療の分野においても、医師不足が急速に進  
行し、病院数の減少、医療・介護費の拡大など、  
課題は多岐にわたるとされます。本県も高  
齢世帯数の大幅な増加が予測され、新たな観点  
からの一段の対策が急務と思われれます。

こうした状況を背景に、県医師会におかれま  
しては、医師・看護職員の人材確保や診療科目  
の偏在の是正、救急体制の強化、医療従事者の  
働き方改革への対応、行政機関と宮崎大学との  
連携など、地域の実情を見据えた事業を展開さ  
れています。そこには、「オールみやざき」と  
いうフレーズを強調され、並々ならぬ意欲が伝  
わります。より安全・安心で高度な医療サービ  
スの促進を期待しております。

私どもも、コロナ対策はもとより、医療機関  
の経営の安定化、かかりつけ医の活用、働きや  
すい環境づくり、財政支援の強化などの重要課  
題にしっかりと対応して参ります。

最後になりましたが、貴医師会の一層のご発  
展と会員の皆様方のご多幸をお祈り申し上げ、  
新年のご挨拶といたします。



衆議院議員（比例）  
長 友 慎 治

明けましておめでとうございます。はじめて「日州

医事」でご挨拶をさせていただきますので簡単に自己紹介いたします。昭和52年生まれ、清武町出身の44歳。父は延岡の北川町、母は都城市出身です。宮崎南高校を卒業後早稲田大学に進学し、その後は東京の広告・出版業界で仕事をしてまいりました。40歳を前に宮崎にUターンし、県北を中心に地方創生・地域活性化に取り組む中で地方の声を中央に届ける人間が必要であることを痛感し、昨年の衆議院選挙に国民民主党から立候補いたしました。

日向市の産業支援センター「ひむか-Biz」のセンター長をしているときに「東九州メディカルバレー構想」について学びました。産学官が共同して、医療分野に加え看護・介護・福祉分野も含めた医療関連機器産業の集積を図るための取組みを、医師でもある国民民主党の足立信也参議院議員が中心になって推進しています。東九州自動車道の早期完成、各港湾の整備、それらを利用した東九州メディカルバレー構想です。地域活性化総合特区として地元の産業を更に成長させ、医療の分野でアジアに貢献する地域を目指すべく、私も微力ながら尽力する覚悟です。

「縁尋機妙 多逢聖因」という言葉があります。よい縁が更により縁を尋ねて発展してゆく様は誠に素晴らしいものがある、いい人に交わっているとよい結果に恵まれるという意味です。宮崎県医師会の先生方に鍛えていただきながら、地域医療のあるべき姿について考究してまいります。本年もご指導ご鞭撻のほどなにとぞよろしく願い申し上げます。



参議院議員  
松 下 新 平

謹んで新年のお慶びを申し上げます。宮崎県医師会の皆様には日頃からの温かい

ご支援に感謝申し上げますとともに、宮崎県の地域医療のために日々ご尽力いただいていることに、心からのお礼を申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、医療関係者の皆様におかれましては、感染のリスクがある中で、新型コロナに係る検査・ワクチン接種の体制確保、一般医療と両立した医療提供体制の構築を始めとして、多大なご尽力をいただきましたことに、心よりお礼申し上げます。国としては、引き続き、更なる感染の拡大に備えた医療提供体制の強化に全力を挙げてまいります。

将来を見据えた改革として、団塊の世代全員が75歳以上となる2025年が目前に迫る中、高齢者数がピークとなる2040年ごろに向けた医療制度改革に取り組む必要があります。一昨年5月に国会で成立した改正医療法には、医師の働き方改革や地域の実情に応じた医療提供体制の確保を進めるための措置を盛り込んでおり、その施行準備が進められているところです。特に、2024年4月に施行される医師の時間外労働規制については、現場の皆様が自身の健康を守りながら働くことができる体制の実現に向けて、国において丁寧な準備を行ってまいります。

また、2024年度から始まる第8次医療計画は、今後の人口構造の変化を踏まえた医療提供体制の構築に向けた一里塚です。国においては宮崎県を含めた各都道府県において、計画策定に向けて充実した議論を進めていただけるよう、指針などの見直しや各種データ・知見の提供などの支援に積極的に取り組んでまいります。

最後に宮崎県医師会の今後の更なる発展と、会員の皆様のご健勝を祈念して、新年の挨拶といたします。



参議院議員  
長 峯 誠

あけましておめでとうございます。宮崎県医師会の先生方、ご家族の皆様におかれましては、輝かしい令和4年のお正月をつつがなくお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の流行により、世界中が甚大な影響を受けた一年となりました。我が国では、医師会の先生方をはじめとした医療関係者の皆様方の献身的なご尽力によりまして、欧米諸外国に比べて比較的低い感染率、死亡率を維持することができました。

本年も引き続き警戒が必要な状況ですが、3回目のワクチン接種や医療体制の確保に万全を期すとともに、雇用の維持、中小企業の経営支援、農林水産業の支援、観光産業の復活等に向けて全力で取り組んでまいります。

昨年11月には、自由民主党水産部会長に就任させていただきました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物であり、衷心より深く感謝申し上げます。

世界経済がコロナ禍から立ち上がろうとする中、日本の水産業は多くの課題に直面しております。特に打撃を受けた漁業者の経営維持のために、水産物の需要回復と消費拡大をはかり、輸出拡大への取組にも支援を強化しなければなりません。さらに将来の日本の水産業を担う、漁業後継者の確保・育成も喫緊の課題であり、漁船の更新を含めた国際競争力の強化が必須だと思えます。

これらの諸課題に真剣に取り組み、地元の漁業関係者のご意見によく耳を傾け、水産部会長としての職責をしっかりと果たすとともに、国家・国民のため、ふるさとのために誠心誠意努力してまいります。

結びに、宮崎県医師会のますますのご発展と、今年一年のご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。



参議院議員・元日本医師会副会長  
羽生田 俊

新年おめでとうございます。宮崎県医師会の皆様におかれましては、平素より私の政治活動に多大なご理解ご協力をいただいておりますこと心より感謝申し上げます。またこのような寄稿の機会を与えていただき、河野雅行会長をはじめ役員の皆様のご配慮にお礼を申し上げます。

本年は診療報酬改定が行われる年であり、この寄稿が読まれるころには報酬改定率は決定しております。国が医療というものをどのように捉え、位置付け、導いていくのか。将来の医療提供体制のあり方を考えるうえで診療報酬改定は大切な議論であります。

この2年ほど新型コロナウイルス感染症の影響により医療のあり方も大きく変わりました。これまで日本の医療は高齢化に重きを置く施策で5疾病5事業でありましたが、新興感染症により通常診療が行えない事態に陥りました。そこで感染症を含む5疾病6事業となり、発熱外来の設置や院内の動線の確保等、診療所にとっては今までにない対応が必要となりました。この変革に対応する体制整備のための予算確保や、法整備などが必要であると思っております。

また、医療用具の国産回帰についても、今回のコロナ初期のような事態を経験したことで危機管理の面からも国産の必要性が明らかとなりました。防護具の不足により感染症と向き合う医療者の安全が担保できず、医療提供自体に困難が生じたためであります。

さまざまな政策課題が山積しておりますが、現実的に地域医療の継続に資する施策となるよう議論し、医療界を代表して議員活動をしている使命と責任を果たしてまいります。



参議院議員

自 見 はなこ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。河野雅行会長をはじめ、宮崎県医師会の先生方におかれましては、旧年中も格別のご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年は、自民党総裁選を経て岸田新政権の誕生、衆議院選挙など大きな変化がありました。私も自民党女性局長を拝命し、各種選挙のほか、女性の健康政策、子ども・子育て政策などを全国の地方議員の先生方と連携して取り組んでおりますが、宮崎県医師会・医師連盟の先生方には多大なご理解とご支援を賜り、また、昨年宮崎県を訪問させていただいた際にも温かく迎えてくださり、懇談の機会を賜りましたこと、本当にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の流行が小康を得て、昨年末より徐々に日常が戻りつつありますが、オミクロン株の出現など、いまだ楽観でき

ない情勢です。この2年間で得られた教訓をしっかりと政策に反映した感染症対策が求められます。対象は、保健所の体制強化、検査態勢の整備、ワクチンや治療薬の研究開発、病床確保、水際対策、ICTの更なる活用など、多岐にわたります。また、コロナ以外にも、2024年に向けた医師の働き方改革、地域医療構想、行政の縦割り克服を目指す「こども庁」創設など、さまざまな課題が山積しています。

本年は、7月に参議院議員選挙を控え、政治日程も慌ただしくなることが予想されますが、安心の社会保障を守るため、これらの課題に全力で取り組んでまいり所存です。

本年が先生方にとって幸多き一年となることを心より祈念申し上げるとともに、一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

## 新春随想

その1

新春随想を募集いたしましたところ、多数のご投稿をいただきありがとうございます。1, 2月号にわけて掲載させていただきます。

### 熱帯魚の世界

宮崎市 谷口レディースクリニック たに ぐち じ ろう 谷 口 二 郎

当クリニックの待合室の水槽には熱帯魚がたくさん泳いでいます。娘夫婦が魚好きで、アクアリウムショップから買ってきて水槽に入れ、面倒をみてくれています。

子どもたちが遊びに来ると、まずこの水槽のところに飛んでいってその泳いでいる魚たちの姿に感動し、雄叫びをあげる子どももいます。しかしこの水槽の手入れは大変で、週1回くらい水槽の清掃と熱帯魚のチェックを娘夫婦がしてくれます。

見ていると優雅ですが、いろいろ気を遣うことも多いと言います。何種類かの熱帯魚と一緒に飼うときはお互いの相性があるので、ただ水槽に入れるだけではダメだそうです。気が合わない魚というものも存在するのです。まあ人間でも気が合う人、合わない人がいるのですから、魚でも同じことなのかもしれません。

素人の私から見ると、どれとどれが仲よいのか悪いのかは分かりません。しかし時々魚が他の魚を追いかけているのをよく見かけます。縄張り争いなのか、餌の取り合いなのか分かりませんが、やはり相性というものがあるのでしょうか。

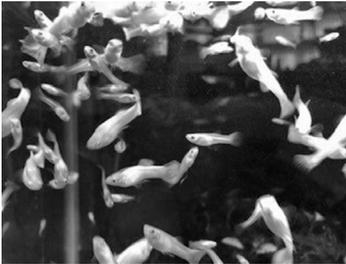
自宅にも熱帯魚の水槽があります。少し小振りですが楽しそうに泳いでいます。餌係は孫た

ちです。たくさん上げると水が汚れてしまうので少しだけ入れるのがコツですが、小さな子どもにとっては難しいようです。時々水槽外にこぼしてしまい台が餌だらけになることもあります。それでもやはり懲りずに餌をあげています。

犬や猫と違って鳴くこともないし、毛が散らばることもありません。トイレの躰も必要ありません。熱帯魚は水槽の温度管理さえ気をつけていれば飼うのはそんなに難しくないそうです。アクアリウムショップと一緒に行って子どもの好きな種類の熱帯魚を買い求め飼うのもよいと思います。ぜひとも親子で熱帯魚を飼って楽しんでもらえるとよいですね。

ちなみに待合室の水槽では以前アロワナが悠々と泳いでいました。その姿はアマゾンの女王と言われるように、スタイリッシュで本当に優雅な姿でした。来院される方々はずっとそれを眺めていました。そのあまりにも魅力的な動きに見とれていたのです。しかし夜はお休みです。なぜならそれは立体的に見える画像映像でしたから、スイッチを切ると消えてしまうのです。そして朝が来てスイッチを入れると、また優雅に泳ぎだすのです。そのアロワナも機械が故障したので、残念ながら今はいません。





日本では同年8月ごろ確認され、1921（大正10）年夏までに3回の流行があり、人口5,719万人に対し感染者約2,380万人、死者は39万人に上った。致死率は1.6%である。

宮崎県の流行開始は1918年10月中旬とされ、当時の県人口の約64万人のうち感染者は約37万人、死者は3,900人。このうち初発から翌1919（大正8）年1月中旬までわずか3か月で感染者は35万人、死者は3千人に達した。驚くべき拡大のスピードである。1年後の第2波になると対策が徹底されてきた様子で、休校や予防心得の案内などの記事が目につく。感染ルートは飛沫感染・接触感染である。マスク、手洗い、人混みを避ける。マスクの重要性は当時も広く認識されていた。今も3密（密閉・密集・密接）があり社会環境が変わっても100年前から対処の基本は変わらないことが分かる。細菌ではなくウイルスであることが確認されたのは1933（昭和8）年である。ウイルスを見て確認するには電子顕微鏡が必要であり1938（昭和13）年に商用化され、そのあとである。1940年代に予防接種が実用化された。

私がコロナの濃厚接触者として検査を受けたのが2020（令和2）年8月16日である。患者の感染原因は県外の人との飲食である。当地は飲食業が多い。私と看護師1人で保健所に行き、PCR検査を受けて陰性であったが1週間は外出禁止であった。これは辛い。当院は院内を消毒した。その時点の宮崎県の感染者は318人であった。

九州では歌人斎藤茂吉が長崎市に赴任したのは1917（大正6）年である。翌年「はやりかぜ」が流行した。次の短歌がある。

寒き雨まれまれに降りはやりかぜ  
衰へぬ長崎の年暮れむとす

## はやりかぜ

宮崎市 大西医院 おおにしゆうじ 大西雄二

コロナの流行をみて医学史からみたパンデミックを思う。約100年前に猛威を振るった「スペイン風邪」である。1918（大正7）年の出現だ。全世界で5億人が感染し、世界人口（18～19億人）のおよそ27%とされている。世界で2千万～5千万人の死者を出したといわれる。第一次世界大戦で中立国であったスペインにおいて被害状況が自由に報道されたので「スペイン風邪」と呼ばれる。

## 誕生日にはChopinを

宮崎市 宮崎医療センター病院 た ばた なお と  
田 畑 直 人

「駅ピアノ・空港ピアノ・街角ピアノ」というテレビ番組があります。空港や駅に置かれたピアノを人々が思い思いに弾き、行き交う旅人が耳を傾ける。一台のピアノから生まれる一期一会の素敵な時間。いつかどこかで自分も…元来の感化域値の低さと空想癖を抑えきれず、さっそく近所のピアノ教室を訪ねました。

「先日も認知症予防のためにと言われて、72歳の方がみえられたんですよ、ふふっ」

いや、私はそうじゃなくて…。

「弾きたい曲がありますか？」ウーン、ショパンとかバッハとか。

「…そうですか…ん～，“ふるさと”あたりから始めてみましょう」

こうして週1回1時間のレッスン通いが始まり、アマゾンで電子ピアノ（KORG88鍵盤）も購入しました。

「ターターウン、これが4分音符と4分休符」「Cコードはド・ミ・ソ」「えーと、へ音記号の一番上の線はラ」。左の小指と薬指がひきつったように離れません。それでもレッスンの終わりにもらえる動物シールが30枚ほど貯まるころには、弾ける曲も出てきました。

「そろそろ目標を持ちましょう。そうだ、奥様の誕生日にピアノを弾いてさしあげましょう。喜ばれますよ～」。妻には「ご近所迷惑よ」と叱られているのだが。そうこうしているうちにコロナ禍でレッスンは中断となり、鍵盤に触れる機会もめっきり減ってしまいました。

さて、今年こそは妻の誕生日にピアノの旋律に乗せて真っ赤なバラをプレゼントしよう。あっ、ひとつ問題が…暗譜で弾けるのはChopinの「別れの曲」だけなのだが、この曲でいいのかな…。

## 愚痴の多い私のひとりごと

延岡市 ほうしやま子どもクリニック ほう し やま ひろし  
宝珠山 弘

思えば遠くに来たものだ。人生50年と申すが夢多き人生でもある。

佛教で申す「空」はわびしいとか。せつないと云う如く夢まぼろしの如くと思う。

後期老年となると、思い出ばかりにひたること多しと云える。

グチの多いのも当たりまえで、体に悪いことはわかっている。歌の文句じゃないが人生歌がある、シャレた文句の泣き笑い、そんなもんだよ人生は。そうじゃないかと思う。

現代日本に忘れていているものがある。「教育勅語」である。

何も外国のことばかりまねすることはない。日本には不動の信念がある。教育と医学の両立こそ大切である。

「山より高く父の恩、海より深き母の恩」にある如く、日本の美徳をとりもどすべきである。

平和なくして人生はない、今こそ考え直すべきだ。

人生で淋しいことは教養のないことだ（人間として）。

皆で考え直すべきと思う。

今年も良い年であらんことを祈りつつ。

古里の山を見ればなつかしく涙ながらに昔をしのぶ。



## 84才によせて

宮崎市 増田病院 <sup>ます</sup>増 <sup>だ</sup>田 <sup>よし</sup>好 <sup>はる</sup>治

干支12支の寅にあたり、7回目の84才となりました。

2巡過ぎの24才くらいから、自分の予想と現実が合致して過ぎて来たように思いますが、次の12年目があるのかどうかは神のみぞ知るところでありましょう。

振り返れば健康に恵まれ、仕事に恵まれ、人に恵まれ、物に恵まれ、本当に人生感謝しかありませんが、1巡目に至らない7才のとき、敗戦国民として外地から日本への引揚船で、伴走していた同じ引揚船が、機雷にかかって沈没したのを皮切りとして困難は続き、父の郷里で先祖の山の松林や雑林地を開墾して畑を開き、作物を育て飢えをしのいだのも、今となっては懐かしい思い出でもあり、開墾と畑作業で鍛えられたことで、この年まで健やかな体で過ごすことができたことを、本当に恵まれたことだと思います。

昨今、パンデミックコビットだとか、地球温暖化や1,400兆円の国債などと悲観材料を並べ立てて、老若こぞって無力感をあおりたてているように思えます。

第2次大戦後の惨憺たる日本の現状を眺めた当時の日本人の気持ちに比べると、今はまだまだ恵まれ過ぎていると思います。現在の状況を克服する知恵はいくらでも出てくるに違いないと期待しています。

私たちの年代ではほとんど力になりませんが、希望の光は高々と掲げて進まねばなりません。チェスト！ガンバレ！寅の仲間たちよ！

## 「俚言」

高鍋町 坂田病院 <sup>さか</sup>坂 <sup>た</sup>田 <sup>もろ</sup>師 <sup>さと</sup>隣

大河ドラマで渋澤栄一氏について放送されていました。このドラマの中で、埼玉地方の方言をよく耳にします。当然誰も理解可能なようになり標準語化されていますが、埼玉弁を聴き私の若きころの記憶が蘇ってきました。

新米医師のころ、埼玉県の大学病院に勤務。その病院の地域は、開業医の先生が少なく近隣の方々にとっては、大学病院というよりも一般開業医の医院感覚で受診されており、待合室では、埼玉言葉が飛び交っていました。

私は、宮崎訛りがありなるべく標準語を使用するよう努力していましたが、なかなか修正することは困難でした。ある日、看護室に指導医の台湾出身の先生が来室され、突然坂田君の日本語は正しくない、正しい日本語を使用するよう指導を受けました。近くにいたスタッフの方たちは、台湾の人に日本語の指導を受けていると爆笑していたのを思い出しました。

私は、宮城県の仙台市に行くことがあり、仙台市は東京に見劣りしない垢抜けた都市ですが、市民の会話に耳を傾けると東北訛りが強くそのギャップに驚きます。

都会より宮崎に帰郷する際、空港の宮崎便の搭乗待合室にいと宮崎訛りが耳に入りホッとした気持ちになったのを覚えています。

方言はソフト化された戸籍謄本、お国訛りは地方の由来・文化・気候と密接に係わっていると感じます。私は、俚言を通じての地方創生もあるのではないかと期待しています。

## 今年こそは？

宮崎市 ウェルフェアみやざき総合研究所 細見潤

新年、あけましておめでとうございます。

昨年3月に45年間にわたる精神科臨床をセミリタイアし、翌4月にこころの健康に関する普及啓発や人材育成を目的とした研究所を立ち上げました。私なりの「働き方改革」で早くも9か月が経ちましたが、コロナの影響で予定していた研究所主催の講演会や研修会、ワークショップは未開催のままでとても残念です。しかし宮崎労働局の労災医員としての仕事や、宮崎市役所、精神保健福祉センター、提携事業所・労務管理事務所での相談業務、行政や民間事業所・団体から依頼された講演活動、新聞のコラムの執筆などでソコソコ忙しくしています。また研究所の運営母体として株式会社を創業したため、それまでは全く縁のなかった宮崎商工会議所に入会しました。そこではいろいろな業種の人が工夫をしながら会社を運営しており、これまでとは違った分野の人たちとの出会いも多く、新鮮な刺激を受けています。

一方ではセミリタイアして格段に自由な時間が増えたため、昨年10月に両眼の白内障治療に加え、飛蚊症が特に激しい左眼の硝子体手術を受けました。おかげでものがはっきり見え、左眼の飛蚊症は全くなくなり、文字を読むのがとても楽になりました。また、この年になると退職した友人も多く、彼らとせっせとゴルフ場通いをしたところ、昨年8月末に左手首、10月初めには右手首を痛め、現在は両手首をテーピングとサポーターでガチガチに固めてプレーしています。スコアはさておき、広々とした芝生の上を気の置けない友人と歩くのはとても心地よ

く、こんな生活があったのかと今更ながらにすべての人、モノ、自然に感謝しています。

今年こそは研究所主催のイベントを企画・開催して所期の目的を果たしていきたいと考えていますが、果たしてどうなるものやら。皆様とともにコロナ変異株での第6波が来ないことを祈るばかりです。

今年も変わらぬご好誼のほど、なにとぞよろしく願いいたします。

## 医療的ケア児、って知ってます？ いわゆる医療的ケア児支援法への期待

宮崎市 まつおか小児科・いけだ小児神経内科 池田俊郎

このたび「新春随想」の原稿依頼をいただき、なにを題材にしたものか迷いました。いわゆる「コロナ禍」が近年の医療・社会の大きなtopicではありますが、それは多くの諸先生方が文章にされるのではと考えました。そこで違った話題として、新しく2021年に制定、施行された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」略して医療的ケア児支援法を挙げたいと思います。

「医療的ケア児」とは、ざっくりいえば、日常生活および社会生活を営むために居宅などで恒常的に医療的ケア（例えば人工呼吸器による呼吸管理や喀痰吸引その他の医療行為）を受けることが必要な児をさします。医学の進歩にともない、超低出生体重児など従来は助からなかった命が助かるようになりました。しかしその一方で、なんらかの障がいなどを残し、ケアを要する形での生活を余儀なくされる児が増加し

ました。現在、0～19歳で約2万人程度の方々が、困難を抱えつつも在宅で生活されているとされます。

いままでの診療で医療的ケア児に関わり感じたことは、どうしても彼らへの支援は、一般社会から理解を得られにくい、より声の大きい多数派が優先で、彼ら少数派は後回しにされてしまうといった点でした。その事実には忸怩たる思いを持っていましたが、今回法律で彼らへの支援が公的な責務とされました。医療的ケア児への支援を、限られた一部の人間の問題ではなく社会の責務としたことは、評価に値すると思います。大きな期待を抱く一方で、この政策の実現には各方面の協力が必須で、我々医療関係にも尽力が求められているように感じています。また、いままで医療的ケア児に関わる機会がなかった・少なかった方々にとって、この法制定が医療的ケア児について知る・考えるきっかけになるのではと期待しています。2022年が医療的ケア児にとって飛躍の一年となることを祈っています。

## 来た！来た！私の五黄の寅年!!

小林市 池井病院 小 原 健 一

私は今回寄稿依頼が届いたとき、正直言って断ろうかと思いました。なぜなら前回の随想を最後と思いながら書いたからです。ただ文面を見て、年男であるがための依頼だったためもう一回書いてみようと思いました。

確かに私は寅年で、今年は36年に一度の五黄

の寅年なのです。この言葉との最初の出会いは、一度目の大学時代を過ごした大阪でした。下宿のおばちゃんが易学に詳しく、「健ちゃん五黄の寅年生まれだね。運気が強くお金に困らないよ。」と言われたのが初めてでした。それから36年経ちますが、確かにお金にきゅうきゅうとしたことはなかったような気がしません。性格的にお金への執着が弱いせいかもしれませんが…。お金が入るときは入ってきて、ないときは出ていかない、といった感じです。

今年の五黄の寅年を更に印象付けたのは、一通のダイレクトメールでした。それは金運財布の案内でした。なぜ私が寅年なのを知っているのか疑問でしたが、以前この会社に縁起物を注文したためだと分かりました。内容を見て、だまされているかもしれないが、値段も手頃なので注文しました。黄色の大きめの財布で使い心地はよさそうです。この財布の厚みがどんどん増してくるといいですね。

とにかく今年は金運がとて強そうなので、競馬、宝くじ、ロト6、ロト7を多めに買ってみようと思います。元々競馬や宝くじは買うのですが、なかなか大当たりはしません。本当に強い金運が降りてくるようなら億万長者も夢ではないですね。「大当たり 濡れ手に粟 捕らぬ狸の皮算用」といったところでしょうか。わくわくドキドキしながら楽しい夢を見られる1年になりそうです。

最後に今年こそは新型コロナ感染が治まることを切に望みます。



## ユージン・スミスの「MINAMATA」

日南市 愛泉会日南病院 やま ぐち かず まさ  
山 口 和 正

コロナ禍の秋、ジョニー・デップが自らプロデュースし主演した映画「MINAMATA」が公開された。早速見に行ったが、案の定というか客席はガラ空きだった。日本人から見て、これは？的な突込みを入れたくなる場面も少なくない。自身写真家でもあるジョニーは水俣病を描きたかったというより、MINAMATAを通して、尊敬する写真家ユージン・スミスを描きたかったのだと思った。

学生時代、友人らと写真展MINAMATAを開催した。全国巡回展の鹿児島展を主催したと思うが、詳細は全然覚えていない。主催した側の特権としてそのときの展示パネルの添付文を書き写し、それが写真集MINAMATAへの書き込みとしてわずかに手許に残るのみである。

激な学生運動が衰退し、キャンパスは燃えカスの原野と言われた'70年前後、水俣病は大きな社会問題になっていた。ユージン達が水俣に滞在していたころ何度か水俣に足を運んでいたのに会わずじまいだったのが悔やまれる。国の認定基準案に批判的な原田正純医師に随行して患者さん宅を訪問したりしたが、覚えているのは漁師さんの家の縁側でいただいた高菜のおにぎりがめちゃ旨かったことぐらいである。第三内科のポリクリのとき、国の認定審査会のリーダー的存在だった井形明弘教授から「君は原田先生のところに入りにしてるのかね？」と聞かれ、『ア、ヤバ！ 留年か？』と思ったが不問に付された。そんなことを根に持つような教授ではなかったし、こちらも放っておいても人畜無害の雑魚だった。が、過激な連中も水俣には出

入りしていた。「怨」の黒い旗を先頭にデモする若者の写真にユージンが記した言葉、「若い学生たちよ、君たちは『チッソ粉碎、チッソ粉碎！』と叫びながら、会社の門におしかける。が、そのとき君たちはプラクティカルなことをしているのでもなければ、賢明でもない。だから、君たちが発散する力と同じ強い力で押し返されてもそれが当然だと覚悟していなければならない。……しかし若い学生たちよ。世界は君たちのような人びとを必要としている。なぜなら少数者と貧しい者がそういう問題をたえず提起し続けることはむずかしいからだ」。この言葉に当時の学生運動の原点と矜持が表現されているようにも思う。

彼自身もこの言葉を体現していた。沖縄戦で重傷を負い、水俣病取材の過程で失明にいたる暴行を受けながら、彼が日本を恨んでいた素振りはない。その写真は、写真の可能性を信じ限界を自覚しながら、被写体への畏敬の念と慈愛に満ちている。地球温暖化、環境汚染の今の世界、生きていたら彼はどんな写真を撮るのだろう？

## コロナ禍で見つけた新しい趣味

宮崎市 はる やま ゆき ひろ  
はるやま医院 春 山 幸 洋

コロナ禍の折、仕事も生活も一変したことは皆様同じと思います。外出できないため夜な夜なソファーにゴロンとなって晩酌をしつつスマホを眺めるわけですが、ある日、元々の趣味である釣り動画よりも見るようになった動画があることに気づきました。

それは洗車動画！3年も経つと車の見た目はどことなく経年劣化を感じるようになっていきます。洗車をしてもしゃべりもしない、すぐ汚れてしまう。何か表面に塗って塗装を守ろう、ガラスコーティングは持ちがいいらしい、〇〇層コーティングですごい、ところがそうじゃなかったんです！原因はウォータースポットと呼ばれる「水垢」。水垢は水の中に含まれるカルシウムやマグネシウムといった無機質成分が水分の乾燥にともなって表面に固着する、お風呂の鏡にみられるアレです。

カーディテイナーが使用する酸性クリーナーと言われる類の水垢除去剤を使用すると落ちるというではありませんか。取り寄せて（量販店では販売していません）使ってみるとまあ落ちる落ちる。まるで研磨したかの如く塗装本来の色味が戻ってきます。一度経験してからは面白くて仕方なくて、自分の車のみでは飽き足らず人の車まで洗う始末です。

水垢がつかないようにガラスコーティングすればいいじゃないと思われるかもしれませんが、水垢が無機質のため無機質のガラスには親和性高く固着します。つまり残念ながらガラスコーティングを行うことは水垢を助長することになります。そこで登場するのがザイモールに代表される天然ワックス！ワックスは有機物が主成分であるため水垢予防には非常に効果的です。無心にワックスを塗り込む時間もなかなか乙なものです。

ちなみにドイツ車にお乗りの方はアルミモールの水垢？に困っていませんか。あれはアルミの白錆で水垢ではないため研磨でしかきれいにすることはできません。ただ、錆が浮く前にワックスを塗布しておくとはほとんど腐食が進みません。ぜひお試しください。

## 猫との陣取り合戦

西都市 上山医院 うえ やま せいしろう 上山 征史郎

新春のお慶び申し上げます。

今年は寅年ということで自分は昭和13年10月29日生まれの寅年です。

今年84歳になります。

最近少しずつ疲れがとれにくくなった気がします。でも患者さんが必要としてくれている間はなんとか頑張っていきたいと思います。

さて、家には自分を人間だと思っている猫が1匹おります。寝室に行く时必须先にベッドの上を陣取ります。こちらの方が毎回お猫様の様子を伺わなくてははいけないあり様で、毎晩枕の横・布団の上と場所取り争いを繰り返しています。

また、この猫は外に出ようといつも様子を伺っており、扉の開閉をしていると、どこからともなく現れて、脇をスルッと抜け悠々とした顔で歩いて庭に出て行ってしまいます。

猫との陣取り合戦にも負けないよう、また無断外出を阻止できるように自身の体も鍛えていこうと思っております。

皆様もどうか今年もよい年でありますように願っております。



## とげ抜きのカズ

日向市 沼田皮膚科 ほりのうち かず よ 堀之内 和 代

必殺仕事人風に「とげ抜きのカズ」などと粋がってしまいましたが、これは私やスタッフが勝手に名付けた私の異名であります。皮膚科医になって36年。普通であれば大ベテランの域がありますが、数年前から外来手術も切開も、組織検査も止め、皮膚科医としては三流以下の日々を過ごしております。そんな私が唯一褒めてもらえるのは「とげ抜き」であります。と言っても外から見えるものだけですが…ほとんどのものはピンク針一本でちょんちょんと抜くことができます。先日足裏の裏が痛いという中学生の足底から1ミリ位のガラス片をピンク針一本で取り出しました。私には何でもないので、若いスタッフからは、「すごい！よく見えますね！なんでそんなに麻酔もせずに抜けるんですか？」と聞かれます。「手先が器用なのかしら…でも器用貧乏とも言われるのよ～」などと笑っておりました。しかし、そのとき気づいたのです。私は毎日とげぬき地蔵尊のお札に手を合わせていることに!! そして地蔵尊煎餅も当たり前のように口にしていたことに!

東京巣鴨のとげぬき地蔵尊は皆様ご存じのことと思います。とげぬき地蔵尊にお参りしたとき、小さなお札をいただきお祀りしておりました。そして毎朝ご先祖様にお茶をお供えするとき無意識にお札に手を合わせていたのです。しかも、巣鴨の元祖地蔵尊煎餅「むさしや」さんからは、年に数回地蔵尊煎餅を一斗缶で送っていただき美味しくいただいていた。本来は店頭販売のみですが、むさしやさんのご主人とは茶道を通じてとても懇意にさせていただいた

お蔭で、お代も払わずご厚意に甘えておりました。残念ながらお店は2019年に閉店され106年の歴史に幕を下ろされました(涙)。私が「とげ抜きのカズ」などと言ってもらえるのは、とげぬき地蔵尊と「むさしや」さんのお蔭なのでは?と今になってやっと気づいたのであります。私も還暦になり孫にも恵まれ本当のおばあさんになりました。とげぬき地蔵尊にお礼参りに、おばあさんの原宿である巣鴨へ、いざ参りましょう!!

## 折に触れて思うこと ～想(そう)～

宮崎大学医学部外科学講座 教授 なな しま あつ し 七 島 篤 志

仮想、妄想、幻想、想念など想を用いた語は多彩です。物心ついたころの記憶から今まで、どこかをさ迷っているかの如き私の無言の様から“どうかした、おーい!”と声を掛けられ、はっと現実に戻ることがしばしばあります。私自身は気持ちよく幸せな感覚で脳を休めているのですが、他人には心配なようです。激動の2年は国内外や学問において多様な想を取り戻す貴重な時間でした。福山雅治の“想”の曲中、「無限の可能性ハジマル・ツナガル」, 「原子・遺伝子レベルで欲しがらる進化」, 「机上の空論を追い越して」, そして「行先は一つ」という歌詞が抜粋されます。従来の常識を超えた感染症や経済、民衆と独裁・覇権、遺伝子レベルの創薬や修飾技術、AI化と人類の超人化などの変化が、グローバル化から身近な生活に一気に混ざりこんできて多くの人の概念が個々に多様化

・変化してきていないでしょうか？懸念も多いのですが、一方で変化への楽しさも無意識に感じられます。数年前に映画Inceptionでは多重の夢と夢中の現実世界や、2021年映画ファーザーで名優アンソニー・ホプキンスが認知症者の妄想と現実の中の絶望を演じた演技と映像での表現が想の世界そのものに思えます。今年6月のある日暮れ時間の帰宅中、2日連続で清武から木花台を通り熊野へ帰宅する運転ルート上で、3つの光が点滅する黒い三角形のマンタの如き物体が浮遊・旋回しているのを十数秒見た気がしました。それとなく周りに尋ねても噂すらなく、疲れ頭の幻想・夢だなど解釈したのですが、翌々日から那覇や上海上空で類似の物体が多数目撃され、米軍の秘密無重力偵察機tr3bかとSNSで憶測が流れました。私の中の真実味が増しましたが、やはり教職なので“下ばかりを見つめる現代、ふと自分だけ上を眺めると人が気づかない楽しい世界が体験できるかもよ～？”と言う程度でカミングアウトしています。アンソニーと化した私かどうか数年後の本誌の依頼があるかで判断できるでしょう（笑、草草）。

## あと何年

高原町 川井田医院 かわいだ 川井田 のぞむ 望

あけましておめでとうございます。この投稿を執筆しているころ、幸い新型コロナウイルス感染症は比較的落ち着いていますが、オミクロン株などという新たな株が懸念されているところです。皆様も引き続き体調管理には気を付けてご愛ください。

さて話は変わりますが、私の数少ない趣味の一つが旅行です。これまで、大学時代から休暇の旅行のために仕事をしていると言っても過言ではないぐらい毎年楽しみにしておりました。コロナ禍でなかなか旅行に行く機会は減りましたが、最後に家族で遠出したのが、2019年の名古屋、岐阜旅行でした。私が宮崎出身で初めて背丈以上の雪を見たのが大学時代でした。非常に興奮したのを覚えており、子どもにもその感動をと思い日本有数の豪雪地帯白川郷に年末年始で訪れました。例年なら年末には深々と雪が降り積もり、ライトアップされた白川郷に思いを馳せて飛行機にのり、バスに数時間ゆられ到着しました。途中で何となく気づいておりましたが、その年は近年稀にみる暖冬で全く雪がないではありませんか。世界遺産で貴重な合掌造りも子どもにとっては古い曾祖父の家と変わらず、明らかにつまらなそうな視線を感じ、肩身の狭い思いをして数時間再びバスに揺られ名古屋に帰りました。近いうちにリベンジと考えておりましたが、につくきコロナの影響でまだ果たせておりません。そうこうしているうちに長女は4年生になろうとしています。最近風呂もすでに一緒には入ってくれません。あと何年一緒に旅行に行けるか、行ってくれるのか。習っている水泳も気が付いたら平泳ぎもできるようになり、英検も私が取得している級に迫ってきています。子どもにとっての2年は非常に貴重なものだなとあらためて感じるこのごろでした。



## 就任挨拶



## 宮崎大学医学部附属病院教授就任挨拶

宮崎大学医学部附属病院 臨床腫瘍科 教授 ほそ細 かわ川 あゆむ歩

このたびは貴重な機会をいただきまして宮崎県医師会に深くお礼申し上げます。2021年9月1日付で臨床腫瘍科教授を拝命いたしましたのでご挨拶申し上げます。

私は1995年に札幌医科大学を卒業し同病院で研修を行った後に、釧路市（天気予報で最も気温が低いところの一つです）の総合病院で主に消化器病、血液疾患や膠原病の診療をしていました。1999年より3年間、国立がんセンター中央病院（東京都中央区）の内科レジデントとして、各がん腫の診断や治療などがん診療の基本を学びました。2002年より2年間、国立がんセンター東病院（千葉県柏市）のがん専門修練医として消化器癌の診断、内視鏡治療やがん薬物療法について研鑽を積みました。

2006年から約12年間、富山大学附属病院の第三内科（当時は消化器・血液内科を標榜していました）に勤務した後、2017年6月に宮崎大学医学部附属病院のがん診療部に赴任いたしました。札幌医科大学を卒業したときには予想もしていませんでしたが、気がいたら国内を縦断し気候が温暖な宮崎県に来ていました。

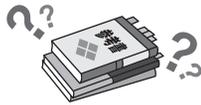
宮崎大学では、臨床腫瘍学の発展を目的として、2018年10月に「臨床腫瘍科」を設立いたしました。診療科名を腫瘍内科にしなかった理由は、内科・外科に関わらず、がん診療に携わる医師に広く門戸を開くことができたらという思いからです。当科はまだ少数ではありますが、消化器腫瘍や原発不明がんなどのがん薬物療法を中心に診療を行っています。近年、臨床腫瘍学の飛躍的な進歩により専門的な知識や技能が必要とされる新規薬剤が多数導入され、質の高い専門的ながん薬物療法の実践が求められ

ており、メディカルスタッフと連携して安全かつ適切に薬物療法を遂行できるように努めていきたいと思っております。

また当院のがんセンター長を兼任しておりますが、がんセンターでは外来化学療法部門、緩和医療、カンサーボード、ゲノム診療などの業務を行っています。各診療科の先生方と連携して臓器横断的な医療が提供できるように図っています。またゲノム医療中核拠点病院である慶應大学と連携して、ゲノム医療を推進し、宮崎県のがん診療の向上に貢献できるように努めていきたいと考えています。

がん患者数の著しい増加やがん診療の多様化に対応するために、医師だけでなくがん診療に精通した看護師や薬剤師など医療人の育成が重要です。文部科学省が行う医療人の養成を目的とした「新ニーズに対応する九州がんプロフェッショナル養成プラン」のコーディネータを担当し、その中でがんの診療に必要な知識の習得を目指した宮崎大学がんセミナーを行ってきました。院内の先生方に協力していただき、がん薬物療法、病理学や精神腫瘍学などの総論から肺がんや胃がんなどの各論についてセミナーを開催し、宮崎県内の多職種の医療人の養成を図ってきました。コロナ禍では残念ながら院外の医療従事者の方々にご参加いただくことが難しくなりましたが、今後の状況をみながら院外の先生方にご参加いただけるように配慮したいと思います。

今後も宮崎県民に安全で質の高いがん医療を提供できるように尽力する所存です。ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## あなたできますか？

—令和2年度 医師国家試験問題より—

(解答は46ページ)

1. 学校保健安全法における風疹の出席停止期間の基準について正しいのはどれか。
  - a 発疹が消失するまで
  - b 解熱した後3日を経過するまで
  - c 発症した後5日を経過するまで
  - d すべての発疹が痂皮化するまで
  - e 病状により学校医その他の医師が感染のおそれがないと認めるまで
2. 医療費が全額公費負担となるのはどれか。
  - a 結核の一般医療
  - b 指定感染症による入院
  - c 精神障害者の措置入院
  - d 小児慢性特定疾病の外来治療
  - e 予防接種による健康被害の救済措置
3. 感染症について正しいのはどれか。
  - a 結核は検疫感染症である。
  - b コレラの治療医療費は全額公費負担となる。
  - c 髄膜炎菌感染症は定期予防接種の対象である。
  - d マラリアは感染症法に基づく入院勧告の対象となる。
  - e 新型インフルエンザは、診断後直ちに都道府県知事に届け出る。
4. レジオネラ肺炎について誤っているのはどれか。
  - a 集団感染がみられる。
  - b 中枢神経系症状を呈する。
  - c 低ナトリウム血症を生じる。
  - d  $\beta$ ラクタム系抗菌薬が有効である。
  - e 迅速診断に尿中抗原検出キットが有用である。
5. 世界的大流行を引き起こし、中世ヨーロッパでは黒死病として恐れられた感染症はどれか。
  - a 結核
  - b コレラ
  - c 天然痘
  - d ペスト
  - e 発疹チフス
6. 予防接種法で任意の予防接種に含まれるのはどれか。
  - a MR ワクチン
  - b 水痘ワクチン
  - c 日本脳炎ワクチン
  - d おたふくかぜワクチン
  - e ヒトパピローマウイルス〈HPV〉ワクチン
7. 100mGy以上の放射線被曝が原因で胎児奇形(構造異常)が発生する可能性が高い時期はどれか。
  - a 受精0～8日
  - b 受精2～8週
  - c 受精8～15週
  - d 受精15～25週
  - e 受精25週以降
8. 2019年以前の我が国におけるインフルエンザについて、正しいのはどれか。
  - a 小児に比べて大人の罹患率が高い。
  - b 罹患数は1シーズンに1～2万人である。
  - c 4月から5月にかけて流行のピークがある。
  - d 他の年齢層に比べて高齢者の致死率が高い。
  - e オセルタミビル耐性のウイルス株が90%以上を占める。
9. 28歳の女性。外陰潰瘍を主訴に来院した。10日前に潰瘍に気付いたが痛みがないので様子を見ていた。身長164cm、体重58kg。体温36.5℃。脈拍72/分、整。血圧124/76mmHg。呼吸数20/分。左小陰唇外側に径10mmの硬結を認め、中心に潰瘍を認める。自発痛と圧痛はない。両側鼠径部のリンパ節に径1cmの腫大を触知するが痛みはない。  
可能性が高いのはどれか。
  - a 梅毒
  - b 淋菌感染症
  - c 性器ヘルペス
  - d クラミジア感染症
  - e 尖圭コンジローマ
10. 日齢0の女児。妊娠初期の妊婦健康診査で妊娠確定後、妊婦健康診査を受診していなかった。陣痛が発来したため前医を受診し、低出生体重のため救急車で搬入された。在胎39週1日、体重2,010g、Apgarスコアは7点(1分)、8点(5分)で出生した。体温36.7℃。心拍数120/分。血圧60/35mmHg。呼吸数40/分。SpO<sub>2</sub>100%(room air)。活気不良、啼泣は弱い。第二肋間胸骨左縁にLevine 2/6の連続性雑音を認めた。血液所見：Hb18.7g/dL、白血球10,800、血小板7.9万、IgM350mg/dL(基準0～20)であった。妊娠初期に母親は微熱と発疹を認めたが医療機関は受診しなかったという。  
母親が妊娠中に罹患した可能性が高い疾患はどれか。2つ選べ。
  - a 水痘
  - b 梅毒
  - c 風疹
  - d 伝染性紅斑
  - e A群 $\beta$ 溶連菌感染症

## エコー・リレー

(557回)

(南から北へ北から南へ)

## 雑 感

宮崎市 宮崎県健康づくり協会 かわ ばた のり ひこ  
川 畑 紀 彦

先日平部久彬先生から自分の後のリレーエッセイの担当を引き継ぎ、何でもよいから書けと言われて安易に受けたがイザ筆を執ってみると書けることは意外に持っていないと分かった。

そこで、人は誰でも日常生活の中でチョットしたことを印象深く記憶することがあるから、私も特別でもない些細な経験を披露することで責任を果たしたいと思った。

一つ目は私が大学入学をしたころの話である。私は自宅から大学へ徒歩通学していて、その途中農園の中を通っていたとき、幼稚園生位の子どもたち3、4人がトンボ採りをしているのに出会った。彼等と行違ったとき、その一人が不意に私に「オジチャン」と呼び掛けてきた。呼びかけに特別な意味はなかったけれど、高校を卒業したばかりの私にとってオジサン呼ばわりされたのは人生初の出来事であった。それまでも周囲からお前は老けて見えると言われてはいたが、子どもから面と向かって呼ばれたのにはさすがに戸惑った。一瞬誰のことかと周りを見回すほどのことだった。

二つ目は私が30歳のころ朝の歯磨きのとき、鏡の中の自身の頭の中に一本の白髪を見つけた。最初は何か光の反射の具合だろうと思って調べてみると紛れもなく白髪だった。アッ、自分もかとかツクツク思わされた。

ところで、振り返ってみると私は30、40歳の辺りで円形脱毛症、そして55歳で計3回目になる重い腰痛を経験している。また、10年位ごとに2回帯状疱疹も患っている。以上のように病気にしろ、生理的な身体変化にしろ、それらは進行する年齢の節々と同調しているもののように感じた次第である。

[次回は、宮崎市の長嶺 元久先生をお願いします]

## 新開設HALEたちばな

宮崎市 みつばち診療所 くす もと きょう こ  
楠 元 恭 子

2021年10月に開業しましたみつばち診療所の楠元と申します。この機会をお借りして、当院が併設されている総合在宅支援HALEたちばなについて簡単にご紹介させていただきます。

HALEたちばなは、認定NPO法人ホームホスピス宮崎により2021年10月に開設されました。ホームホスピス“かあさんの家”をご存じでしょうか。高齢者向けの介護付き施設で、地域にもともとあった民家をそのまま利用して、まるで家のような暮らしをしながら最期まで暮らしていける生活の場となっています（現在宮崎市に3か所）。これを運営しているのがホームホスピス宮崎で、このHALEたちばなのある橋通東3丁目の敷地は、かあさんの家で亡くなった方のご自宅があった敷地でした。引き継いだ息子さんが、ぜひこの土地を在宅のサービスに役立ててほしい、と提供してくださったのです。施設の中には、当院、訪問看護ステーション、重心児（者）や高齢者の利用できる短期入所施設と日中一時支援が併設されています。また一階にはだれでも利用できる研修室とカフェがあり、カフェには医療的ケアが必要な際に利用できるケア室もあります。

このHALEたちばなのHALEはハワイ語で大きな家という意味で、どんな障害があっても疾患があっても誰でもどこでも、家のように穏やかに過ごせることを目指す想いが込められています。この理念に沿いながら当院も心をこめて在宅医療を提供していく所存です。今後ともなにとぞよろしくごお願い申し上げます。

[次回は、都城市の郡山 晴喜先生をお願いします]

## 身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

### 第3回 問題あるスタッフの解雇について



Q.

当院では無断遅刻や早退をしたり、患者や他のスタッフに対して高圧的な態度を取るなど、素行に問題のあるスタッフがあります。このままでは周囲に悪影響を与えるため、退職して欲しいと思っています。どのように対応すればよいですか？

私が医療機関の皆様から受ける相談の中で、最も多い相談が「問題あるスタッフ対応」です。そのため、問題あるスタッフに対する対応方法を理解しておくことは重要です。

まず、日本の法律ではスタッフを解雇するハードルは極めて高く、横領や傷害事件などの犯罪行為を行なった場合以外では、解雇することはできないと考えてください。実際、不当解雇を行なった医療機関が、スタッフから多額の賠償請求を受ける事例は多く発生しています。そのため、原則として一方的にスタッフを解雇することは、慎重にお考えください。

その一方で、スタッフの自主退職を促す退職推奨は、解雇とは異なり許容されることが多いです。確かに、退職しない意思を明確に示しているにも関わらず執拗に退職勧奨を行うことは違法となり得ますが、当該スタッフと面談して自主退職を促す範囲であれば問題ないでしょう。

そのため、ご質問のような問題あるスタッフがいる場合には、そのスタッフと面談して、その人のためのキャリアアップのためにも自主退職が好ましい等を説明のうえ、自主退職を促すという対応がよいでしょう。

(回答 弁護士法人きさらぎ 弁護士 高山 桂)

A.



### <医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。  
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

# 日本医師会向けキャッシュレスサービス

会員みなさまの経営を支える低手数料のキャッシュレスサービス

手数料率

1.5%

(Visa、Mastercard®)のみ

日医会員  
限定

初期費用  
利用料  
無料

(電子マネー)除く

▶詳しくは下記サイトをご確認ください。

基本プラン		日医会員の手数料率
各種クレジットカード		<b>1.50%</b> (非課税)
		紹介サイトをご確認ください。
オプションメニュー		日医会員の手数料率
各種交通系ICカード 電子マネー		<b>2.53%</b> (税込)
※電子マネーのご利用には月額550円(税込)の利用料がかかります。クイックペイの利用も調整中です。		
その他決済種別		参考手数料率
QRコード決済		<b>1.20%~</b>

※JPQRは総務省の紹介サイトからお申込みください。<https://jpqr-start.jp/>

紹介サイト | [ORCAMO キャッシュレス](#)  または、右記二次元バーコードよりアクセスしてください。

お問い合わせ | [orca-cashless@pm.orcamo.co.jp](mailto:orca-cashless@pm.orcamo.co.jp)



日本医師会 ORCA 管理機構

〒113-0021 東京都文京区本駒込六丁目1番21号 コロナ社第3ビル6階 電話:03-5981-9683(営業企画部)

表彰・祝賀

社会福祉功勞により厚生労働大臣表彰

おお くぼ とし たか  
大 窪 利 隆 先生 (都 城)

令和3年11月19日、社会福祉功勞により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。  
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



大窪 先生

労働基準行政関係功勞により厚生労働大臣表彰

ちよう さ えつ お  
帖 佐 悦 男 先生 (宮大医)

令和3年11月23日、労働基準行政関係功勞により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。  
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



帖佐 先生



## 令和3年1月～12月に 叙勲、褒章及び各種表彰を受けられた会員の先生方

### 叙勲・褒章

#### 【宮崎市郡医師会】

学校保健功勞により瑞宝双光章（令和3年4月29日）	原 田 一 道
保健衛生功勞により旭日双光章（令和3年11月3日）	立 元 祐 保

#### 【都城市北諸県郡医師会】

保健衛生功勞により旭日双光章（令和3年4月29日）	夏 田 康 則
---------------------------	---------

#### 【日向市東臼杵郡医師会】

保健衛生功績により藍綬褒章（令和3年11月3日）	二 宮 嘉 正
--------------------------	---------

#### 【宮崎大学医学部医師会】

教育研究功勞により瑞宝中綬章（令和3年11月3日）	高 崎 眞 弓
---------------------------	---------

### 各種表彰

#### 【宮崎市郡医師会】

公衆衛生功勞により県知事表彰（令和3年1月15日）	獅子目 賢一郎
産科医療功勞により厚生労働大臣表彰（令和3年3月3日）	細 川 義 明
救急医療功勞により厚生労働大臣表彰（令和3年3月3日）	古 賀 和 美
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰（令和3年8月24日）	作 和 明
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰（令和3年8月24日）	篠 原 義 成
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰（令和3年8月24日）	柴 田 博
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰（令和3年8月24日）	三 原 敬
国民健康保険中央会表彰（令和3年8月30日）	甲 斐 眞 弘
国民健康保険中央会表彰（令和3年8月30日）	中 崎 秀 二
国民健康保険中央会表彰（令和3年8月30日）	姫 路 大 輔
救急医療事業功勞により県知事表彰（令和3年9月6日）	牛 谷 義 秀
産科医療功勞により厚生労働大臣表彰（令和3年9月9日）	金 田 太 郎
救急医療功勞により厚生労働大臣表彰（令和3年9月9日）	比 嘉 利 信
精神保健福祉事業功勞により県知事表彰（令和3年10月9日）	中 村 究
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰（令和3年10月14日）	植 木 義 裕
精神保健福祉事業功勞により厚生労働大臣表彰（令和3年10月15日）	古 郷 博
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰（令和3年10月28日）	小 野 武 己

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰（令和3年10月29日） 森 山 重 人

#### 【都城市北諸県郡医師会】

公衆衛生功勞により県知事表彰（令和3年1月15日） 淵 脇 和 男  
 公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会会長表彰（令和3年2月16日） 速 見 晴 朗  
 学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰（令和3年8月24日） 鶴 木 俊 秀  
 学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰（令和3年8月24日） 田 中 隆  
 救急医療事業功勞により県知事表彰（令和3年9月6日） 大 岐 照 彦  
 社会福祉功勞により厚生労働大臣表彰（令和3年11月19日） 大 窪 利 隆

#### 【延岡市医師会】

公衆衛生功勞により県知事表彰（令和3年1月15日） 山 本 剛  
 公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰（令和3年2月26日） 早 田 泰 英  
 学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰（令和3年8月24日） 岸 重 雄  
 学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰（令和3年8月24日） 戸 島 信 夫  
 学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰（令和3年8月24日） 宮 田 純 一

#### 【日向市東臼杵郡医師会】

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰（令和3年2月26日） 渡 邊 康 久  
 精神保健福祉事業功勞により県知事表彰（令和3年10月9日） 堀 徹 也  
 学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰（令和3年10月28日） 稲 原 明 肆

#### 【西都市西児湯医師会】

公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会会長表彰（令和3年2月16日） 大 塚 和 子  
 救急医療事業功勞により県知事表彰（令和3年9月6日） 鶴 田 曜 三

#### 【南那珂医師会】

公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会会長表彰（令和3年2月16日） 山 元 敏 嗣

#### 【西諸医師会】

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰（令和3年7月9日） 故 野 本 浩 一  
 学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰（令和3年8月24日） 押 川 達 巳  
 学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰（令和3年8月24日） 川井田 繁  
 学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰（令和3年8月24日） 新 添 謙 一  
 学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰（令和3年8月24日） 槇 健一郎

#### 【宮崎大学医学部医師会】

労働基準行政関係功勞により厚生労働大臣表彰（令和3年11月23日） 帖 佐 悦 男

## 宮崎県感染症発生動向 ～11月～

令和3年11月1日～令和3年11月28日（第44週～第47週）

## ■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核6例（男性2例・女性4例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症6例：日南保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳，5～6歳が各2例，30歳代と70歳代が各1例であった。主な症状として水様性下痢，発熱，軟便がみられ，原因菌のO血清型はO111（VT1VT2），O26（VT1）であった。

4類：○つつが虫病24例：保健所別報告数は【図2】，年齢別報告数は【表3】のとおりであった。主な症状として頭痛，発熱，刺し口，リンパ節腫脹，発疹等がみられた。

○日本紅斑熱1例：高鍋保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，ダニの刺し口は確認できなかった。主な症状として発熱，頭痛，発疹，肝機能異常，倦怠感，食欲不振がみられた。

○レジオネラ症1例：小林保健所管内から報告があった。年齢は30歳代で，病型は肺炎型であった。主な症状として発熱，肺炎がみられた。

5類：○アメーバ赤痢1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は40歳代，病型は腸管アメーバ症で，主な症状として下痢，粘血便，しぶり腹，腹痛，大腸粘膜異常所見がみられた。

○カルババネム耐性腸内細菌感染症1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状として肺炎がみられた。

○梅毒5例（男性2例，女性3例）：宮崎市（3例），都城（2例）保健所管内から報告があった。年齢は20歳代が3例，40歳代と50歳代が各1例であった。病型は無症状病原体保有者，早期顕症梅毒Ⅰ期が各2例，早期顕症梅毒Ⅱ期が1例であった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，外陰部潰瘍がみられた。

○破傷風1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状として筋肉のこわばり，開口障害がみられた。

## ■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は2,281人（定点あたり66.0）で，前月の101%，例年の108%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で，減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。また，例年同時期と比べて報告数の多かつ

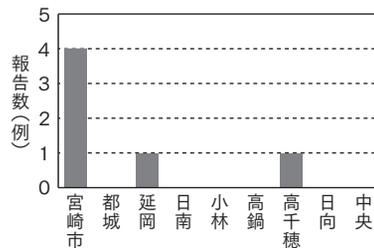


図1 結核 保健所別報告数(例)

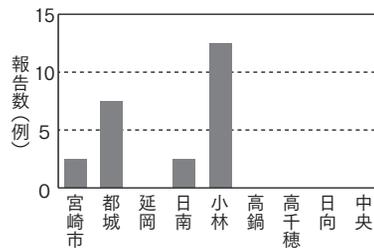


図2 つつが虫病 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	3
その他の結核 (結核性リンパ節炎, 脊椎結核)	2
無症状病原体保有者	1

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	1
50歳代	1
70歳代	1
80歳代	2
90歳代	1

表3 つつが虫病 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	2
30歳代	1
40歳代	1
50歳代	3
60歳代	6
70歳代	8
80歳代	2
90歳代	1

## ■病原体検出情報(微生物部)

		検出病原体	件
細菌		Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	1
		EHEC (O111:HNM VT1,2)	2
ウイルス		ムンプスウイルス	1
		エコーウイルス6型	1
		パラインフルエンザウイルス3型	1

た主な疾患はRSウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は88人（2.4）で前月の約0.9倍、例年の約4.6倍であった。都城（6.5）、小林（6.0）、日南（4.0）保健所からの報告が多く3歳以下が全体の約9割を占めた。

手足口病の報告数は1,035人（28.8）で前月の約0.9倍、例年の約9.3倍であった。小林（47.7）、日南（44.7）、都城（43.8）保健所からの報告が多く、6ヵ月から3歳が全体の約9割を占めた。

### ■月報告対象疾患の発生動向〈2021年11月〉

#### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は47人（3.6）で、前月比138%と増加した。また、昨年11月（3.8）とほぼ同率であった。

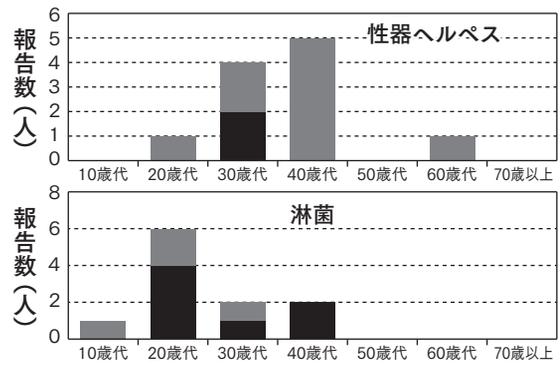
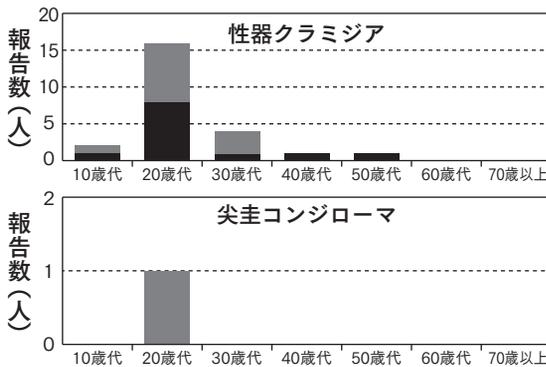
#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数24人（1.9）で、前月の約1.3倍、昨年11月の約0.9倍であった。20歳代が全体の約7割を占めた。（男性12人・女性12人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数11人（0.85）で、前月と同率、昨年11月の約0.9倍であった。（男性2人・女性9人）
- 尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前月の約0.3倍、昨年11月の0.5倍であった。（女性1人）
- 淋菌感染症：報告数11人（0.85）前月の約5.5倍、昨年11月の約1.4倍であった。（男性7人・女性4人）

前月との比較

	2021年11月		2021年10月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	0	0.0	0	0.0	
RSウイルス感染症	88	2.4	96	2.7	★
咽頭結膜熱	51	1.4	31	0.9	
※溶レン菌咽頭炎	157	4.4	120	3.3	
感染性胃腸炎	696	19.3	600	16.7	
水痘	16	0.4	19	0.5	
手足口病	1,035	28.8	1,120	31.1	★
伝染性紅斑	5	0.1	4	0.1	
突発性発しん	83	2.3	108	3.0	
ヘルパンギーナ	124	3.4	196	5.4	★
流行性耳下腺炎	7	0.2	4	0.1	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	19	3.2	10	1.7	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



■男 ■女

#### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人（3.0）で、前月比124%と増加した。また、昨年11月（2.6）の117%であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数21人（3.0）で、前月の約1.3倍、昨年11月の約1.2倍であった。60歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

## － 各種委員会 －

### 介護保険委員会

と き 令和3年11月8日(月)

ところ 県医師会館, Web (Zoom)

石川常任理事の司会により開会, 牛谷委員長の進行で議事に入った。

#### 1 令和3年度主治医研修会について

まず, 石川常任理事から, 研修の目的や留意点について説明があった。その後, 今年度の研修内容について検討が行われた。

研修会は, 令和4年2月28日(月)にWebにて開催する。内容については, 下記3つの事例検討を実施することとなった。詳細は, 委員長および担当理事に一任された。

- 1) 主治医意見書に関する総論
- 2) 身体機能, 特に移動能力を中心にした主治医意見書の記載の仕方
- 3) 精神科疾患をもつ認知症

#### 2 諮問事項について

昨年度からの継続諮問事項である「コロナ流行期における介護保険事業への医師の果たすべき役割について」議論が交わされた。

コロナ陽性と診断した患者について, その後の症状変化や入退院情報などを, かかりつ



け医が十分に得られないという事例が多くあった。2類感染症であるため個人情報保護の制限があるが, 今後は患者を守るために医師からのアクションが必要であるとの意見がまとめられた。

#### 参加者

県医師会館－牛谷委員長, 松岡・園田・荒川・福嶋・早稲田委員

Web (Zoom)－榎本・谷島・上山・飛松・中島委員

(県長寿介護課)－高野主任技師, 黒木主事

(県医) 山村副会長,

荒木・金丸・石川常任理事,

川野・玉置理事, 野尻課長,

横山主事

#### あなたできますか? (解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a	b	e	d	d	d	b	d	a	b, c

## － 各種委員会 －

### 医学賞選考委員会

と き 令和3年11月19日(金)

ところ 県 医 師 会 館

嶋本理事の開会、濱田副会長の挨拶後、比嘉委員長の進行により本年度の医学賞について協議した。

昨年発行された宮崎県医師会医学会誌第44巻第1号および第2号を対象とし、各専門分科医会からの推薦等を参考に討議した結果、「宮崎市胃がんリスク層別化検診（ABC検診）受診5年後の追跡調査」（尾上耕治先生 第44巻第2号）の1論文を選考し、医学賞受賞候補論文として河野県医師会会長に推薦することとなった。



出席者－比嘉委員長，河野副委員長，  
大西・濱田・小牧・金丸・嶋本委員  
牧野課長，渡邊係長

### 女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では、妊娠中の医師に  
マタニティ白衣・スクラブ・パンツを貸し出しています～



妊娠されている医師の方が、心地よく快適に過ごせますよう、マタニティ白衣，スクラブ，パンツをご用意いたしました。妊娠後期の短い間の着用ですが，どうぞご利用ください。

医師会員でなくてもお申込みできますので，どうぞお気軽にお問い合わせください。

詳しくは，宮崎県医師会ホームページ  
(<http://www.miyazaki.med.or.jp/>) をご覧ください。



お問い合わせ先

宮崎県医師会 担当 山本

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

## 九州医師会連合会第394回常任委員会

と き 令和3年10月2日(土)

ところ 九州各県医師会 (TV会議)

### 1 開 会

### 2 挨拶

#### 1) 九州医師会連合会長 (沖縄県安里会長)

(要旨) 8月28日(土)の常任委員会です承いただいた定例委員総会の書面決議の7議案は、議案書の配布および表決書の回収など各県医師会のご協力により全員賛成で原案どおり承認された。

変異株の出現により各地で猛威を振っていた新型コロナウイルスも全国的に減少傾向に転じ、東京や福岡、本県など19都道府県の緊急事態宣言、また熊本や鹿児島、宮崎など8つの県でまん延防止等重点措置が解除された。今後は人流増加や感染拡大の主な起点となっている場での対策強化など、感染再拡大の防止に努めていかなければならないと考えている。

### 3 報 告

### 4 協 議

#### 1) 九州医師会連合会第395回常任委員会並びに第122回臨時委員総会 (11月12日(金))の開催方法について (沖縄)

沖縄県安里会長が、新型コロナウイルス感染症の拡大状況をふまえ、現地開催を諦め、常任委員会は「別日開催 (10月29日(金))」、宣言決議案を上程する臨時委員総会は「書面」開催、懇親会は「中止」とすることを提案し、協議の結果、原案どおり承認された。

#### 2) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会 (11月13日(土))の開催方法について (沖縄)

沖縄県安里会長が、日医中川会長の講演を行う合同協議会は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況をふまえ、現地開催を諦め、九州各県医師会館を結ぶ「TV会議」で開催することを提案し、協議の結果、原

案どおり承認された。

#### 3) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会 (11月13日(土))について (沖縄)

沖縄県安里会長が、事前に照会の結果、日医中川会長のご講演に対する質問・要望を以下の4題にすることを提案し、協議の結果、原案どおり承認された。

- ・コロナ禍で加速される少子化への対応 (長崎)
- ・医師の働き方改革について (宮崎)
- ・コロナ後の地域医療構想 (医療提供体制)を検討するための日医総研での研究・調査について (鹿児島)
- ・新型コロナウイルス対応下での医業経営状況をふまえた更なる財政支援などについて (鹿児島)

#### 4) 第121回九州医師会総会・医学会 (11月13日(土))の開催方法について (沖縄)

沖縄県安里会長が、新型コロナウイルス感染症の拡大状況をふまえ、すでに九州各県の全会員に案内されている11月の九医学に関して、現地開催を諦め、九州各県医師会館を結ぶ「TV会議」で開催することを提案し、協議の結果、原案どおり承認された。

#### 5) 第121回九州医師会連合会総会における宣言・決議 (案)について (沖縄)

沖縄県安里会長が、九州各県から提出された修正点を加えた変更案の概略を説明し、協議の結果、働き方改革やコロナ禍における医療提供体制など、すでに通知が出ているものは、「意見を反映」などから、「構築に努めなければならない」などに文言を変更、全体の微調整については、九医連会長に一任し、書面で開催される臨時委員総会に提案することが承認された。

6) 九州医師会連合会第395回常任委員会  
(10月29日(金))について(沖縄)

沖縄県安里会長が、事前に調整した結果をふまえ、10月29日(金)に開催することを提案し、協議会の結果、原案どおり開催することが承認された。

7) 第6回九州ブロック災害医療研修会並びに九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会(令和4年1月22日(土)・23日(日))の開催について(沖縄)

沖縄県安里会長が、1月22日(土)、1月23日(日)に開催することを提案し、協議会の結果、原案どおり開催することが承認された。

8) 第396回常任委員会並びに第2回各種協議会(令和4年2月5日(土))の開催について(沖縄)

沖縄県安里会長が、2月5日(土)に開催することを提案し、協議会の結果、原案どおり開催することが承認された。

9) 中四九地区医師会看護学校協議会特別会員への加盟にかかる確認調査結果について(沖縄)

沖縄県安里会長が、事前に照会していた九州各県の意向を説明し、協議の結果、九医連で「顧問」として加盟し、その負担金は再度検討する。個別の対応については、九州各県個々の判断に任せることとなった。

10) その他

5) その他

6) 閉会

1) 福岡県議会の議長に就任された「秋田章二先生(現福岡県医師会監事)」の祝賀会について(福岡)

2) 臨時の九州医師会連合会常任委員会の企画について(沖縄)

出席者-河野会長、竹崎事務局長、久永総務課長

日本医師会

医師年金

—ご加入のおすすめ—

医師年金は、日本医師会が運営する医師専用の私的年金です。

日本医師会員で満64歳6カ月未満の方が加入できます(申し込みは64歳3カ月までをお願いします)。

医師年金  
ホームページで  
ご加入時の

受取年金額のシミュレーションが  
できます! [医師年金 検索](#) <http://www.med.or.jp/nenkin/>

○ 医師年金の特長 ○ 医師年金のしくみ ○ 仮申請シミュレーション ○ よくあるご質問 ○ 手続ガイド ○ お問い合わせ・資料請求

**豊かで安心できる将来に向けて**

見積もり機能拡充 現役引退後、公的年金だけで、現在の生活水準を維持できますか?

医師年金シミュレーション

ご加入の際の年金額についてシミュレーションしてみよう。 ▶  保険料からシミュレーション  受給年金からシミュレーション

マイページに登録した後、ネット上で医師年金加入の仮申し込みができます。 ▶  マイページ登録  マイページへログイン

【シミュレーション方法】

トップページから「シミュレーション」に入り、ご希望の受取額や保険料、生年月日を入力すると、年金プランが表示されます。

【仮申し込み方法】

「マイページ」に登録すると、ネット上で医師年金の仮申し込みが可能となります。

お問い合わせ・資料請求：日本医師会 年金福祉課 ☎03-3942-6487(直) (平日 9時半～17時)

## 九州医師会連合会第395回常任委員会

と き 令和3年10月29日(金)

ところ 九州各県医師会 (TV会議)

### 1 開 会

### 2 挨 拶

#### 1) 九州医師会連合会長 (沖縄県安里会長)

### 3 報 告

#### 1) 九州医師会連合会事業現況について

(沖縄)

沖縄県宮里善次副会長が、令和3年7月1日(木)から10月15日(金)までの事業現況(常任委員会4回, 委員総会1回, 各種協議会1回など)について報告を行った。

#### 2) 九州医師会連合会歳入歳出現計について

(沖縄)

沖縄県稲田隆司常任理事が、令和3年10月15日(金)現在の歳入歳出現況(収入済額100,041,297円, 支出済額5,541,774円)について報告を行った。

#### 3) 第121回九州医師会医学会および関連行事について (沖縄)

沖縄県宮里善次副会長が、令和3年11月12日(金)の前日諸会議, 13日(土)の合同協議会, 総会・医学会, 14日(日)の分科会などの概要について報告を行った。

### 4 協 議

#### 1) 九州医師会連合会令和3年度第2回各種協議会(令和4年2月5日(土))の開催種目及び参加人数等について(沖縄)

沖縄県安里会長が、事前に九州各県に照会していた希望種目の結果を報告し、地域医療, 医療保険, 介護保険の対策協議会(いずれも新型コロナウイルス感染症対策を含む)を沖縄ハーバービューホテルで開催することが承認された。また、感染拡大防止の観

点から各協議会への参加人数は各県役員2名, 事務局1名以内とすることとなった。

### 5 その他

#### 1) 常任委員会の件について

沖縄県安里会長が、令和2年8月以降、新型コロナウイルスの影響により対面による常任委員会を行っていないことから、集合同開催の道を模索していたが、年内の開催を断念した旨の説明が行われ、その後、日医執行部との連携などについて意見交換が行われた。

### 6 閉 会

出席者－河野会長, 竹崎事務局長,  
久永総務課長

## 人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会

と き 令和3年11月28日(日)

ところ 県 医 師 会 館



令和3年9月18日に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行された。

こうした中、本会では、人工呼吸器による呼吸管理や気管切開部の衛生管理、経管栄養など、医療的ケアを行える人材を増やし、地域において小児在宅医療を担う医師の質と量の確保につなげることを目的に、県の委託を受け、「人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会」を初めて開催した。

高木常任理事の挨拶ののち、導入講義として、「宮崎地区の小児在宅医療について」と題

し、まつおか小児科・いけだ小児神経内科院長の池田俊郎先生、講義1は「小児の気管切開管理」と題して、宮崎大学医学部小児科助教の木許恭宏先生、講義2は「胃瘻管理について」と題して、宮崎大学医学部小児科の前田謙一先生にご講演いただいた。

また、それぞれの講義のあとは、3班に分かれて小児の人体シミュレータを使った実技講習を行い、実技1として気管切開チューブ交換、実技2として胃瘻カテーテル交換を行った。参加者15名が、熱心に講習を受けられた。

### お知らせ

## カット、イラストの募集

日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。ぜひ、作品をお寄せください。

なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。



原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101  
genko@miyazaki.med.or.jp

## 九州医師会連合会令和3年度第1回各種協議会

と き 令和3年10月2日(土)

ところ 県医師会館 (TV会議)

令和3年度第1回各種協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、テレビ会議システムを利用して、九州各県医師会および日本医師会にて開催された。

九州医師会連合会の担当県である沖縄県の稲田常任理事の司会により開会し、安里九州医師会連合会長（沖縄県医）の挨拶の後、地域医療対策協議会、医療保険対策協議会、介護保険対策協議会の順で行われた。

それぞれの協議会の概要は次のとおりである。

### 地 域 医 療 対 策 協 議 会



地域医療対策協議会は、釜蒔日医常任理事の出席のもと開催された。協議は、各県から提案された7項目について釜蒔日医常任理事より日医の見解が説明された後、質疑応答が行われた。

#### 1 第8次医療計画第6事業について

－新興感染症等の感染拡大時における医療提供体制－（福岡県）

##### <提案要旨>

第8次医療計画の記載事項に「新興感染症等の感染拡大時における医療」が第6番目の事業として追加された。第8次医療計画は、2023年度に各都道府県において策定作業が進められることから、2022年度中を別途に地域医療構想の実現に向けた地域の議論が進

められていることが重要であると記載されている。各県の進捗状況についてお伺いしたい。各県回答 新興感染症への対応に関する事項を追加するように動いているのは、福岡県、鹿児島県のみでその他の県については、まだ検討が始まっていないもしくは追加する予定がないとの回答であった。

釜蒔日医常任理事 令和2年の早い時期から、医療計画に新興感染症等の対策を追加すべきということで進められ、医療計画の5疾病5事業の6番目の事業として追加された。改正医療法の施行については2024年から始まる第8次にあわせるため、医療計画における検討、施策の実施が可能な地域は前倒しで進めることができるよう国に要請している。

第7次の医療計画の中間見直しで、新たに検討を加えるという段階であり、この件については変更する県とそうでないところがある。地域の実情に応じてご判断いただければと思う。

策定に当たり平時の対応と有事の対応を整理して、具体的な計画に落とし込む必要がある。資材や防護具、人工呼吸器、ECMOの資材の備蓄、医療従事者、専門スタッフの確保、病床の確保など地域の実情に応じた計画にな

るよう支援していきたい。

## 2 第8次医療計画における外来医療機能について（熊本県）

### <提案要旨>

医療計画の見直し等に関する検討会において、外来医療の機能の明確化・連携、かかりつけ医機能の強化に関する報告書が示され、外来医療の機能の明確化・連携については令和4年4月1日から施行される。今後、国のワーキンググループ（WG）で検討され、NDBなどのさまざまなデータを活用し地域で必要な外来機能が示され、協議の場で議論が進められることとなっている。

外来医療においては労働者の就業先も含めて同一県内の二次医療圏での昼間の人口、夜の人口に大きく差が出てくる。国においては、各地域で柔軟な対応ができるわかりやすい制度設計をお願いしたい。九州各県のご意見と日医の見解をお願いしたい。

**各県回答** 提案要旨のとおり、地域の実情に応じた柔軟な対応が可能となるような制度にしてほしいとの意見や患者が安心して医療を受けられるような医療提供体制を構築し、正確な情報を周知することが重要との意見が出された。

**釜滝日医常任理事** 厚労省が設置している外来機能報告に関するWGにおいて、医療資源を重点的に使用する外来の指定、紹介・逆紹介の推進について検討を進めているが、日医としては、医療機関の負担にならないように、地域において決められる仕組みとするよう国に働きかけていく。外来機能報告の内容については、一部を除いてNDBデータから取得することとしているが、十分な情報が取れないこともあるため、今後、明確化し、連携の際に協議の場で示されることになるが、一律に決まるという仕組みにならないように主張していく。医療資源を重点的に活用する

医療機関については、地域による調整を十分担保した仕組みとなり、地域医療に大きな影響を与えるものにならないように、繰り返し提言を行っていく。

## 3 実効性のある医療計画等の策定に向けた取り組みについて（鹿児島県）

### <提案要旨>

令和6年度からの第8次医療計画等の策定に向け、国に各種検討会などが設けられ議論が始まっている。令和4年度に国で計画作成指針やガイドラインが改正され、都道府県では令和5年度中に計画を策定するスケジュールになっている。

都道府県が策定しなければならない計画は、保健福祉関係だけでも非常に多くあり、年々増えている（本県保健福祉部局で所管だけでも15計画）。

第8次医療計画に掲載される「新興感染症等への対応を含む5疾病6事業・在宅医療等」の推進、あわせて改定される医師確保計画、外来医療計画などを実効性のあるものとして機能させるため、各県で取り組んでいることがあれば、ご教示いただきたい。

また、日医においては国の検討会などにおいて都道府県に対し実効性を担保させる取り組みを促すよう指導していただきたい。

**各県回答** 本県を含む複数の県で、第8次医療計画策定を踏まえた第7次中間見直しの議論が今後行われるとの回答であった。福岡県からは、新興感染症などへの対応について、新型コロナウイルス感染症の対応をふまえた医療提供体制について中間見直しに盛り込むよう検討を行っていること、医師確保計画については4大学を始めとした基幹型臨床研修病院での初期臨床研修医の確保、専門医の養成などについて協議検討を行っていること、外来医療計画については、無床診療所の新規開業を行う場合は、事前に「新規開業に伴う

外来医療提供等報告書」を提出し、原則として当該区域で不足する外来医療機能（学校医、産業医、予防接種、特定健診、在宅医療、休日急患センターへの出務など）を担ってもらうことなど具体的な取組みについて回答があった。

**釜蒔日医常任理事** 医療計画のような地域医療の根幹をなす計画について、実効性を担保させることは大切なことである。都道府県に一律に実効性を担保すると、一部行政において、地域実情にそぐわないものになってしまう。第8次医療計画については、検討会やWGでそのあり方について検討が行われている。H26年のガイドライン、調整会議の協議により決めていく仕組みと同じように、実情に応じた計画を構築できるよう、繰り返し国へ提言していく。行政と協議し、医師会の提言を十分に反映できる地域とそうでないところが出てくるのが予想される。国の示す指針に一定の幅を持って地域の実情に沿うものにするということが重要である。

#### 4 新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた今後の地域医療構想の進め方について (大分県)

##### <提案要旨>

今般の新型コロナウイルス感染症の流行は、わが国の医療提供体制に多大な影響を及ぼしており、感染症指定医療機関（感染症病床）のみならず、その他の医療機関（一般病床）においても多くの感染症患者を受け入れてきている。

特に、新型コロナウイルス感染流行への対応で中心的役割を担い、医療崩壊を食い止めたのは公立・公的病院と大手の民間病院であることは明白であり、このことにより再編・統合の対象となった公立・公的病院のリストを一旦、白紙に戻すべきではないかと考えるがどうか。

そこで、「地域医療構想」を進めていくに当たり、その基本的な考え方や枠組みに関し、新興・再興感染症の感染拡大に備えた取組みをふまえてどのような点に留意する必要があるのか、各県医師会ならびに日本医師会の見解をお聞きしたい。

**各県回答** 各県とも、新型コロナウイルス感染症の対応をふまえて、地域性を考慮したうえで、地域医療構想調整会議で柔軟な議論を行うべきとの回答であった。

**釜蒔日医常任理事** 昨年の12月に厚労省は新型コロナ対応をふまえた今後の医療提供体制の構築に向けた考え方を取りまとめている。感染拡大時の短期的な医療需要には各都道府県の計画に基づき機動的に対応することを前提として、地域医療構想については病床の必要量の推計、考え方などを維持しつつ、着実に取組みを進めていくこととされている。

また、地域医療構想および医師確保に関するWGでは、具体的対応方法の再検証や民間医療機関への対応方針の在り方について検討している。

再検討医療機関の440病院については、新型コロナにおいて地域で重要な役割を果たしてきた医療機関もある。これらをふまえ地域の実情に応じて再検討を行っていただくことが必要だと考えている。正しい理解のもと実現に向けて進むよう国に働きかけていく。

#### 5 新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの効果及び変異株に対する対応について (佐賀県)

##### <提案要旨>

新型コロナウイルス感染症については、全国でワクチン接種が粛々と進められているところであるが、最近では医療機関や高齢者施設でのクラスターの発生が減少しており、ワクチンの効果が表れていると感じる。ただ

し、ワクチンを接種することで完全に感染を予防するわけではないため、接種済みでも感染する症例が報告されている。

そこで、各県に3点伺いたい。①陽性者の中に占めるワクチン2回接種者（2回接種後、2週間以上経過した方）の割合。②今年2月から8月までの期間におけるワクチン接種による医療機関や高齢者施設でのクラスター発生数の推移。③変異株の流行に対する、これまでと違った対応や取組み。

**各県回答** 各県ともに新規感染者で2回ワクチン接種を行っている方の割合は少なく、医療機関、高齢者施設でのクラスター発生については、第4波、第5波による発生はあるものの、ワクチン接種が進むにつれ、減少していた。

**釜蒔日医常任理事** ワクチン接種については、全国の医師会員に尽力をたまわり、当初、日本は世界においてやや接種が遅れていたが、遅れを取り戻して急速に他国に近づいてきた。第5波において、新規感染者報告数に対して重症・死亡者の報告割合が少ない。ワクチンの接種が進むことにより、医療従事者、高齢者における施設クラスター事案が明らかに減ってきている。5波の感染はある時期から急激に減少に向かっている。それぞれの施設において対応が適切なことと相まって、ワクチン効果が実現されている。一方で接種していれば絶対に罹患しないものではなく、接種を済ませた方の中からも一定程度の感染者が出ている。世界で接種が先行した国で新規感染者が増えている現象もみられている。

3回目の接種については、検討が始まった段階である。

## 6 小児に対する新型コロナワクチン接種について（長崎県）

### <提案要旨>

12歳以上に新型コロナワクチンの接種が可能とされたが、同時にワクチンの供給が不

足するという事態になり、更に十分に高齢者などへの接種が済んでいない状況下にもかかわらず、12歳以上の小児に夏休みに接種するよう政府が発表したので自治体は非常に混乱している。

小児に対する接種については、本人、保護者に丁寧な情報提供を行い、保護者の同意を得ること、接種の際には保護者の同伴が必要など成人とは異なるきめ細やかな対応が必要となる。また集団接種よりも個別接種が良いとされるが、貴会や郡市医師会などにおいて工夫されている事や、どのような対応をしているのかご教示いただきたい。

また、10月に入るとインフルエンザの予防接種が始まるが、コロナワクチン接種後2週間は空けるようされている。インフルエンザとコロナの予防接種についてどちらを優先するかなど貴会における対応や考え方があればご教示いただきたい。

**各県回答** 各県ともに個別接種を推奨しているとの回答であった。また、インフルエンザと新型コロナワクチンの優先順位については、対応方針が決まっていない県がほとんどであった。12歳未満の場合は、インフルエンザを優先して接種すべきであるとの意見があった。

**釜蒔日医常任理事** 当初、小児に対する優先順位は高くないという考え方があり、小児科学会からも集団接種を避け、慎重な接種をとるという指針が出されていたが、重症化のリスクは高くないとしても12歳以上に対して、保護者の理解を得たうえで個別接種を基本に行うのが望ましいという方針が変わった。学校での集団接種をせざるを得ない場面もあるが、迷走神経反射が1人出ると周りに広がるということや同調圧力を生まないように慎重に行っていただきたい。インフルエンザワクチンの供給については、10月の供給が限定的

であり、12月までには例年どおりの供給がなされる予定だが、一番ニーズが高い時期に少し足りない状況である。どちらが優先と決まっているわけではないので、それぞれしっかり受けられるよう、国へ安定供給を求めている。

## 7 オンライン診療の今後について（宮崎県） ＜提案要旨＞

初診におけるオンライン診療については、あくまでこのコロナ禍で時限的・特例的に運用されているが、政府は、規制改革実施計画に、初診からのオンライン診療を令和4年4月から恒久的に認めることを盛り込み、検討を進めている。

オンライン診療を積極的に推進しようとする意見があることは承知しているが、対面診療抜きでのオンライン診療では、診断および治療が十分にできないと考えている。

九州各県のご意見を伺いたい。また、日医のご意見もあらためて伺いたい。

**各県回答** 対面診療を行わずにオンライン診療のみを行うことについて否定的な意見がほとんどであった。

**釜滝日医常任理事** 日医はこれまでオンライン診療が、あくまでも対面診療の補完であることを主張してきた。オンライン診療を否定するものではないが、これまでの方針を堅持したい。田村厚労大臣から、オンライン診療は安全性・信頼性をベースにする前提が表明されたが、身近な地域のかかりつけ医がそれを担保できる。適切なオンライン診療の実施について課題となるのは、初診からオンライン診療を行う場合、必要な医学的情報の範囲、オンライン診療に至る前のオンラインでのやり取りの取扱い、初診からのオンライン診療に適さない症状の3点が挙がっている。

今後も日医は対面診療の確保とオンライン診療の適切な利用を国へ提言していく。

## 医療保険対策協議会



協議に先立ち、担当の沖縄県から平安常任理事が座長に選出された。

協議は、各県からあらかじめ提案された7つの議題について、松本日医常任理事が日医の見解を述べられた後、質疑応答が行われた。

※1,2は、新型コロナウイルス感染症関連として一括協議された。

### 1 「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱い」及び2022年度診療報酬改定について（福岡県）

#### ＜提案要旨＞

2022年度診療報酬改定は、新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いの検証をふまえて、前回改定の内容をコロナ禍に合わせて手直しすることが重要で、適正化や、施設基準および算定要件の大規模な見直しは避け、医療機関の回復を主眼とした改定にするべきである。まず臨時的な取扱いの乳幼児感染予防策加算、医科外来等感染症対策実施加算、入院感染症対策実施加算の継続、更に恒久化が必要である。

### 2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた次期診療報酬改定等への対応について

（鹿児島県）

#### ＜提案要旨＞

次期改定に向けては、コロナ禍をふまえた患者の受診行動も加味して、診療報酬上の必

要な措置を行っていく必要があるが、中医協において国へどのような要求をしていくのか日医の見解を伺いたい。また、日医総研と連携し、レセプトデータの分析機能を有していただき、国に対して、データをもとに迅速かつ具体的に医療現場への支援策を提言できるよう取り組んでいただきたい。

**松本日医常任理事** 初・再診料の加算5点、入院料の加算10点のコロナ特例の恒久化は、中医協で何度も主張したが、コロナ対応にあたる医療機関に限定すべきだとの財務省の強い意向で9月末で終了となり、乳幼児に係る加算100点のみ50点で継続となった。一方、10月1日から12月31日までに係る感染拡大防止対策費用として、病院および有床診療所に10万円、無床診療所に8万円を上限とする補助金支給が決定した。また、診療・検査医療機関の冬季に向けたコロナ疑い患者への対応として、院内トリアージ実施料300点に加え、要件付きで250点を上乘せし550点として令和4年3月末までの特例措置が決定した。

前回改定施行と同時期にコロナ感染が拡大し、改定の検証について、改定によるものなのか、コロナの影響によるものなのか明確に峻別することは難しい。大筋は変えない方針で中医協で主張していく。また、本体プラス改定が必要との指摘について、今回の財務省の対応を考えると非常に厳しい状況が予想されるが、新内閣が誕生したこともあり都道府県医師会の協力を得て働きかけを行っていく。また、レセプトデータ分析についても、日医総研と連携して現場の状況をいち早く把握し対応していく。

**各県回答** 各県賛同。また、福岡県から、新興感染症の広がりに耐えうるような余裕のある医療提供体制の構築を支える診療報酬改定が必要であるとあらためて主張した。

※3,4,7は、診療報酬改定関連として一括協議された。

### 3 地域医療体制確保加算の要件緩和について (佐賀県)

#### <提案要旨>

地域医療体制確保加算の全国の届出状況(令和3年3月時点)を見ると、大病院を中心に届け出ており算定要件の「救急車の年間搬送件数が2,000件以上」がハードルとなり、中小病院が届け出しにくい状況となっている。算定要件を満たせない中小病院の中にも、地域の救急医療体制を担い、勤務医の負担軽減や処遇改善すべき施設は多く存在する。本加算について、中小病院も含め、より多くの医療機関が算定できるように段階的な要件、点数の設定を求める。

**松本日医常任理事** 年間2,000件の救急搬送件数受け入れに限らずもっと幅広く、地域の救急医療を担う中小病院も対象となるよう算定すべきと中医協で主張した。また、算定要件を満たせない医療機関に用意された地域医療介護総合確保基金が利用されていないことも十分承知しており、医療機関が適切に費用を支給されるためには診療報酬による方法がベストである。次期改定において地域医療体制確保加算の見直しは当然ながら大きなテーマの一つである。

**各県回答** 各県賛成。救急医療体制において重要な機能を担う医療機関に対する評価として、段階的な要件や点数設定を求めた。

### 4 救急医療管理加算の一本化について (宮崎県)

#### <提案要旨>

救急医療管理加算について、施設基準により患者の状態は明示されているものの算定基準が明確ではない。加算1と2を分けることは、広く算定を促す意味があると理解しているが、医療機関や都道府県間の算定格差も存

在し、診療報酬審査の現場でも判断に苦慮している。コロナ禍で救急医療を行っている医療機関を評価する意味からも、本来の診療応需態勢を評価するという趣旨に立ち返り、要件を緩和し加算1と2の区分を一本化していただきたい。

**松本日医常任理事** 本加算の一本化については、加算1に統合される可能性が強く、算定根拠の記載を求めるなど算定要件が非常に厳しいものになってしまう恐れがあるため、日医としては対応すべきではないと考えている。審査基準については、審査委員から明確化を求める意見が多く出されているが、明確にすることで更に厳格化し、加算1も2もそれぞれ算定しにくくなることも考えられる。今後厳格化しないように注意しつつより分かりやすい基準となるよう検討していく。

**各県回答** 審査に苦慮している実情に理解を示す県もある一方、重篤患者に対する検査、処置または手術は一律ではないことから一本化には同意できない。また経営上重要な加算でもあるため慎重な見直しが必要などの意見が出た。

## 7 有床診療所への理解（長崎県）

### <提案要旨>

有床診療所は、地域包括ケアシステムの中心であり、入院、24時間対応、往診など必要とされている機能はすべて備えている。しかし、現状の診療報酬では経営できず、病床閉鎖に追い込まれる医療機関が後を絶たない。この現状を打開するためには、まず入院基本料の見直し、次に入院に関する各種加算の黒字化、入院時食事療養費の増額などが必要である。

**松本日医常任理事** 有床診療所への評価については、診療報酬改定の都度、日医として力を注いで対応している。前回改定では、これまで病院のみに認められていた医師事務作業

補助体制加算について、有床診療所での算定が可能となったが実際にはハードルが高くなかなか算定できていない。次回改定では本加算をより算定しやすくすることや、入院中の患者の他医療機関の受診時の取扱いの見直しなど、前回改定の手直しが少しでもできればと思う。

**各県回答** 有床診療所は、各県で減少傾向である。長崎県からは、施設基準を満たすための人員配置などで赤字となっている現状が報告され、経常的にはまだまだ厳しい状況にあると理解を求めた。

## 5 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う厚生局の（個別）指導の実施状況について

（大分県）

### <提案要旨>

厚生局の各種指導について、国は各県の感染状況を見据え、医師会と協議しつつ開催の是非を決定するとしているが、各県の指導の実施状況、開催延期の協議などの実情について伺いたい。

**松本日医常任理事** コロナ禍における本年度の指導監査の実施にあたっては各県医師会と厚生局で調整し、合意に至ったうえでの対応となり計画が達成できていなくてもやむを得ないとしている。厚労省保険局に対しては緊急的に実施する必要があるもの以外は、当分の間、指導の実施を見送るよう要請している。今後の対応としては、新規指定時、更新時、新規登録時集団指導でのeラーニングの活用で少しでも医療機関の負担が軽減できる対応を検討していく。

**各県回答** 各県とも厚生局と協議、合意のもと、地域の実情に応じた対応をとっていることが報告された。

## 6 オンライン診療における責任の所在について (熊本県)

### <提案要旨>

オンライン診療においては、患者の利便性のみ強調され、医師と患者のコミュニケーション上の問題がクローズアップされておらず、対面でこそ知り得る多くの情報やオンライン診療上の問題点が国民にしっかりとアナウンスされていない。オンライン診療の誘導は医療過誤を助長する危険があり、リスクをともなう診療を認めた場合、その責任を国は明確に示すべきである。また、安全面からオンライン診療を実施しない医療機関に対する誤解を招かないような国民への広報の在り方、特にオンライン診療を導入している医療機関を基準とした比較をしないなど、国民の理解も必要である。

**松本日医常任理事** オンライン診療を実施した結果、患者の健康に問題が生ずればそれは当然ながら対応した医師の責任となる。オンライン診療でも対面診療でも責任の重さは同等であり、オンライン診療を行う医師がそのことをどこまで理解したうえで実施しているのかが問われる。日医は、初診の患者はオンライン診療をするべきではないと主張しており、初診のオンライン診療を認める最低限の要件としては、患者のバックグラウンドを把握しているかかりつけ医を基本としている。一般的なオンライン診療の場合は、デメリットの方が多く、患者に対してリスクをしっかりと理解していただくことが非常に重要である。

**各県回答** 各県賛同。日医に対して、オンライン診療に対する正しい理解や利用のための国民への広報・啓発を行うよう国への働きかけを要望した。

## 介護保険対策協議会



沖縄県医師会の平安常任理事の進行により開会、座長に涌波理事が選出された。協議は各県からあらかじめ提案された7つの議題について、江澤日医常任理事が日医の見解を述べられた後、質疑応答が行われた。

※1, 2, 3, 4は、新型コロナウイルス感染症関連として一括協議された。

### 1 在宅医療・介護分野における新型コロナウイルスへの対策について (佐賀県)

#### <提案要旨>

現在、コロナ禍での病院や介護施設での面会制限により、入院・入所を避けて在宅を求め、在宅医療・介護の需要が増加している一方で、在宅で療養する人は高齢あるいは基礎疾患や障害を持ち、新型コロナウイルスの感染・重症化リスクは極めて高いと予測される。各県における在宅医療・介護分野における感染対策への取組み状況についてお伺いしたい。

**各県回答** 各県とも、統一したマニュアルを作っているところはなく、厚労省作成の手引きなどを参考に、各地域で研修や実地指導などを行い、在宅医療・介護に係わる施設単位でこれまでの経験を基にした地道な努力や工夫のもと運営されていた。

## 2 介護現場でのCOVID-19対応について (大分県)

### <提案要旨>

医療従事者や高齢者等へのワクチン接種がほぼ行き渡った状況となっているが、要介護者と医療者双方のワクチン接種状態によって対応を変えているかお聞きしたい。

**各県回答** 各県とも、デルタ株の蔓延やブレイクスルー感染の事例などから、介護者および医療従事者のワクチン接種の有無により対応を変更することについて推奨しておらず、ほとんどは施設判断によりこれまでと同様の対策が取られているとのことであった。

## 3 入所者・職員の新型コロナワクチン接種が終了したことを踏まえた高齢者施設での感染対策について (鹿児島県)

### <提案要旨>

県内の高齢者施設において、2回のワクチン接種が済んだことをふまえ、面会制限を解除している施設も見受けられる。入所者の心身の健康に与える影響を考慮すると、面会の重要性も理解できるが、ワクチンにより発症しにくい分、感染対策も疎かになり、施設内で感染を広げる可能性もある。高齢者施設における面会の基準や感染対策など各県で定めているもの、また、高齢者施設の感染対策の新たな取組みがあれば、お伺いしたい。

**各県回答** 各県とも、県独自で定めている基準はなく、各施設が地域の感染状況に応じて定めているという回答であった。大分県では県独自の取組みとして、国に先立ち施設職員を対象に迅速診断キットの配布、熊本県では、施設従事者に対するPCR検査の定期的実施や、クラスター経験施設による体験を交えた感染対策講話の動画配信を行っていた。

## 4 高齢者に対する新型コロナウイルス感染対策への取り組みについて (長崎県)

### <提案要旨>

長崎県における新型コロナ感染による死亡者内訳を見ると80歳以上の死亡率が高い。死亡者数減少には、高齢者施設や介護サービスでのクラスター対策が効果的であると思われるが、特に高齢者を対象とした新型コロナワクチン接種を含む各県の独自の取組みがあればご教示いただきたい。

**各県回答** 熊本県では、防護服着脱の研修、鹿児島県では、高齢者施設における患者発生を想定した図上訓練が予定されていた。沖縄県では、重点医療機関や地区医師会が高齢者施設に出向いてのワクチン接種を行っていた。**江澤日医常任理事** 介護施設に感染者がいても本人が希望する医療をどう提供するか、第6波の備えをどう考えるかが課題である。

在宅医療・介護でどこまでの療法ができるのか議論の余地がある。「自宅療養者に対する医療提供プロトコール(日本在宅ケアアライアンス)や「新型コロナウイルス感染症診療の手引き(厚労省)」に、自宅療養者の診療について指針が示されているので、ご活用いただきたい。

財政措置について、感染防止対策の継続支援により、10月1日から12月31日までのかかりまし経費への支援が示された。また、診療・検査医療機関についての評価の充実が示されている。

各施設において、ワクチン接種の進捗による面会規制の緩和という例は聞こえてこない。予約制かつ換気可能な状況でソーシャルディスタンスを取る方法、またガラス越しの面会を行う方法なども示されているが、ブレイクスルー感染もあるので、現場は慎重に対応している。認知機能・フレイルの悪化については学会からもデータが示されており、面

会制限の反動がどの程度か、注視していく必要がある。ブレイクスルー感染については、大半が症状軽微で、8割は無症状とのことである。ワクチンの重症化予防効果は想定より極めて高いが、必ずしも2回接種したことで、感染から逃れられるというわけではない。今冬以降の流行については、十分注視して対応していく必要がある。

## 5 かかりつけ医と認知症疾患医療センター等の専門機関との連携体制について（福岡県） ＜提案要旨＞

かかりつけ医が認知症や認知症疑い患者を診察した際に、専門医療機関に紹介するための診療情報提供書は、早期診断、治療のための重要な連携ツールであり、多職種連携のうえでも有用である。しかしながら、地域ごとに診療情報提供書様式の内容が異なることから、本会において、紹介元から紹介先への必要な情報を整理した連携ツールを作成し、円滑な連携体制の推進を図りたいと考えている。各県において、かかりつけ医と認知症疾患医療センター間の連携体制の充実、強化に向けて取り組まれていることがあればお伺いしたい。

**各県回答** 連携ツールについては、県下統一したものを使用している県はなく、研修会の開催を通してかかりつけ医と認知症疾患医療センターとの連携を図る取組みをしているとの回答が多かった。熊本県では、基幹型認知症疾患医療センターと地域拠点型認知症疾患医療センターの2層構造に加え、かかりつけ医などが連携する3層構造で認知症診療体制が構築されているが、地域拠点型センターの新規外来受診の待機期間が長いなど課題があるため、「認知症医療体制地域連携強化モデル」を実施し、認知症サポート医の役割の具体化や、地域関係者との連携強化を図っているとのことであった。

**江澤日医常任理事** かかりつけ医と地区医師会、認知症サポート医の連携の重要性は以前から指摘されている。認知症サポート医養成研修およびかかりつけ医認知症対応力向上研修の受講者は年々増えている。修了者のうち半数が専門医、残り半数が一般のかかりつけ医であり、認知症に理解のある先生は着実に増えてきている。

認知症疾患医療センターの持つ課題としては①基幹型の役割・質の確保、②都道府県の責務、③診断後支援の3点が検討されている。

①基幹型の役割・質の確保については、都道府県との協働のもと、管内の各センターの質を確保するための中心的な役割を担うことに加え、都道府県認知症疾患医療連携協議会の企画などから関わり、事業評価や他のセンター職員へ研修を実施するなどといった方向で検討されている。

②都道府県の責務については、事業評価において実施企画などの明示がなく、活用についても明らかでないことが課題として挙げられている。都道府県の連携協議会は形骸化していることが多い。地域連携、研修会実施、普及啓発、協議会自体の運営を行うことにより活性化させ、管内センターの事業評価、センターの質の確保を図るといった方向で検討されている。

③診断後支援について、現状、「診断後支援機能」は「日常生活支援」として位置づけられている。今後、個々の患者への専門医療相談機能と合わせて、診断から診断後支援を一体的に実施することで、診断後の空白期間の短縮を図ることを目的とした機能として位置付ける方向で検討されている。

今後の認知症疾患医療センターの在り方について、(1)地域への認知症に関する情報発信、(2)認知症サポート医、かかりつけ医や地域包括支援センターなどに対する研修の実

施、(3)地域での連携体制強化のための認知症疾患地域連絡会議の組織化などが求められる。

※6, 7は、LIFE活用関連として一括協議された。

## 6 LIFEに対する期待と不安（熊本県）

### ＜提案要旨＞

令和3年度介護報酬改定において、CHASE（利用者の状態、ケアの内容に関するデータベース）とVISIT（リハビリに関するデータベース）がLIFE（科学的介護情報システム）に一本化された。このシステムを活用し、情報を提供することがLIFE関連加算として位置づけられ、さまざまな加算の要件とされている。しかし算定するためにはデータ提出のみでなく、LIFEからのフィードバックを受けて、それをもとにケア計画を見直す要件がある。一方で、フィードバックデータの活用法などについては納得のいく説明はない。今後のシステム活用についての九州各県の取組みと、今後の展望について、日医よりご教示いただきたい。

## 7 LIFEの活用状況及び問題点について（宮崎県）

### ＜提案要旨＞

これまでCHASEやVISITを活用したPDCAサイクルの推進があまり浸透していない中で、各種加算の算定要件にLIFEの活用が組み入れられた。現場では、コロナ対策に労力を割かれている現状と、データ入力への負担感から、戸惑いの声が聞かれる。今後、介護の質の評価を可視化するためにLIFEの活用は必要不可欠だと考えるが、現場の負担軽減に努める必要がある。全国的なLIFE活用の進捗と、LIFEと整合性のある電子ケアカルテの

導入支援など、日医の見解をお伺いしたい。

**各県回答** 各県より慢性的な人手不足である介護事業所にとって、データ入力業務が負担となっているとの意見が多く出されたが、LIFE活用の意義について理解を求めることが必要であるとの見解であった。福岡県より、小規模事業所などにおいて導入のハードルが高く、全国一律のアセスメント様式やサービス事業所における統一した計画書の作成などの検討が必要との意見が出された。

**江澤日医常任理事** 令和3年度介護報酬改定の中で、「自立支援・重度化防止の取組の推進」が最も重要なポイントであり、その中の「介護サービスの質の評価と科学的介護の取組の推進」ということで、LIFEが位置付けられた。全国の介護施設・事業所で作成・記録されている利用者の状態やケア計画のデータを、LIFEに蓄積、データベース化し、またそれに基づくフィードバック情報を計画書改善に活かすことで、PDCAサイクルの好循環を実現し、質の高いケアにつなげていくことが期待されている。活用については、①全ての事業所がデータ提出できる環境づくり、②正確なデータ入力によるデータベースの構築、③ケアの質の向上に資するシステムへの変革、④人と生活を支える科学的介護の推進が課題となっている。そのために、日医としては、①事業所のICT化の支援、従事者の負担軽減、②入力データの精緻化に向けた継続的な取組み、③有意義なフィードバックによる有効なPDCAサイクルの実践担保、④ケアコーディング導入・ノウハウ獲得・横展開が必要になると考えている。

出席者－河野会長，山村副会長，

吉田・小牧・荒木・金丸・石川・高木常任理事，

峰松・川野・佐々木・嶋本・赤須・大塚・玉置・上山理事，

竹崎局長，久永課長，野尻課長，湯浅課長補佐，田崎係長，横山主事

# もう、処方で悩まない。



## 今日の治療指針 TODAY'S THERAPY 2022

好評  
発売中

- 日常診療で遭遇する疾患・症候を網羅
  - 処方例、最新情報、専門家のTips、エビデンスが1冊に
- デスク判(B5) 頁2224 2022年 定価20,900円(本体19,000円+税10%)  
[ISBN978-4-260-04776-0]
  - ポケット判(B6) 頁2224 2022年 定価16,500円(本体15,000円+税10%)  
[ISBN978-4-260-04777-7]

# 何でも載ってる。 安心感が違う。



## 治療薬マニュアル 2022

好評  
発売中

- ほぼ全ての医療用医薬品を網羅
  - 警告・禁忌・副作用を含む全情報を収載
- B6 頁2880 2022年 定価5,500円(本体5,000円+税10%)  
[ISBN978-4-260-04783-8]

いずれの書籍も高機能なWeb電子版付。両書籍の併用で、2冊の電子版が融合しグレードアップ!

● 1166疾患、薬剤約18000品目の情報から瞬時に検索! ● 薬剤情報ジャンプ機能!  
スマホ・PCが“総合診療データベース”に大変身!



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <https://www.igaku-shoin.co.jp>  
[販売・PR部] TEL: 03-3817-5650 FAX: 03-3815-7804 E-mail: [sd@igaku-shoin.co.jp](mailto:sd@igaku-shoin.co.jp)

## 日医インターネットニュースから

### ■ワクチン3回目,6カ月経過接種も検討を — 中川会長 —

中川俊男会長は12月1日の会見で、新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種について「ワクチンを確保できており、接種体制が整った自治体から、順次、前倒し接種を進めることも考える必要が出てきた」と述べ、6カ月経過での接種も検討する必要があると見解を示した。

日医はこれまで、基本は8カ月経過での接種で、6カ月経過での接種は例外的な取り扱いにすべきだとの見解を示していたが、新たな変異株「オミクロン株」が急速に拡大する懸念もあるため柔軟に検討すべきだと改めた。前倒しに当たっては、8カ月経過の自治体と混在することになるため、住民が混乱しないよう、ワクチン供給スケジュールの透明性を高め、円滑に供給してほしいと国に求めた。

#### ●オミクロン株による第6波にも警戒

オミクロン株については、まだデータが少なく、詳しい性質が分かっていないとし、「今後も情報の収集に努めていく」とした。「最悪の場合、オミクロン株による第6波も想定しなければならない」とも述べ、感染拡大の兆しがあれば、ワクチン・検査パッケージの運用を見直す必要もあるとした。

オミクロン株の感染拡大を受け、岸田文雄首相が水際対策を緩和から強化に転換したことについては「国民を守るための迅速な英断であり、高く評価したい」と述べた。岸田首相の対応を「先手先手、早め早めの措置」とし、「総理の決断を全面的に支持する」と表明した。日本で初めて確認されたオミクロン株の感染者も空港検疫で把握し、速やかに隔離できているとし、「引き続き水際対策の強化の徹底が重要だ」と強調した。(令和3年12月3日)

### ■「プラス改定しかあり得ない」 — 診療側・城守委員, 実調見解で —

中医協総会は12月3日、第23回医療経済実態調査結果に対する診療側の見解について報告を受けた。診療側を代表して城守国斗委員(日本医師会常任理事)は「新型コロナウイルス感染症について診療報酬による特例的な対応があったものの、その補助金を除く損益差額率が大きく悪化した中で、地域医療、医療従事者、国民の安全を守るためには適切な財源が必要」と述べ、次期改定について「プラス改定しかあり得ない」との見解を表明した。

医科の見解では、一般病院(国公立を除く)、一般診療所(医療法人)についてはコロナ補助金がなければ約半数が赤字になるところだったとしたほか、一般病院の赤字病院は4割を超えていると指摘。長期借入金残高は一般病院で4600万円、精神科病院で2800万円増加し、一般診療所(入院収益なし)では420万円増加したと説明した。一般診療所(入院収益あり)では長期借入金残高が微減であったが、借入金依存度が高い状態に変わりないとの見方を示した。

また、一般病院では、診療報酬の特例分を含めても医業収益が減少し、コロナ補助金によって重点医療機関、コロナ等入院患者受け入れありの病院では損益差額率がプラスになったものの、それ以外はマイナスになるとした。

歯科については林正純委員(日本歯科医師会常務理事)、薬局は有澤賢二委員(日本薬剤師会常務理事)がそれぞれの見解を述べた。

(令和3年12月7日)

### ■感染者数増加に転じる, 重症は減少継続 — コロナADB —

厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策

アドバイザーボード（ADB，座長＝脇田隆字・国立感染症研究所長）は12月8日，全国の感染状況について分析し，直近の今週先週比は1.11と先週から増加に転じたことを確認した。全国の人口10万人当たりの新規感染者数の動向を見ると，7日までの1週間は0.60人となり，11月30日までの0.54人をわずかながら上回った。半面，新規感染者数は昨夏以降で最も低い水準が続いており，入院患者数や重症者数は依然として減少が続いている。

新たな変異株「オミクロン株」については，ウイルスの性状に関する実験的な評価はまだなく，疫学的な評価を行うための十分な情報も得られていないと分析。一方で，懸念事項として感染性や伝播性の高さ，再感染のリスク，ワクチンや治療薬の効果への影響を挙げ，国内のサーベイランス体制では全陽性者に対する変異株PCR検査の実施や全ゲノム解析の強化などの対策が必要とした。

会合では，京都大の西浦博教授らが南アフリカの一部地域でのゲノム解析などの情報を基に，オミクロン株の相対的な実効再生産数を推定した結果を公表。オミクロン株の実効再生産数はデルタ株の4.2倍程度とし，デルタ株よりも実効再生産数が高い理由に免疫からの回避が関与している可能性を挙げた。ただ，南アの予防接種率は30%未満で新型コロナに自然感染した人が多いという事情もあるため，国内のようにmRNAワクチンの接種率が高い国で同様の結果となるかは見極めが必要とした。

ADBの閉会後に記者会見した脇田座長は，オミクロン株について「デルタ株を凌駕して増えているので感染伝播力が高い」と評価。病原性については，これまでの感染例にはワクチン接種済みや新型コロナの自然感染を経験している人もいることから，「本当の重症度はもう少

し分析していく必要がある」と話した。

（令和3年12月10日）

## ■医療機関経営は危険水域，報酬で下支え — 日医，TKC指標分析 —

日本医師会は12月10日，税理士・公認会計士のネットワーク「TKC全国会」がまとめた「TKC医業経営指標」に基づく医療機関経営の分析結果を公表した。病院，診療所の2020年度の経営状況はともに損益分岐点比率が95%を超える危険水域に達し，極めて脆弱な経営体質だと指摘した。今後，新型コロナウイルス感染症に伴う補助金が縮小されれば，医療機関経営は破綻しかねない状況だとし，看護職員等以外の処遇改善の余裕はないと訴えた。診療報酬財源による下支えが必要だと主張した。

20年度の一般病院の医業利益率（補助金を除く）は1.0%で，19年度に比べて1.5ポイント低下した。経常利益率（補助金を含む）も3.1%で0.2ポイントの低下となった。診療所は法人，個人，有床，無床を問わず，医業利益率が低下。経常利益率は有床診療所（個人）のみほぼ横ばいだったが，それ以外は低下した。無床診療所（法人）では，ほとんどの診療科で経常利益率が低下し，小児科，耳鼻咽喉科は赤字となった。役員報酬は，無床診はほぼ横ばいだったが，一般病院，精神科病院，有床診は低下した。従事者給与は微増だった。

TKC医業経営指標は，TKC全国会の会計事務所が月次監査を実施している医療機関が対象で，財務会計システムと直結したデータベースから集計されたもの。会計データとして信頼性が高いという。病院は759施設，診療所は8592施設。一般病院は中小病院が主体で，診療所は法人の比率が高い。（令和3年12月14日）

日医インターネットニュースは，日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

### メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

医師協同組合だより

医師協同組合提携のメディカル法人カードについて

# 経費・請求書など バックオフィス業務 を効率化



カード年会費永年無料  
盗難保険自動付帯

経営管理と資金運用の効率化を目的とした

医療法人・個人開業医院を対象とした法人カード

-- メディカル法人カードは様々なシーンでご利用いただけます --



光熱費



保険料



給油代



ETC



通信費



交際費



ネットショッピング



出張旅費



寄付金

## メディカル法人カードのメリット

### ① 公私のお支払いを分けられる

個人用と法人・事業用にカードを分けて利用することにより、別々の明細書が発行できるので公私の利用分を分けることができます。

### ② 経費削減になる

オフィス用品や公共料金等といった経費の支払いを法人カードに一本化すれば指定口座からまとめて自動引落されるため、振込手数料の削減になります。

### ③ 複数枚の法人カードが発行できる

法人カードは複数枚発行できることから、社員に渡しておけば、オフィス用品購入時や出張などで支払った経費も、法人カードの支払いとして一括管理できます。

### ④ 公共料金のお支払いもできる

光熱費・電気料金・通話料金のお支払いもでき便利です。

### ⑤ ETCカードも同時発行可能

ETCカードも年会費永年無料で複数枚発行できます。



法人カードご希望の方は、  
上記二次元バーコードから  
申込書をご請求ください。

# メディカルカードの割引店・ご優待特典を一部ご紹介！

### 宮崎山形屋・日南山形屋

◆通常時 **5%OFF!** (注①)

◆特別ご招待会(期間限定) **7%OFF!**

※バーゲン商品や一部商品によっては割引できない場合があります。  
商品券・専売品はカードが使えません。  
※食品類は対象外となります。



### 宮崎観光ホテル

◆宮崎観光ホテル内レストラン **10%OFF!** (注①)(注②)

- 食彩健美「一木一草」
- モダンフレンチ「ダイヤモンドージュ」
- ガーデンレストラン「はな花」

※ご精算時のカードご利用が対象となります。



### 全国の阪急百貨店・阪神百貨店

**3%OFF!** (注①)

- 博多阪急
- 阪急うめだ本店
- 阪急メンズ大阪
- 千里阪急
- 川西阪急
- 玉塚阪急
- 阪急八ロードッグ宝塚
- 西宮阪急
- 三田阪急
- 神戸阪急
- 阪急メンズ東京
- 阪急百貨店
- 大井食品館
- 都筑阪急
- 高槻阪急
- 阪神梅田本店
- あまがさき阪神
- 阪神・御影
- 阪神・にしのみや



### シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート

◆ホテル内下記レストラン **3%OFF!** (注①)(注②)

- ガーデンビュッフェ「ハイデラス」
- 寿司処「八潮」
- 米丸
- 鉄板焼「ふかみ」
- 中国料理「藍海」
- Ristorante ARCO
- カクテルラウンジ「パシフィカ」

※ご精算時のカードご利用が対象となります。



**NEW**

### らくい(とんかつ・炭火串焼)・恵屋・恵屋プラス・宮崎餃子恵屋

◆下記店舗でのご飲食・テイクアウト **3%OFF!** (注①)(注②)

※ご精算時、店舗でのカードご利用が対象となります。

- とんかつらくい 大島店
- とんかつらくい 甲斐元店
- とんかつらくい デパート前店
- とんかつらくい 宮崎駅前店
- とんかつらくい 新名爪店
- 炭火串焼らくい 宮崎駅東口店
- 恵屋プラス宮崎 赤江店
- 恵屋プラス宮崎 戦場坂店
- 恵屋プラス宮崎 霧島店
- 恵屋プラス宮崎 佐土原店
- 恵屋プラスピザ 加納店
- 恵屋プラス 新富店
- 恵屋プラス 西都店
- 恵屋プラス 小林店
- 恵屋プラス 都城広原店
- 恵屋プラス 隼人店
- 恵屋プラス 鹿児島鹿屋西原店
- 恵屋プラス 鹿児島鹿屋寿店
- 学園木花台店
- 宮崎餃子恵屋 本郷店
- 宮崎餃子恵屋 大塚店
- 備長炭炭火やきとり恵屋 高鍋店
- 備長炭炭火やきとり恵屋 甲斐元店
- 備長炭炭火やきとり恵屋 都北店





注①：口座引落時に宮崎信販より割引いたします。 注②：クレジットカード翌月1回払いでのご利用が対象となります。

## MC Premium Desk

メディカルカード会員様に贈る特別で希少なサービスです。  
グルメ、宿泊、ペット宿泊、ゴルフ、旅行…  
非日常を愉しむ上質なサービスをご提供いたします。

施設については専用サイトにてご確認ください。  
[https://www.jcbtravel.co.jp/jcibt\\_client/miyazaki\\_shinpan/index.html](https://www.jcbtravel.co.jp/jcibt_client/miyazaki_shinpan/index.html)

ご予約・お問い合わせ ☎ **06-7639-1423**

サービス運営会社：JCBトラベル 営業時間/10:00~18:00(日・祝・年末年始休)






※ご予約はJCBトラベルが行っております。予めご了承ください。  
※ご予約の際にはメディカルカード会員様である旨をお伝えください。  
※本案内の掲載写真はすべてイメージです。

カードお申込み  
お問い合わせ先

宮崎県医師協同組合  
宮崎市和知川原1-101(宮崎県医師会館1F)  
TEL (0985) 23-9100

株式会社 宮崎信販  
宮崎市高千穂通1-3-30  
TEL (0985) 28-7753

## 医師国保組合だより

### 歩こう会の開催中止について

新型コロナウイルス感染症の変異株の感染拡大が懸念されるため、今年度も開催を見送ることとしましたのでお知らせいたします。

### 保健事業のご案内

医師国保組合では、下記の保健事業を実施しております。ぜひご利用ください。

※実施期間および接種期間：令和4年3月末日まで ※請求期限：令和4年5月20日まで

#### 1 健康診断（特定健診）・特定保健指導 ※無料で受診できます

##### 健康診断（特定健診）

###### ◆対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者 ※配偶者は75歳の誕生日前日まで

上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方を含む）

※年度中に40歳になる方～74歳の方（75歳になる方は誕生日の前日まで）は、特定健診対象者です。

###### ◆日曜日の集団健診

場 所：宮崎市郡医師会病院健診センター

日 程：令和4年1月23日・2月13日・3月6日



申込方法：※①～③いずれかの方法でお申込みください

① スマートフォンなどから左記QRコードにアクセスして申込

② 宮崎県医師国保組合のホームページから申込

③ 宮崎県医師国保組合へお電話で申込（TEL 0985-22-6588）

日曜健診のWeb申込  
ができるようになりました！

※日曜健診でのオプション（胃部内視鏡検査，低線量ヘリカルCT肺がん検診）はすべての日程で定員に達しました。

※平日・土曜日の健診のご予約・お問い合わせは健診センターへ直接お電話ください。

（TEL 0985-77-9108）

###### ◆自家健診について

健康診断（特定健診を含む）を自院で実施しても当組合へ請求することができます。

自院以外で健康診断を  
実施した場合

①予約

②健診個人票を提出

健康診断  
個人票  
(請求書)

健康診断  
個人票  
(請求書)

結果票

③結果を記入または添付  
のうえ請求  
(健診実施機関から)

④支払

被保険者

健診機関または医療機関

自院で健康診断を  
実施した場合

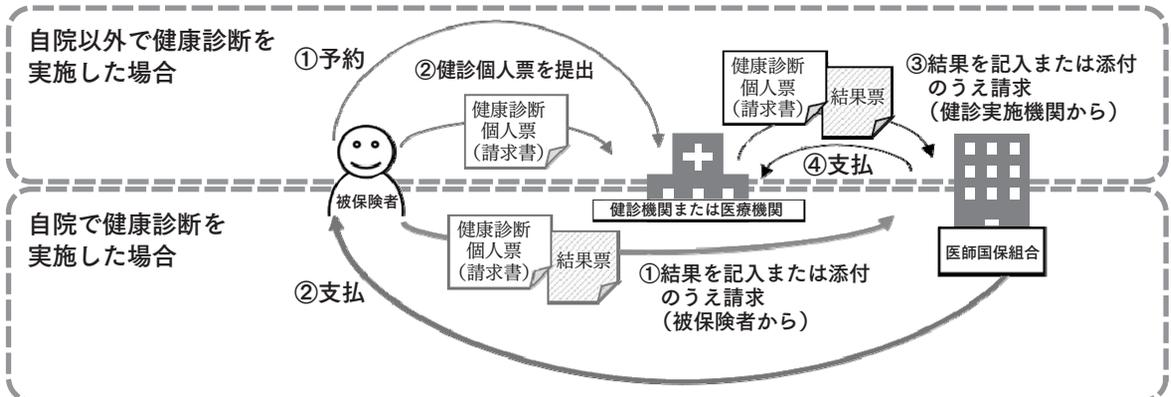
②支払

健康診断  
個人票  
(請求書)

結果票

①結果を記入または添付  
のうえ請求  
(被保険者から)

医師国保組合



**特定保健指導**

## ◆対象者

対象者には、当組合より利用券を送付します。特定保健指導のご案内が届いた方は必ず受けてください。自己負担はありません。

**2 インフルエンザワクチン接種補助**

## ◆対象者

被保険者全員並びに高齢組合員

## ◆補助金額

1人1回2,000円（高齢組合員は1,000円）

**3 その他保健事業**

請求方法などの詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業のご案内」、または、当組合Webサイトをご覧ください。

- 1) 胃・大腸内視鏡検査の補助
- 2) 脳ドックなどの補助
- 3) 肺炎球菌ワクチン接種補助
- 4) 低線量ヘリカルCT肺がん検診（無料）
- 5) 乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助
- 6) 歯科健康診査（無料）

申請書は、  
当組合Webサイトからもダウンロードできます。  
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

## 医師国保からのお知らせ

### <健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保にすでにご加入の方は、事業所が法人化するなどで健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

### <被保険者の資格喪失届について>

世帯内のご家族が協会けんぽなどの他の医療保険に加入される場合には、資格喪失届が必要です。組合員は事由発生から14日以内に被保険者証を添えて届け出てください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地  
TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

---

## 12月のベストセラー（宮崎県）

集計：2021年12月1日～12月22日

1	私が見た未来 完全版	たつき	諒	飛鳥新社
2	転生したらスライムだった件 <sup>⑩</sup>	伏	瀬	マイクロマガジン社
3	またあおう しゃばけ外伝	畠中	恵	新潮社
4	嫌われた監督	鈴木忠平		文藝春秋
5	そして、バトンは渡された	瀬尾まいこ		文藝春秋
6	ペッパーズ・ゴースト	伊坂幸太郎		朝日新聞社
7	硝子の塔の殺人	知念希人		実業之日本社
8	最強脳	アンデシュ・ハンセン		新潮社
9	ぼく モグラ キツネ 馬	チャーリー・マッケジー		飛鳥新社
10	日本国紀 <sup>①</sup> <sub>②</sub>	百田尚樹		幻冬舎



令和3年11月2日(火) 第14回常任理事協議会

医師会関係  
(議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について

- ① R 4.6/4(土)・6/5(日)第16回一般社団法人日本介護支援専門員協会研究大会inみやぎ名義後援について  
→「超克 それぞれが次の時代の先導者へ～日本のひなた 宮崎から～」をテーマに開催される研究会で、名義後援をすることが承認された。

2. R 4.5/21(土) (宮日会館) 講師派遣依頼について

県柔道整復師会会員の資質向上を目的に開催する学会への講師派遣依頼があり、県整形外科医会に人選をお願いすることが承認された。

3. 令和4年秋の叙勲候補者の推薦について

学校医歴が40年以上、かつ年齢が70歳以上の方を推薦基準とする表彰で、各郡市医師会に照会の結果、1名を推薦することが承認された。

4. 11/16(火) (県医) 宮崎大学と宮崎県医師会との懇談会について

当日の進行や役割分担が承認された。なお、新型コロナウイルス感染対策のため、

出席者を本会役員と大学側は学長、医学部長、病院長と新任の教授に絞り飲食を伴わない形で開催する。

5. R 4.1/4(火) (宮観ホテル) 2022年寿(ことぶき) 新年賀詞交歓会のお知らせ

宮崎商工会議所主催で開催される新年の賀詞交歓会で、河野会長が出席することが承認された。

6. 11/19(金)都道府県医師会医師の働き方改革担当理事連絡協議会の開催について

医師の働き方改革に関するこれまでの議論や、医療勤務環境評価センターおよびC-2水準の対象となる医師・医療機関の審査組織についての説明や協議を行うために開催される協議会で、池井常任理事の出席と各郡市医師会担当理事に案内をすることが承認された。

7. 11/27(土) (福岡)九州学校検診協議会第2回専門委員会について

学校検診について、心臓、腎臓、成長発育・小児生活習慣病、運動器の各検診部門に分かれ協議をする委員会で、高木常任理事、宮田純一先生、澤田浩武先生、高村一志先生の出席が承認された。

(報告事項)

1. 10月末日現在の会員数について
2. 10/29(金) (県医) 九医連常任委員会について
3. 10/27(水)・28(木) (県医) 県医師会女性医師等保育支援サービス事業サポート会員養成講座について
4. 11/2(火) (県医) 治験審査委員会について
5. 10/27(水) (県医) 生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)について
6. 10/30(土) 全国学校保健・学校医大会について

## 令和3年11月9日(火) 第15回常任理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. R4.5/3(火・祝日)・5/4(水・祝日)  
(岐阜) 第4回全国医師ゴルフ選手権大会  
について

日本医師会と全国医師協同組合連合会が共催する大会で、本会代表として、令和元年開催の県医親善ゴルフ大会の成績をもとに2名を選抜することが承認された。

2. R4.2.5(土)(沖縄)九州医師会連合会令和3年度第2回各種協議会の提案事項について

各種協議会で協議される提案事項の照会があり、地域医療は金丸常任理事、医療保険は小牧常任理事、介護保険は石川常任理事が責任者となり提案事項の作成をすることが承認された。

3. 11/29(月)(県医)九州医師会連合会災害時医療救護協定書運用マニュアル策定作業部会について

九医連による災害医療支援活動を円滑に遂行するための運用マニュアルを策定する会議で、山村副会長と池井常任理事の出席が承認された。

4. R4.1/22(土)・23(日)(沖縄)九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会並びに第6回九州ブロック災害医療研修会の開催について

出席者および提案事項について、救急・災害医療担当理事で調整することが承認された。

## (報告事項)

1. 11/5(金)(県庁)県新型コロナウイルス感染症対策協議会について
2. 11/6(土)(県医)日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議について

3. 11/5(金)(県医)認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会について

4. 11/8(月)(県医)介護保険委員会について

## 医師連盟関係

## (議決事項)

1. 12/13(月)(東京)令和3年武見セミナーのご案内について

武見敬三議員の活躍を応援すべく開催される支援集会で、協力することが承認された。

## (報告事項)

1. 11/7(日)(MRT-micc)長峯誠参議院議員との意見交換会について
2. 11/9(火)(県医)日医連執行委員会について

## 令和3年11月16日(火) 第8回全理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 指導医療官(医科)の採用について

本県では保険診療の取扱いや診療報酬請求の内容などについて指導・監督を行う指導医療官が欠員となっているため、その募集について協力することが承認された。

2. 都道府県医療推進協議会における決議の採択等について

日医より、新型コロナウイルス感染症対策における有事とそれ以外の平時の医療提供体制を維持するための財源確保を求める決議を、各県において採択するよう要請があり、本県においては、医療福祉関連の43団体で構成する宮崎県地域医療・福祉推進協議会で決議すべく構成団体に文書で諮ることが承認された。

3. 母体保護法指定医師の申請等について

申請のあった1名について、母体保護法指定医師審査委員会の答申どおり指定することが承認された。

## (報告事項)

1. 11/10(水) (支払基金) 支払基金支部運営委員会について
  2. 11/16(火) (県医) 日医理事会について
  3. 11/13(土) (メディキット県民文化センター) 全国歯科保健大会について
  4. 11/9(火) (県医) 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会について
  5. 11/13(土) (県医) 九医連委員・九州各県役員合同協議会について
  6. 11/13(土) (県医) 九州医師会総会・医学会について
  7. 11/11(木) (県医) 広報委員会について
  8. 11/12(金) (日医) 日医医療秘書認定試験委員会について
  9. 11/15(月) (県庁) 県循環器病対策推進協議会について
  10. 11/16(火) (県企業局) 県高齢者虐待防止連絡会議について
  11. 11/16(火) (県企業局) 県障がい者虐待防止・権利擁護連絡会議について
  12. 11/4(木) 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について
  13. 10/27(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について
  14. 11/15(月) (県医) 健康スポーツ医学委員会について
  15. 10/27(水) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
  16. 11/2(火) (県医) 母体保護法指定医師審査委員会について
- 医師連盟関係  
(議決事項)
1. 12/2(木) (東京) 参議院議員 松下新平政経セミナーの開催ご案内について  
松下新平議員の国政の場における更なる飛躍を願い開催される政経セミナーで、協力することが承認された。
  2. 12/9(木) (東京) 「希望ある未来を拓く」政経セミナー開催について  
江藤拓議員を叱咤激励するとともに、更なる飛躍を期して開催される政経セミナーで、協力することが承認された。
- (報告事項)
1. 11/15(月) (JA-AZM本館) 県経済団体協議会代表者・幹事合同会議について

## 宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流（会員交流用）」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

### ◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書、研修会の案内など）

対象：会員本人、医療機関代表のアドレスなど

### ◆MMA交流

目的：会員同士の意見交換、会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

### ◆登録方法について

県医師会事務局宛 office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。

折り返し、事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。

まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

# 医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

## 医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

## 医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談  
無料



まずは、お電話ください。

## 宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

# 県 医 の 動 き

(12月)

2	日医学術推進会議 (Web会議) (会長) 子ども救急医療電話相談 (#8000) に関する意見交換会 (Web会議) (高木常任理事)	16	日医地域包括ケア推進委員会 (Web会議) (石川常任理事)
3	(日医) 日医医療秘書認定試験委員会 (池井常任理事)	17	県個人情報保護審議会 (荒木常任理事) 指導医のための教育ワークショップ打合せ会 (金丸常任理事) 広報委員会 (Web会議) (荒木常任理事他) 自殺対策うつ病研修会 (Web会議) (会長他)
4	日医家族計画・母体保護法指導者講習会 (日医TV会議) (濱田副会長他)	18	指導医のための教育ワークショップ (金丸常任理事) 指導医のための教育ワークショップ記念撮影 (会長他) かかりつけ医認知症対応力向上研修会 (Web会議) (石川常任理事)
5	自見はなこ参議院議員との意見交換会 (河野委員長他) 女性医師支援担当者連絡会 (Web会議) (荒木常任理事他)	19	指導医のための教育ワークショップ (金丸常任理事)
7	自民党議員連盟国民医療を守る議員の会総会 (Web会議) (吉田常任執行委員) 治験審査委員会 (Web会議) (荒木常任理事他) 第17回常任理事協議会 (会長他)	20	在宅医療研修会企画小委員会 (Web会議) (石川常任理事)
8	支払基金支部運営委員会 (会長) 高次脳機能障がい講演会 (Web会議) (帖佐理事)	21	日医理事会 (Web会議) (会長) 日医理事打合せ (Web会議) (会長) 医師会立看護学校担当理事連絡協議会 (Web会議) (山村副会長他)
9	都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会 (Web会議) (小牧常任理事) 県デジタル社会推進協議会 (荒木常任理事) 県産婦人科医会全理事会 (Web会議) (嶋本理事他)	22	日医会員の倫理・資質向上委員会 (Web会議) (会長) 労災診療指導委員会 (川野理事)
10	日医勤務医委員会 (Web会議) (金丸常任理事) 県地域医療対策協議会 (会長他) 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診研修会) (TV会議) (金丸常任理事)	23	(日南市) 母体保護法設備指定申請に伴う現地視察 (嶋本理事) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本理事) 医師国保組合理事会 (秦理事長他)
11	産業医研修会 (TV会議) (川野理事他)	24	日医公衆衛生委員会 (Web会議) (吉田常任理事) 全国国保組合協会臨時理事会 (Web会議) (秦理事長) 全国医師国保組合連合会運営委員会 (Web会議) (秦理事長) 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (Web会議) (濱田副会長他)
12	都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会 (Web会議) (高木常任理事他)	28	仕事納め式 (会長) 医協理事会 (河野理事長他) 第18回常任理事協議会 (会長他)
13	県精神科救急医療システム連絡調整委員会 (吉田常任理事他) 広報委員会 (Web会議) (荒木常任理事他)		
14	第2回理事会 (会長他) 第9回全理事協議会 (会長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (河野理事長他)		
15	県との妊婦健診等に関する協議会 (濱田副会長他)		
16	社会保険医療担当者の新規個別指導 (大塚理事)		

# ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和3年12月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

## 1. 求職者登録数 10人

### 1) 男性医師求職登録数 8人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	6	4	2
精 神 科	1	1	0
老 健	1	0	1

### 2) 女性医師求職登録数 2人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	2	0	2

## 2. 斡旋成立件数 85人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和3年度	4	3	7
平成16年度から累計	61	24	85

## 3. 求人登録 103件 356人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内 科	106	84	22	消 化 器 外 科	3	2	1
外 科	25	21	4	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	29	23	6	健 診	8	5	3
精 神 科	17	15	2	泌 尿 器 科	5	3	2
脳 神 経 外 科	11	7	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	11	8	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	16	14	2	皮 膚 科	4	2	2
麻 酔 科	12	9	3	婦 人 科	2	2	0
眼 科	10	8	2	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	11	10	1	人 工 透 析	8	6	2
小 児 科	4	2	2	リ ウ マ チ 科	1	1	0
呼 吸 器 科	3	3	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総 合 診 療 科 ・ 内 科	5	4	1	診 療 科 目 不 問	3	3	0
脳 神 経 内 科	8	6	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	9	8	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	3	3	0
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	4	4	0	そ の 他	6	6	0
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	350	281	69

## 求人登録者（公開）

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会さから病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理,乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内,内分泌内,呼内,リウ,神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻(いずれか)	2	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮崎市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
230205	医)社団ひなた ひなた在宅クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230212	医)青葉会のぞきクリニック	宮崎市	内,在宅	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透,(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼皮,放,腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都城市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都城市	放,消内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都城市	内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都 城 市	糖内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都 城 市	内	1	常勤
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三 股 町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社)藤元メディカルシステム大悟病院	三 股 町	精,内	2	常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延 岡 市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	1	常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健賢会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延 岡 市	内	1	非常勤
230210	医)あつきこころ大貫診療所	延 岡 市	内,外 (いずれか)	1	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,外,脳外,リハ	6	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日 向 市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日 向 市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国民健康保険病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,麻,外,眼,健診	5	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外,整,総診,透	5	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西 都 市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日 南 市	外,内	5	常勤・非常勤
230198	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230211	医)秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串 間 市	不問	1	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小 林 市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和3年12月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地：1,991.34㎡ (603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ 2階 638.35㎡ 計 1,109.76㎡ (336.29坪) ※駐車場あり (30台)	所有者：(医) 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	③ 宮崎市上野町5-1 土地：1,260.55㎡ (381.98坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり (22台) 2階は事務所 3階は宿舎・寮8室使用可 4階は貸倉庫	所有者：宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにぐちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台)	所有者：(医) 産婦人科 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

### ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyoun@mizazaki.med.or.jp

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。



# 宮崎県医師会行事予定表

令和3年12月21日

1		月	
1	土	(年始休業)	
2	日	(年始休業)	
3	月	(年始休業)	
4	火	13:00 新年賀詞交歓会 14:30 仕事始め式	20 木 19:00 日医地域包括ケア推進委員会 (Web会議) 県医療的ケア児等支援部会 (Web会議)
5	水		21 金 19:00 医師国保組合定例事務監査
6	木		22 土 14:00 (沖縄) 九医連救急・災害医療担当理事連絡協議会 (日医) 日医未来医師会ビジョン委員会 15:00 (福岡) 九州各県内科医会長会議
7	金		
8	土	14:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会 (Web会議)	23 日 9:00 (沖縄) 九州ブロック災害医療研修会
9	日		
10	月	(成人の日)	24 月 17:00 医療安全対策セミナー (TV会議) 19:00 医療安全対策セミナー (TV会議) 19:00 広報委員会 (Web会議)
11	火	9:30 新県立宮崎病院開院式典 18:00 治験審査委員会 (Web会議) 19:00 第19回常任理事協議会	25 火 16:30 日医連執行委員会 (Web会議) 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:00 医協理事会 18:30 第10回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会 19:00 各都市医師会長協議会
12	水	16:00 支払基金支部運営委員会 19:00 広報委員会 (Web会議)	
13	木	18:00 県認知症疾患医療センター合同会議 19:30 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	26 水 15:00 労災診療指導委員会
14	金	13:30 県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 15:00 県立病院事業評価委員会 15:00 全国医師国保組合連合会理事会 (Web会議) 18:30 病院部会・医療法人部会合同理事会・新年会 19:00 地域医療委員会 (Web会議)	27 木 14:00 (日医) 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 19:00 医師国保組合理事会
15	土	13:30 県訪問看護ステーション連絡協議会管理者向け研修会	28 金 16:30 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (Web会議) 19:00 県外科医会理事会 (Web会議) 19:00 県麻しん風しん対策推進会議・予防接種広域化検討会議
16	日		
17	月	19:00 県小児科医会生涯研修セミナー準備委員会 (Web会議) 19:00 医療機関税制セミナー (Web会議)	29 土 15:00 県産婦人科医会冬期総会・講演会 (Web会議)
18	火	13:00 (日医) 日医理事打合会 13:30 (日医) 日医理事会 15:00 (日医) 都道府県医師会会長会議 18:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会 (Web会議)	30 日 9:00 日医JMAT研修 (ロジスティクス編) (Web会議) 11:00 日本プライマリ・ケア連合学会ブロック支部長会議 (Web会議)
19	水	19:00 臨床検査精度管理調査実行委員会 (Web会議)	
			31 月 18:30 勤務医部会第2回理事会 19:00 勤務医部会後期講演会

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからご覧いただけます。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和3年12月21日

2		月			
1	火	18:00 治験審査委員会 (Web会議) 19:00 第20回常任理事協議会	17 木		
2	水	15:00 県メディカルコントロール協議会総会 19:00 胃がん検診内視鏡検診従事者研修会 (Web会議)	18 金	19:00 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会 (Web会議)	↑
3	木	13:30 宮大経営協議会・学長選考会議	19 土	(福岡)九州地区医師国保組合連合会全体協議会 14:00 日医医療情報システム協議会 (Web会議) 16:00 病院部会・医療法人部会医療従事者研修会	
4	金	14:00 県献血推進協議会		9:00 日医医療情報システム協議会 (Web会議)	
5	土	16:00 (沖縄)九医連常任委員会 16:00 (沖縄)九医連各種協議会		20 日	19:00 広報委員会 (Web会議)
6	日		21 月	18:30 医協理事会 19:00 第11回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	↓
7	月	19:00 緩和ケアチーム研修会 (Web会議)	22 火	(天皇誕生日)	
8	火	19:00 第21回常任理事協議会	23 水	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19:00 医師国保組合理事会	
9	水	16:00 支払基金支部運営委員会	24 木	10:00 (東京)九州各県アイバンク連絡協議会・全国アイバンク連絡協議会 18:45 医神祭 19:00 創立133周年記念医学会 (Web会議)	
10	木	19:00 広報委員会 (Web会議) 19:30 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	25 金	15:00 母体保護法指定医師研修会 (Web会議)	
11	金	(建国記念の日)	26 土	13:00 日医理事打合せ 14:00 日医理事会 19:00 医師の働き方改革に関する研修会 (Web会議)	
12	土	9:00 ICLS指導者養成ワークショップ 16:00 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部役員会	27 日	18:30 県外科医会冬期講演会 (Web会議) 19:00 介護保険に関する主治医研修会 (Web会議)	
13	日	8:30 ACLS研修会 9:20 (鹿児島)日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・学術大会 13:00 日医母子保健講習会 (Web会議)	28 月		
14	月	18:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会 (Web会議)			

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからご覧いただけます。

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

**※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。  
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。**

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第160回宮崎心臓病 研究会 (Web講習会) 1月6日(木) 19:00~20:20 宮崎観光ホテル ※受講はWebのみ	PCIにおける抗血栓療法の現状と課題から見たP-cabの 可能性 群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座 循環器内科学分野 教授 石井 秀樹	50 (0.5)  73 (0.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 武田薬品工業(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
宮崎県医師会産業 医研修会 1月11日(火) 19:00~21:00 串間市総合保健福 祉センター	働き方改革に対する産業医・産業保健スタッフの具体 的な関わり方 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治  生涯研修の専門研修会：2単位	3 (0.5)  6 (0.5)  7 (0.5)  9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 1月14日(金) 19:00~21:00 県医師会館	事業者の安全配慮義務と産業医の役割 産業保健相談員 労衛研 延岡健診センター 医師 田中 伸明  生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5)  3 (0.5)  6 (0.5)  11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎市郡医師会し ののめ医学会特別 講演会 (Web講習会) 1月14日(金) 19:00~20:10 宮崎市郡医師会館 ※受講は現地また はWeb	冠動脈疾患における抗血栓療法の前線 宮崎大学医学部内科学講座 循環器・腎臓内科学分野 教授 海北 幸一	15 (0.5) 42 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
宮崎市郡内科医会 学術講演会 (Web講習会) 1月14日(金) 19:00~20:00 日本ベーリンガー インゲルハイム(株) 宮崎営業所 ※受講はWebのみ	心不全治療の今とこれから ~SGLT2阻害薬の立ち位置~ 大西内科ハートクリニック 院長 大西 勝也	5 (0.5) 43 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 日本ベーリンガーインゲルハイム(株) 日本イーライリリー(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
西都市西児湯医師 会学術講演会 (Web講習会) 1月17日(月) 19:00~20:10 西都市西児湯医師 会館 ※受講はWebのみ	精神科の在宅医療 社会医療法人如月会若草病院 院長 白土 俊明	13 (0.5) 80 (0.5)	◇主催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 ◇共催 西都市西児湯内科医会 ◇後援 西都市 社会福祉法人西都市社会福祉協議会 西都市北地区地域包括支援センター 西都市南地区地域包括支援センター
西諸医師会・西諸 内科医会同学会 講演会 (Web講習会) 1月18日(火) 19:00~20:00 平安病院 ※受講はWebのみ	統合失調症治療におけるレキサルティの使用意義 医療法人へいあん 平安病院 法人統括院長・臨床研修センター長 横浜市立大学 名誉教授 平安 良雄	68 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 大塚製薬(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 1月20日(木) 19:00~21:00 県医師会館	働き方改革に対する産業医・産業保健スタッフの具体的な関わり方 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治  生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5)  6 (0.5)  7 (0.5)  9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第89回宮崎大学眼 科研究会 1月22日(土) 16:00~18:30 KITEN	加齢黄斑変性患者の視力を守るための治療方針 大津赤十字病院 眼科部長 山城 健児	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部眼科学教室 ☎0985-85-2806 ◇共催 バイエル薬品(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 1月27日(木) 19:00~21:00 県医師会館	最近、一年間(令和3年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武  生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5)  6 (0.5)  7 (0.5)  9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 2月3日(木) 19:00~21:00 延岡市職業訓練支 援センター	最近、一年間(令和3年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武  生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5)  6 (0.5)  7 (0.5)  9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
南那珂医師会生涯 教育医学会 (Web講習会) 2月4日(金) 19:00~20:00 南那珂医師会館 ※現地またはWeb	新しい経口糖尿病薬について(仮) 宮崎大学医学部 内科学講座 血液・糖尿病・内分泌内科学分野 学部講師 上野 浩晶	76 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 大日本住友製薬(株)
第197回宮崎県眼科 医会講習会 2月5日(土) 16:30~19:00 宮崎観光ホテル	涙道疾患のup-to-date 愛媛大学医学部 眼科学教室 教授 白石 敦	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 千寿製薬(株)
	再考！加齢黄斑変性診療 東京女子医科大学病院 眼科 教授 飯田 知弘	36 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 2月14日(月) 19:00~21:00 都城市北諸県郡医 師会館	最近、一年間(令和3年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		6 (0.5)	
		7 (0.5)	
		9 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 2月17日(木) 14:00~16:00 県医師会館	職場でのアルコール依存症に対する対策 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		11 (0.5)	
		17 (0.5)	
		69 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 2月24日(木) 19:00~21:00 県医師会館	精神科産業医が遭遇する困難事例(2) 産業保健相談員 西都病院 医師 植田 勇人 生涯研修の専門研修会: 2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第66回宮崎県スポ ーツ学会 3月26日(土) 15:00~19:00 県医師会館	膝靭帯再建術の現況と課題 北海道大学病院 スポーツ医学診療センター 教授 近藤 英司	61 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986

日本医師会生涯教育カリキュラム (2016)

カリキュラムコード (略称: CC)

1: 医師のプロフェッショナリズム	29: 認知能の障害	57: 外傷
2: 医療倫理: 臨床倫理	30: 頭痛	58: 褥瘡
3: 医療倫理: 研究倫理と生命倫理	31: めまい	59: 背部痛
4: 医師-患者関係とコミュニケーション	32: 意識障害	60: 腰痛
5: 心理社会的アプローチ	33: 失神	61: 関節痛
6: 医療制度と法律	34: 言語障害	62: 歩行障害
7: 医療の質と安全	35: けいれん発作	63: 四肢のしびれ
8: 感染対策	36: 視力障害, 視野狭窄	64: 肉眼的血尿
9: 医療情報	37: 目の充血	65: 排尿障害 (尿失禁・排尿困難)
10: チーム医療	38: 聴覚障害	66: 乏尿・尿閉
11: 予防と保健	39: 鼻漏・鼻閉	67: 多尿
12: 地域医療	40: 鼻出血	68: 精神科領域の救急
13: 医療と介護および福祉の連携	41: 嘔声	69: 不安
14: 災害医療	42: 胸痛	70: 気分の障害 (うつ)
15: 臨床問題解決のプロセス	43: 動悸	71: 流・早産および満期産
16: ショック	44: 心肺停止	72: 成長・発達の障害
17: 急性中毒	45: 呼吸困難	73: 慢性疾患・複合疾患の管理
18: 全身倦怠感	46: 咳・痰	74: 高血圧症
19: 身体機能の低下	47: 誤嚥	75: 脂質異常症
20: 不眠	48: 誤飲	76: 糖尿病
21: 食欲不振	49: 嚥下困難	77: 骨粗鬆症
22: 体重減少・るい瘦	50: 吐血・下血	78: 脳血管障害後遺症
23: 体重増加・肥満	51: 嘔気・嘔吐	79: 気管支喘息
24: 浮腫	52: 胸やけ	80: 在宅医療
25: リンパ節腫脹	53: 腹痛	81: 終末期のケア
26: 発疹	54: 便秘異常 (下痢・便秘)	82: 生活習慣
27: 黄疽	55: 肛門・会陰部痛	83: 相補・代替医療 (漢方医療を含む)
28: 発熱	56: 熱傷	0: その他

## 診療メモ

## AI を活用した振分機能導入による審査について

社会保険診療報酬支払基金宮崎支部 審査業務第2課長 <sup>かわ</sup>川 <sup>むら</sup>村 <sup>しげ</sup>誉 <sup>み</sup>美

## 1. はじめに

支払基金では、審査支払新システムについて、平成29年7月に策定した「支払基金業務効率化・高度化計画」に基づき、受付・審査・支払の業務単位で「モジュール化（機能分解）」により、審査事務集約や診療報酬改定の業務変化への柔軟な対応を可能としたシステムの構築を進めてまいりました。

今般、令和3年9月から同システムの運用を開始いたしましたので、広報誌「月刊基金」9月号に掲載された記事からAIを活用した振分機能導入による審査について、その一部をご紹介します。

## 2. 導入の背景

支払基金では「支払基金サービス向上計画」（平成23年1月13日）において、「審査の差異に関する分析評価」および「審査におけるPDCAサイクルの確立」として、レセプト審査結果データの蓄積と分析評価を行ってきました。これにより得た分析手法の知見は、後に規制改革会議・第2回医療・介護・保育ワーキング・グループ（平成28年10月24日）提供資料「今日における審査支払業務のあるべき姿と社会保険診療報酬支払基金改革について」において、審査支払専門機関からの提言として、「徹底的なコンピュータチェック、統計的手法を活用したチ

ェック、更にAIを活用したチェックを行う。」ことにより、目視による判断を要するものを分類し、「職員や審査委員による目視に委ねる部分を極力少なくする。」ことを提案するためのインフラとなりました。続く、「支払基金業務効率化・高度化計画」（平成29年7月4日）において、「ICTやAI等を活用することによりシステム刷新後2年以内にはレセプト全体の9割程度をコンピュータチェックで完結することを目指す。」とし、「審査事務集約化計画工程表」（令和2年3月31日）では「AIにより、人による審査を必要とするレセプトと必要としないレセプトへの振分機能を実装し、その精緻化を図り、新システム稼働後2年以内にはレセプト全体の9割程度をコンピュータチェックで完結することを目指す。」としています。更に「規制改革実施計画」（令和2年7月17日閣議決定）では「新システムにおけるAIを活用したレセプト振分機能については、フィードバック機能を組み込み、定期的に新たなレセプトの審査結果を学習させて機能の改善を図るとともに、具体的な機能の詳細と学習メカニズムを明らかにする。」とされました。

## 3. 導入のねらい

レセプト審査とは、保険医療機関等における個々の診療行為が、保険診療ルール（療養担当

規則、診療報酬点数表、関連通知など)に適合しているかどうかを確認する行為です。

レセプト審査のポイントとして、診療が適切に行われたにもかかわらず誤って査定・返戻することは、患者の医療を受ける権利を阻害しかねないことから、査定・返戻は慎重に行う必要があります。査定・返戻の可能性が高いレセプトは人が見る必要があることが挙げられます。

また、審査結果理由の説明責任を果たすことも重要です。

その前提のうえで、AIを活用する目的は、審査の効率化と高度化です。これを実現するためには、人が見るレセプト(以下、「目視対象レセプト」)を極力少なくする一方で、審査の質を保つためには人が見ないレセプト(以下、「目視対象外レセプト」)に査定・返戻すべきレセプトが極力混入しないようにする必要があります。AIとコンピュータチェック(以下、「CC」)を組み合わせ、審査の効率化・高度化と質の確保を図ることとしました。

このことにより、審査委員や職員が直接見なければならないレセプトなのかどうか仕分けをし、医学的判断や専門的な判断が必要なレセプトに人的資源を投入することができます。

AIの役割は、審査することではなく、「人が

目視で確認すべきレセプト」と「CCで完結させるレセプト」に振り分けることです。

レセプト振分機能の特徴は、AIとCCを組み合わせたとすると、2種類のAIを組み合わせ目視対象レセプトとするか否かを判断しているところにあります。

#### 4. 最後に

「月刊基金」から一部抜粋しての紹介となりましたが、「審査事務集約化計画工程表」において、目視対象レセプト割合は振分開始当初は2割ですが、1年後には15%、2年後には1割を目途に低減させていくこととしています。

今後、目視対象レセプト割合を低減させるに当たり、より一層の審査結果の不合理的な差異の解消による学習データの正確性の確保、必要なCCの設定、CCの精緻化、AIによる振分対象レセプトの拡大などが必要となります。

※詳しい内容につきましては、「月刊基金」2021年9月号 令和3年9月10日発行をご一読願います。

支払基金ホームページ：<https://www.ssk.or.jp>

## 宮大医学部学生のページ

## 宮崎大学学園祭 第17回清花祭～破天荒解～ 開催報告

清武キャンパス実行委員長 井上 聡士

第17回清花祭が、令和3年11月20日、21日の2日間、残念ながら新型コロナウイルス感染の影響で木花キャンパスではリモート開催となりましたが、清武キャンパスでは対面で開催することができました。

両日とも晴天に恵まれ、全イベント、全医学展、また、今年は新たに音楽祭も無事に行うことができました。一部、新型コロナウイルス感染関係で制限を設けましたが、その中でOB・OGの方々、地域の方々にお越しただいて、我々学生が一致団結して準備したイベント、医学展、また音楽祭も楽しんでいただけたと思います。

例年では中庭で行っていた模擬店やイベントを、今年は駐車場での開催となりました。今回の清花祭のイベントのトップバッターはミスキャンパスでした。協賛していただいた企業様から出場者の方々に素敵な景品を提供していただき、会場全体が一つになり大盛況のイベントとなりました。次に行われたのはキズナ企画でした。キズナ企画は仲のいい4人組を作ってゲームを行うイベントで、決勝戦では仲のいい4人組だからこそ答えられる問題にチームが正解を出し続け、「絆」の深さに驚かされました。

講義棟で行われた医学展では、年齢企画やアロマ企画、解剖病理展などの展示が行われました。日頃の学習の成果や部活での成果を、地域の皆さんに披露することができたと思います。新型コロナウイルス感染の関係で設けた制限で、100%満足とまではいかなかったかもしれませんが、その中でも学内関係者のみならず、ご来場して

いただいた地域の方々の笑顔も見ることができ、大変嬉しく思いました。ご来場していただいた方々に、この場をお借りして重ねて感謝申し上げます。

清武文化ホールで行われた音楽祭では、圧倒的大迫力だったすずかけ太鼓や、美声を来場者の心に染みわたらせたソロの弾き語りとアカペラ、キレのある魅せる動きで会場を盛り上げたダンスなどが行われました。新しい試みではありましたが、観客の方々がいる中で、文化ホールで披露できたことは各出演者にとって素晴らしい経験となりました。「破天荒解」というスローガンのもと今年はさまざまな新しいことに挑戦しようと学祭に挑みましたが、その中の一つの音楽祭も本当に開催できてよかったなと感じました。

今回、清花祭の実行委員長を務めさせていただきましたが、幹部学年である平成30年度入学の医学科の同期、令和2年度入学の看護学科の後輩にたくさん協力をしてもらいました。あらためて同期、後輩のありがたみを感じることができました。他のみんなも学祭を通じて同じよ



ステージ企画の司会をする学祭幹部

うに感じていれば、学祭長として清花祭を開催できたことを嬉しく思います。幹部以外の学年の人も、教授の方々、医療人育成課の方々などにもたくさんの協力をしていただき、学祭を盛り上げていただきました。宮崎大学全体の団結力を感じることができた非常にありがたく、素晴らしい清花祭でした。

最後になりましたが、この素晴らしい清花祭を今年開催できたのは宮崎県医師会の先生方、地域の皆様、保護者の皆様にいただきましたご支援のおかげです。学生を代表して感謝申し上げます。この先もずっと清花祭を行えるように、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

### 医学展実行委員長 平井 昂也

医学展では今年も多く企画が充実し、医学に関する展示物や体験コーナー、スタンプラリーなどお子様からご年配の方まで皆様に楽しんでいただけるような医学展を開催することがで

きました。コロナ禍の中での清花祭ならびに医学展の実行にあたって、非常に多くの困難がありました。それらを解決するため、消毒用アルコールを各部屋に設置し、動線を一方に定めるなど種々の感染対策を講じました。自分たちで感染対策を含めた企画案を計画し、実行に移すプロセスは、我々医学生達の将来の糧となるのではないのでしょうか。当日も多くのお客様にご来場いただき、楽しそうに企画を回っていらっしゃる姿をたくさん見ることができ、非常に嬉しく思います。最後に、今年の医学展の開催にあたり教職員の方をはじめとした、非常に多くの方にご協力いただきましたことをこの場を借りて厚くお礼申し上げます。来年は後輩たちが医学展の運営に携わりますが、皆様にはぜひ会場に足を運んでいただければと思います。今後とも清武キャンパス医学展をよろしくお願いいたします。



学祭期間中の医学展の様子

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
11月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お薬手帳（電子版）の運用上の留意事項について」の一部改正について</li> <li>・移植希望者（レシピエント）選択基準の一部改正について</li> <li>・次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像について</li> <li>・高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例の発生について</li> <li>・外国人介護人材等の新規入国制限の緩和措置について</li> <li>・（令和4年1月始期）新型コロナウイルス感染症対応日本医師会休業補償制度について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症患者の治療に必要な人工呼吸器無償譲渡について</li> </ul>
11月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険医療機関等における被扶養者の資格確認等における留意点について（再周知）</li> <li>・ファイザー社ワクチン及び武田／モデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて</li> <li>・小冊子「禁煙は愛」2021年版送付の件</li> <li>・令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和3年度調査）への協力依頼について（再協力依頼）</li> <li>・2021年度 認知症短期集中リハビリテーション研修（医師対象）【Webによる研修】の開催について（情報提供）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症患者の治療に必要な人工呼吸器無償譲渡について</li> <li>・「補助犬ユーザー受け入れガイドブック」等の周知に関するご協力をお願い</li> <li>・インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動等に係る全国的な動向調査研究に対する協力について（依頼）</li> <li>・新型コロナワクチンの間違い接種情報No.3について</li> <li>・野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）の検出について</li> <li>・予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布等について</li> <li>・「医療介護提供体制改革推進交付金の交付について」等について（お知らせ）（医療介護総合確保基金）</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について（5版）</li> <li>・多職種連携教育コーディネーター「ごちゃまぜ師」養成講座の開催について</li> </ul>
11月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「医師の働き方改革に関する『トップマネジメント研修』のご案内」（11月～2月開催分）の送付について</li> <li>・季節性インフルエンザワクチンの定期的予防接種における接種時期等について</li> <li>・日本学校保健会主催研修会の開催について（依頼）</li> <li>・令和3年度「病床機能等分化・連携促進基盤整備事業」の御案内について（通知）</li> <li>・病院等の開設（再開）計画に関する調査について（通知）</li> <li>・眼の障害に係る障害認定基準の改正及び障害年金診断書（眼の障害用）の様式変更について</li> </ul>

送付日	文 書 名
11月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」第50条の規定による個人情報保護に関する法律の改正に係る改正政令、規則及びガイドラインの公表について</li> <li>・「個人情報保護に関する法律についてのガイドライン（行政機関等編）」を定める告示（案）に関する意見募集について</li> <li>・「薬局ヒヤリハット事例収集・分析事業 第25回報告書」及び「薬局ヒヤリハット事例収集・分析事業 2020年 年報」の周知について</li> <li>・看護職員の離職防止を図るための「医療現場における暴力・ハラスメント対策（動画）」について</li> <li>・新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）等に使用するファイザー社ワクチン及び武田/モデルナ社ワクチンの配分等について</li> <li>・感染対策のための実地での研修に係る令和3年度における第五次募集について</li> <li>・新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）の体制確保について（その2）</li> <li>・新型コロナウイルスワクチンの時間外・休日の接種及び個別接種促進のための支援事業の請求等について</li> </ul>
11月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> <li>・『日本医師会年次報告書』2020-2021（令和2年度版）の日本医師会ホームページへの掲載について</li> <li>・宮崎県公安委員会提出用診断書様式の押印等の廃止のお知らせ</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策に係る病床の確保状況・使用率等の「見える化」について</li> <li>・孤独・孤立対策ホームページの新設について</li> </ul>
11月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血管病変等を著しく増悪させる業務による脳血管疾患及び虚血性心疾患等の認定基準について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症流行下における薬局での医療用抗原定性検査キットの取扱いに関する留意事項について</li> <li>・第14回日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム「“One Health”アプローチで取り組む薬剤耐性対策～薬剤耐性（AMR）対策アクションプランの成果と次期展望～」の開催について</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について（一部改正）</li> <li>・5歳以上11歳以下の者への新型コロナワクチン接種に向けた接種体制の準備について</li> <li>・「介護予防・日常生活支援総合事業のガイドラインについて」及び「介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）の実施及び介護予防手帳の活用について」の一部改正について</li> <li>・高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の発見事例の提供等について（周知依頼）</li> <li>・新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）に使用するワクチンにより生じる交接種について</li> <li>・新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）における武田/モデルナ社ワクチンを使用した実施体制の確保について</li> <li>・ファイザー社ワクチンの保有状況に係る報告について</li> <li>・「令和3年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）の実施について」等の一部改正並びにQ&amp;A（第9版）について</li> <li>・「『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（2021年11月22日Ver.7）』の周知について（依頼）」の送付について</li> </ul>
11月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉施設等における面会等の実施にあたっての留意点について</li> <li>・オンライン請求医療機関に対する紙媒体による返戻廃止（延期）について</li> <li>・「医療・介護・保育分野における適正な有料職業紹介事業者の認定制度」について</li> </ul>

送付日	文 書 名
12月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」の改訂について（5.0版）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の決定について</li> <li>・「B.1.1.529系統の変異株（オミクロン株）」の発生を踏まえたサーベイランス体制の強化について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬の医療機関への配分について（疑義応答集の追加・修正）</li> <li>・例外的な取扱として接種券が届いていない追加接種対象者に対して新型コロナワクチン追加接種を実施する際の事務運用について</li> <li>・高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う防疫作業従事者の発熱時の診療対応について（依頼）</li> <li>・令和3年度介護事業実態調査（介護従事者処遇状況等調査）への御協力依頼について</li> <li>・B.1.1.529系統（オミクロン株）の感染が確認された患者等に係る入院及び航空機内における濃厚接触者の取扱いについて</li> <li>・新型コロナワクチンの追加接種の接種間隔に係る例外的取扱いについて</li> <li>・医療施設等における感染拡大防止に留意した面会の事例について</li> <li>・ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種の今後の対応について</li> <li>・ワクチン接種記録システム（VRS）タブレット端末のソフトウェアアップデートについて</li> <li>・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その84）」の送付について</li> <li>・電子カルテシステムレベルアップに伴う一般救急受け入れ制限について（通知）</li> <li>・ウパダシチニブ水和物製剤の最適使用推進ガイドライン（既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎）の一部改正について</li> <li>・ジャディアン錠10mg、ハーセプチン注射用60、同注射用150及びローブレン錠25mg、同錠100mg等の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項について</li> <li>・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について</li> <li>・医療機関を標的としたサイバー攻撃（ランサムウェア）への対応について（注意喚起）</li> </ul>
12月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症COVID-19診療の手引き別冊罹患後症状のマネジメント（暫定版）」の周知について</li> <li>・新型コロナワクチンの追加接種に係る接種後の健康状況に関する調査について</li> <li>・降積雪期における防災態勢の強化等について</li> <li>・ファイザー社ワクチンの保有状況に係る報告における在庫量の考え方について</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」の改定について</li> <li>・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤（オプジーボ点滴静注、キイトルーダ点滴静注）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について</li> </ul>
12月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」の改訂について</li> <li>・新病院への移転に伴う入院等の対応について</li> <li>・(株)日立物流西日本の物流センター火災による医療用医薬品の安定供給に関する対応への協力について</li> <li>・予防接種法施行規則の一部を改正する省令の公布について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の罹患後症状を呈する者への自治体における取組について</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」の改訂について</li> <li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li> <li>・B.1.1.529系統（オミクロン株）の感染が確認された患者等に係る入退院及び航空機内における濃厚接触者並びに公表等の取扱いについて</li> </ul>

# 医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。  
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



## 女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

### 登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、  
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

### 専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで  
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

### 日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

## あとかき



二郎系ラーメンというものをご存知ですか？ コッテリの豚骨醤油スープに極太麺を入れ、その上に厚切りチャーシューと茹でたキャベツともやしを山盛りにしたラーメンです。見た目のインパクトが大きく、その量の多さと味のパンチ力が魅力です。東京で一度食べて以来、その味の虜になってしまいました。残念ながら宮崎には二郎系ラーメンを食べることのできるお店

がほとんどありません。そこで、二郎系ラーメンを自宅で作る動画を見ながら、実際に自分で作ってみることにしました。まずは、豚のゲンコツ（豚の大腿骨）と豚の背脂、豚肉と一緒に煮込んでスープを作ります。次に、醤油やみりん、うま味調味料を混ぜてカエシと呼ばれるタレを作ります。その後、このカエシに煮込んだ豚肉を1時間ほど漬けてチャーシューを作ります。次に麺とキャベツともやしを茹でます。麺は、本家に近づけるために市販の生パスタを使用しました。すべての準備を終えた後、器に盛っていきます。器にカエシとスープを注ぎ、麺を入れ、その上に茹でたキャベツともやしを乗せ、更にその上に背脂、刻みニンニク、チャーシューを乗せて完成です。調理開始から3時間ほどで、ようやく一杯の二郎系ラーメンが完成しました。その出来はというと、見た目はとてもよかったです。味はまあまあでした。手間と材料費を考えると、もう作ることはないと思いますが、とても楽しかったです。また、一杯のラーメンにかかる手間と費用を知って、もっと感謝してラーメンを食べようと思うようになりました。（横山）

\* \* \* \* \*

いよいよ来月、北京オリンピックが開催される。政治的〇〇とかいろいろ言われたが、出場する選手たちには関係ない？のだから、また素晴らしいパフォーマンスを見せてほしい。今回は、わずか半年間で夏と冬のオリンピックを続けて観戦できることになり、短期間で、また感動できると思うと今からワクワクする。一生懸命に目標に向かって突き進む人たちは、輝いていてカッコよく、そして元気をくれる。今回も明日からの活力にしたいと思う。（山崎）

\* \* \*

今年の干支は、壬寅（みずのえとら）。壬寅は「陽気を孕み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるという意味があり、干支と相対するまた別の暦と照らし合わせ、ちょうどすべてが重なった420年前の日本でどんなことが起きていたかという、江戸幕府の成立前夜で、豊臣から徳川新時代へと移行するための、数々の布石が打たれた胎動の1年であったということです。まさにアフターコロナ。風の時代といわれている今、新しいことにチャレンジするととんでもないところに行けそうです！（野村）

\* \* \*

ある日、霧島温泉に行きました。維新の功臣、西郷隆盛は身長178cm体重110kgであったとの記述がありました。ん、私と同じではないか。西南戦争で戦死された歳が満49歳、私が開業し、第二の人生を始めた年です。また、誕生日が新暦で1月23日、私が1,2,3,ダーと開業した日です。勝手にご縁を感じてしまいます。西郷さんの座右の銘、敬天愛人を肝に銘じ、これからの人生に感謝し、人を愛し、楽しんでいきたいと思えます。（石田）

ついに病院実習が始まりました。今まで勉強してきたことを、実際に臨床の現場で目にするのができて、充実した毎日を過ごせています。一方で、カンファレンス中の言葉が分からなかったり、先生に質問されたときに答えられなかったりなど、自分の勉強不足を痛感しています。今は、実習から帰った後、必要最低限の勉強が終わったらすぐに寝てしまう生活が続いているので、2022年は気持ちを入れ直して実習に臨みたいですね。（安藤）

\* \* \*

昨年はコロナ流行の影響で出産の数が減ったと言われました。当院でも通院される妊婦さんが減りましたが、年末の感染収束のころから新しく来院される妊婦さんが増え始めた印象があります。今年こそコロナ流行が本当に収束し、妊婦さんたちがご家族と一緒に健診に来ることができ、安心して分娩できるようになることを祈るばかりです。（高橋）

\* \* \*

私は基本好きな衣類は、通販含め自分で購入している。お気に入りのブランドはVANである。VANとは1948年に石津謙介が設立したアイビー룩のファッションブランドである。プレザーとBDシャツの着こなしが基本であるが、最近は他社とコラボした派手めのもも販売されている。中学・高校時代に憧れたブランドでもあった。最近写真で見ると加齢にともなう自分の容姿の変化に愕然とすることがある。せめて青春時代までとはいわないが、若くありたい気持ちのある間はVANコレクターであり続けたいと考えている。（高木）

## 今月のトピックス

## 年頭所感

日本医師会の中川俊男会長をはじめ医師会幹部の先生方、政治家の方々から寄稿いただきました。コロナの文字が入ってないものではなく、本当にコロナに明けてコロナに暮れた一年であったと実感します。来年はコロナ終息の文言で満ちることを願います。 3ページ

## 新春随想

今年も多数のご投稿をいただきました。新年の抱負や昨年の反省から家族の話、趣味の話、時事問題、ひとりごとなど、多彩な投稿で読み応え満点です。来月号と2回に分けて掲載させていただきます。 26ページ

## 身近なお困りごと相談室 第3回 問題あるスタッフの解雇について

医療機関における身近な疑問について各界の専門家にご回答いただく連載の第3回です。今回の相談内容もアツイ内容です。弁護士の高山桂先生にお答えいただきました。正職員の雇用は慎重に行わなければならないと思いますが、求人を出してもなかなか応募がないという話も聞きます。どの業界でもいい人材の獲得は難しいですね～。AIが発達するのも分かる気がします。 39ページ

## 診療メモ AIを活用した振分機能導入による審査について

診療報酬支払基金の審査支払い新システムについて社会保険診療報酬支払基金宮崎支部の川村誉美課長にご説明いただきました。確かにAIは見落としも間違いも少ないのですが、査定される側としては、(明らかなうっかりで検査病名記載落ちをやらかしたら検査料まるごと剥奪(T-T)など)もう少し温かい目で見たい…と思うこともあります。 90ページ

日 州 医 事 第869号(令和4年1月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会 長 河 野 雅 行  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 野村 勝政・副委員長 稲倉 琢也

委 員 山崎 俊輔, 植田 雄一, 高橋 典子, 菊池 英維,  
石田 康行, 長井 慎成

学 生 委 員 横山慎太郎, 木村 桃子, 平井 昂也, 安藤菜々子

担 当 副 会 長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学 術 広 報 課 弓削 圭介, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)